

最新女子西洋史

東京高等師範學校教授

中川一男

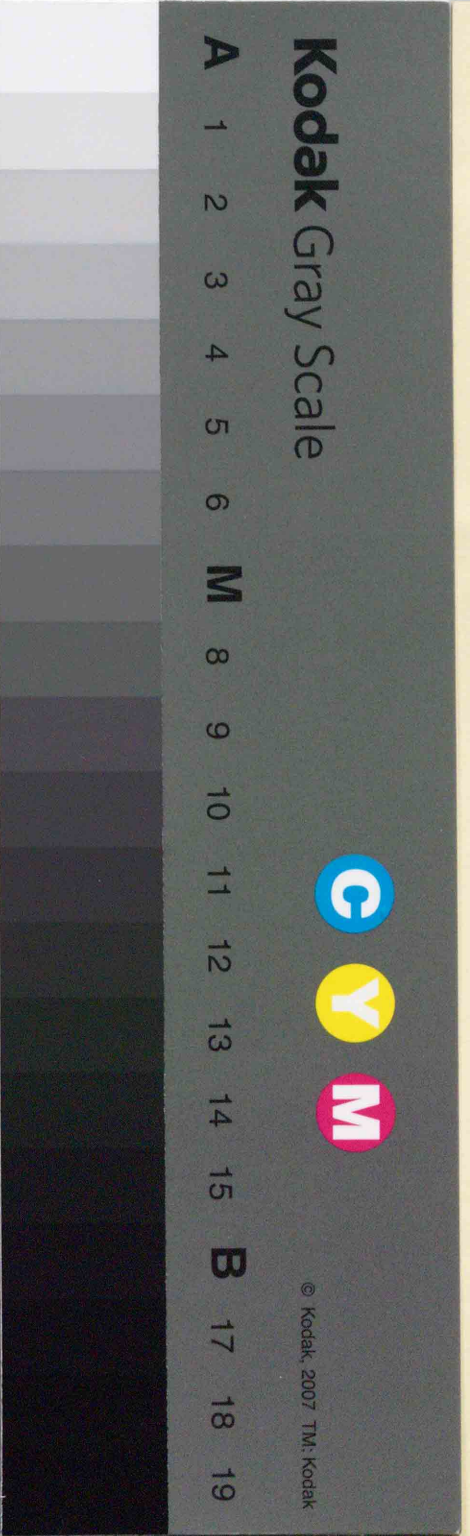
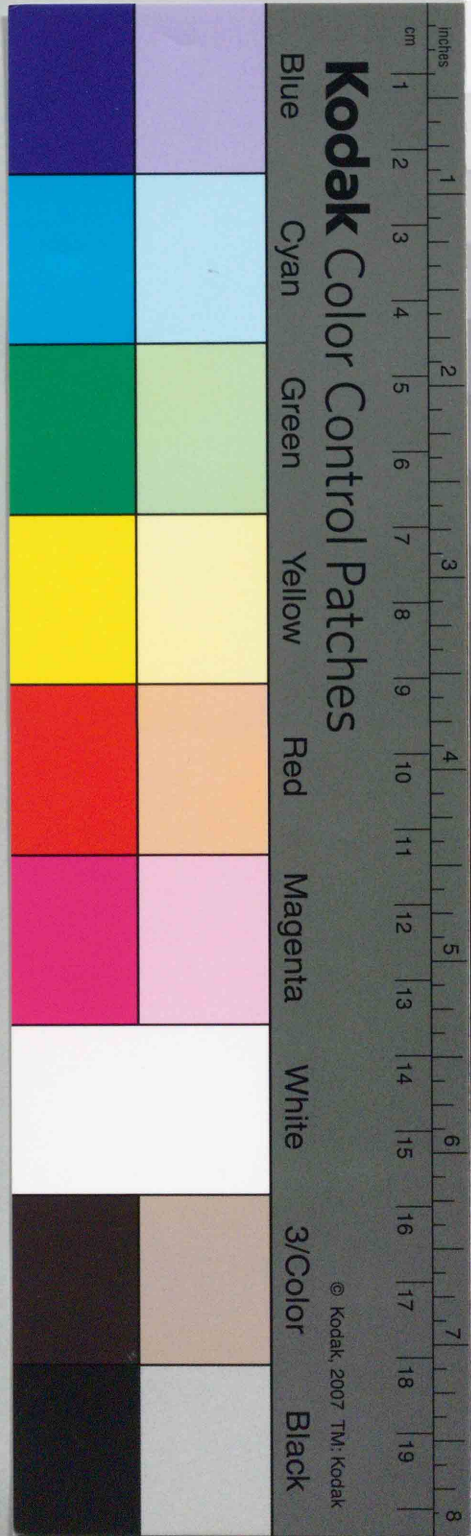
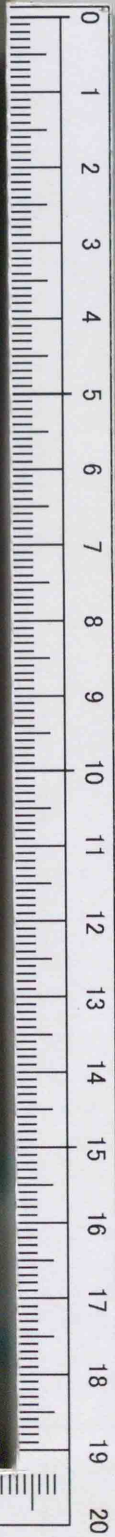
著

(高等女子學校用)



最新教授要目標準

教
4
200



43034

教科書文庫

4
230
42-1941
20000 81263

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



資料室

教育部定濟
高等女子學校歷史科用
昭和六十一年九月二日

教科書文庫
4
230
42-1941
2000081263

最新西女子洋史

東京高等師範學校教授

中川 一 男

著

(高等女子學校用)



エブト王とその后

広島大学図書
2000081263


46
230
DB16



例言

一、本書は、昭和十二年三月改正せられた文部省所定の新教授要目に準
據し、高等女學校用西洋史教科書として編纂したものである。

一、本書は、西洋諸國家の國家的發展と、社會的・經濟的發達體系とを知ら
しめ、同時にこれによつて世界に比類なき我が國體を愈々明らかにし、
國民的自覺を益々鞏固ならしめることを以て、その眼目とした。

一、本書は、女性に關する史實に重きを置き、隨所に著名な女性の偉業に
ついて述べ、女性が社會・國家の進展に如何なる貢獻をなしたかを明
らかにした。特に文藝・美術・宗教・風俗等、女性と密接な關係のある事
項は、出來得る限り詳述して、情操陶冶に資することに努めた。本書
が眞に女性のための西洋史教科書たることを得るならば、著者の欣

幸これに過ぎるものはない。
 一、本書の附録として、西洋文化の生成・発展、民族の移動・分布等の色刷地
 圖を挿入して、概観の便に供した。なほ挿繪は著者が歐米に於て蒐
 集した典據あるものを多數掲出し、以て教授の徹底を期した。各位
 の十分なる活用を切望して已まない。

昭和十二年八月

著者 識す

最新女子西洋史

目次

西洋史の意義……………一

第一篇 上古史……………一

第一章 古代東方諸國……………三

第二章 ギリシヤ……………七

第三章 ギリシヤの文化……………一三

第四章 ローマ……………一六

第五章 ローマの文化……………二三

第二篇 中世史……………一

第一章 民族の大移動と封建制度……………二六

第二章 中世初期に於ける東方の形勢……………三

第三章 中世に於けるキリスト教の隆盛……………三四

第四章 十字軍とその後の諸國家……………三六

第五章 中世の文化……………四五

第三篇 近世史

第一章 新機運の世界(上)……………四九

第二章 新機運の世界(下)……………五三

第三章 宗教改革と宗教戦争……………五六

第四章 近世諸國家の發達(上)……………六一

第五章 近世諸國家の發達(中)……………六六

第六章 近世諸國家の發達(下)……………七一

第七章 近世の文化……………七六

第四篇 最近世史

第一章 フランス革命……………八一

第二章 ナポレオン一世……………八五

第三章 反動政治と自由主義……………九〇

第四章 最近世諸國家の興隆(一)……………九三

第五章 最近世諸國家の興隆(二)……………九七

第六章 最近世諸國家の興隆(三)……………一〇〇

第七章 最近世諸國家の興隆(四)……………一〇四

第八章 最近世の文化……………一〇七

第五篇 現代史

第一章 諸國の國力充實と海外發展(上)……………一一四

第二章 諸國の國力充實と海外發展(下)……………一二七

第三章 世界大戰前に於ける國際關係……………一三二

第四章 世界大戰……………一三四

第五章 大戦後の世界情勢……………一六

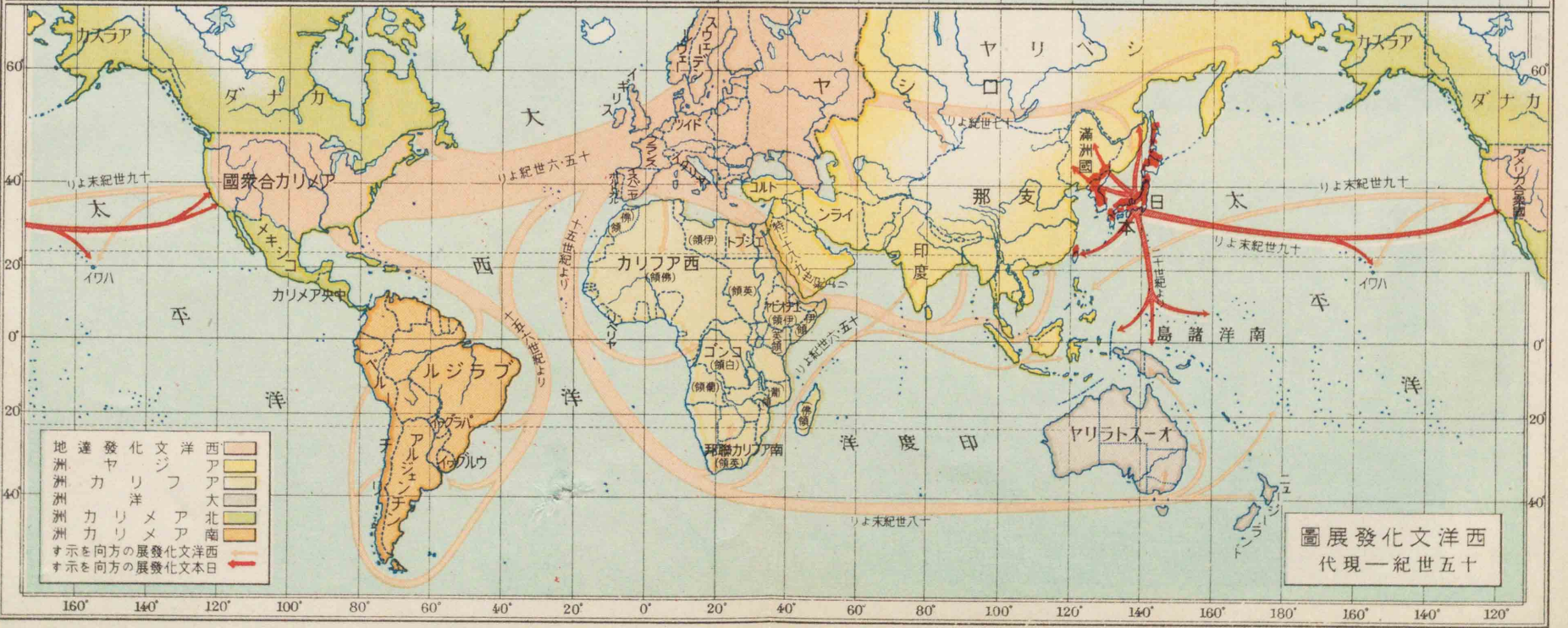
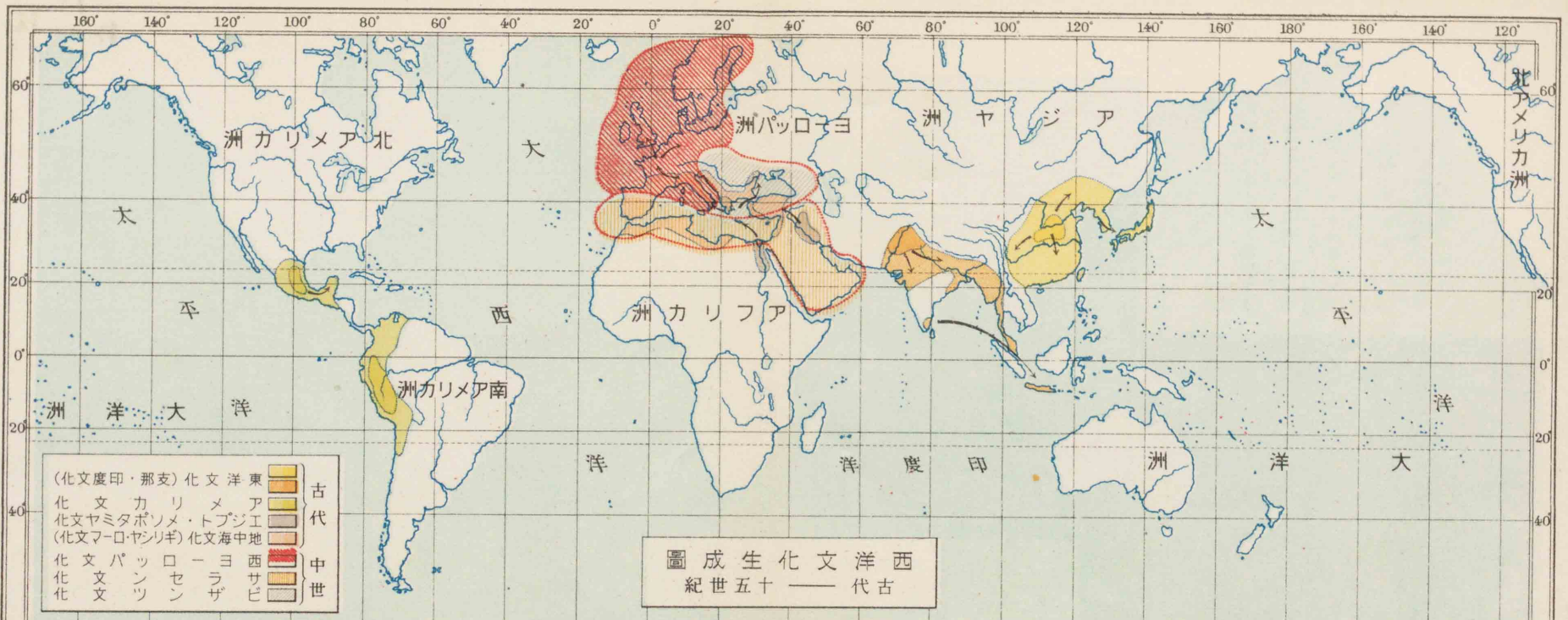
第六章 現代の文化……………一七

第七章 西洋史上より観たる帝國の使命と國民の覺悟……………一四

附錄 年表

地圖

- 中世ヨーロッパ要地圖 附(中世ヨーロッパ交通圖・十字軍時代のイエルサレム)
- ヨーロッパ諸國變遷圖
- 世界大戦前に於ける各國植民要地圖・世界民族の移動圖

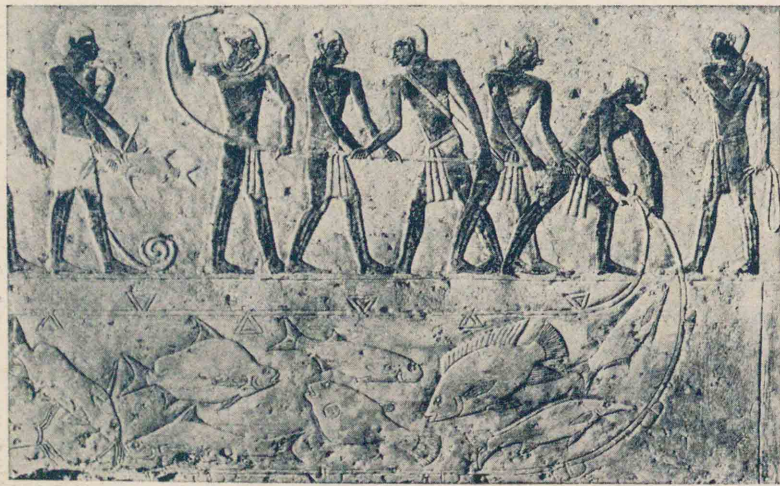


エジプト人の
生活(下)

エジプトのアクソテップに
ある墳墓中の浮彫。農夫が
豊にみられる麦を收穫する
圖である。



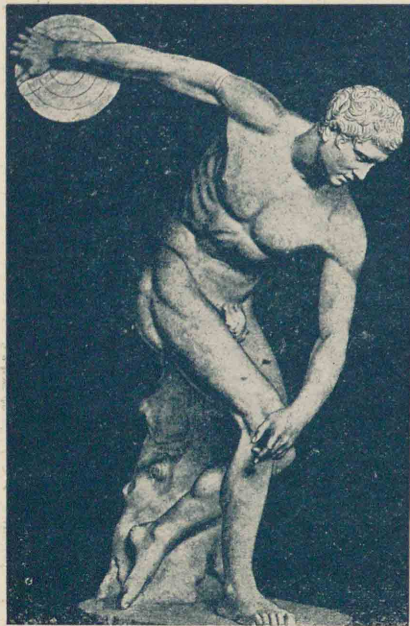
セチ一世の像(上)
エジプト第十九王朝
のセチ王の墳墓内に
ありし極彩色の薄浮
彫である。今パリ
のルーヴル博物館に
秘藏せられてゐる。



エジプト人の生活(左)

上圖と同所にある浮彫で、漁夫達がナイル川から
引網によつて種々の魚をとつてゐるところである。

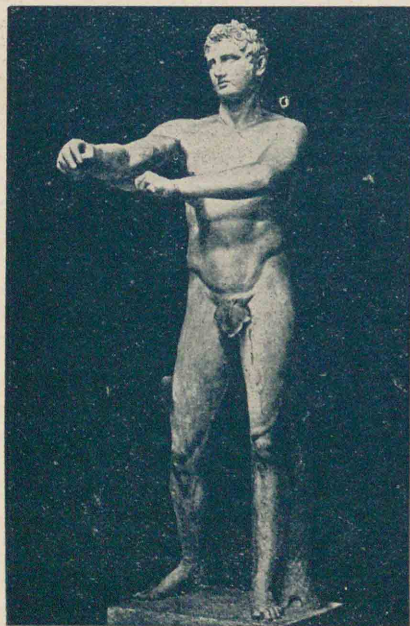
(一) 術美のヤシリギ



投盤圓②



像ナテア①

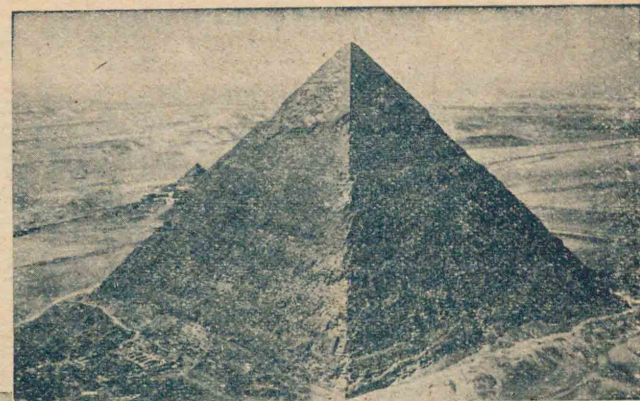


スネメシキボア④



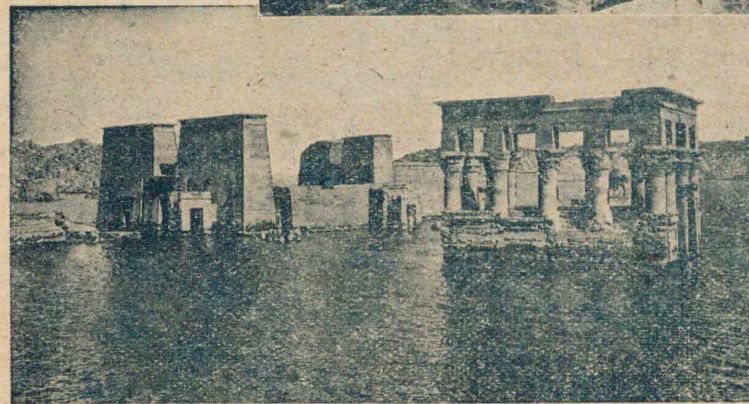
スナイヴのロミ③

跡遺のトブジェ

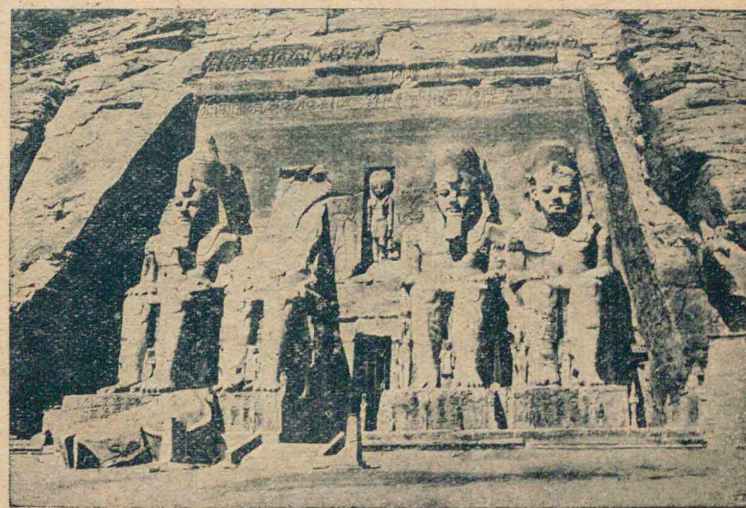


ピラミッド(右)

ピラミッドは巨大な切石を方錐形に積上げ、その内部に遺骸を安置する室、寶物を藏する室等あり、坑道によつて連絡してゐる。圖はカイロ附近のケフレ王の墳墓である。



フィレー島のイシス神殿(左)
神殿はナイル川中流にあり、イシスはエジプト人の最も崇拜した女神である。

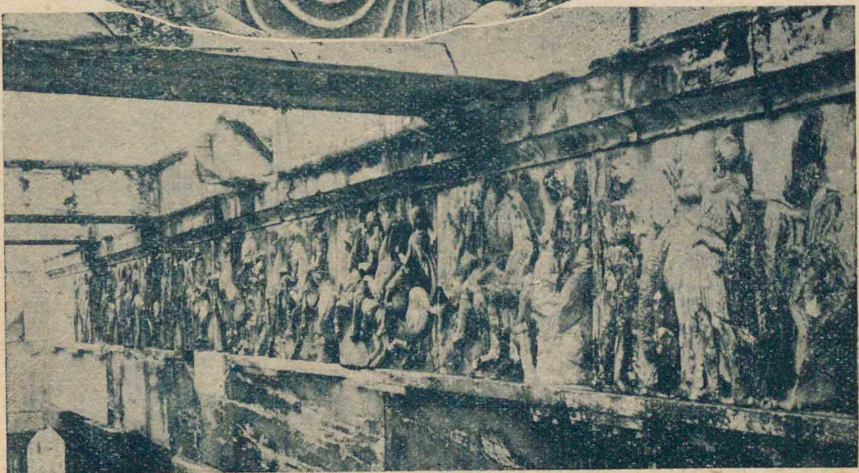
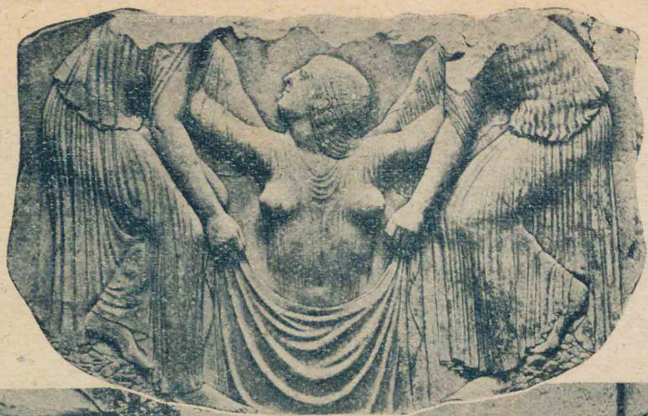


アブシムベルの岩窟神殿(右)

神殿はラムゼス二世がハルト神(美の神)のために造營せる巨大雄偉なものである。

ギリシヤの美術 (二)

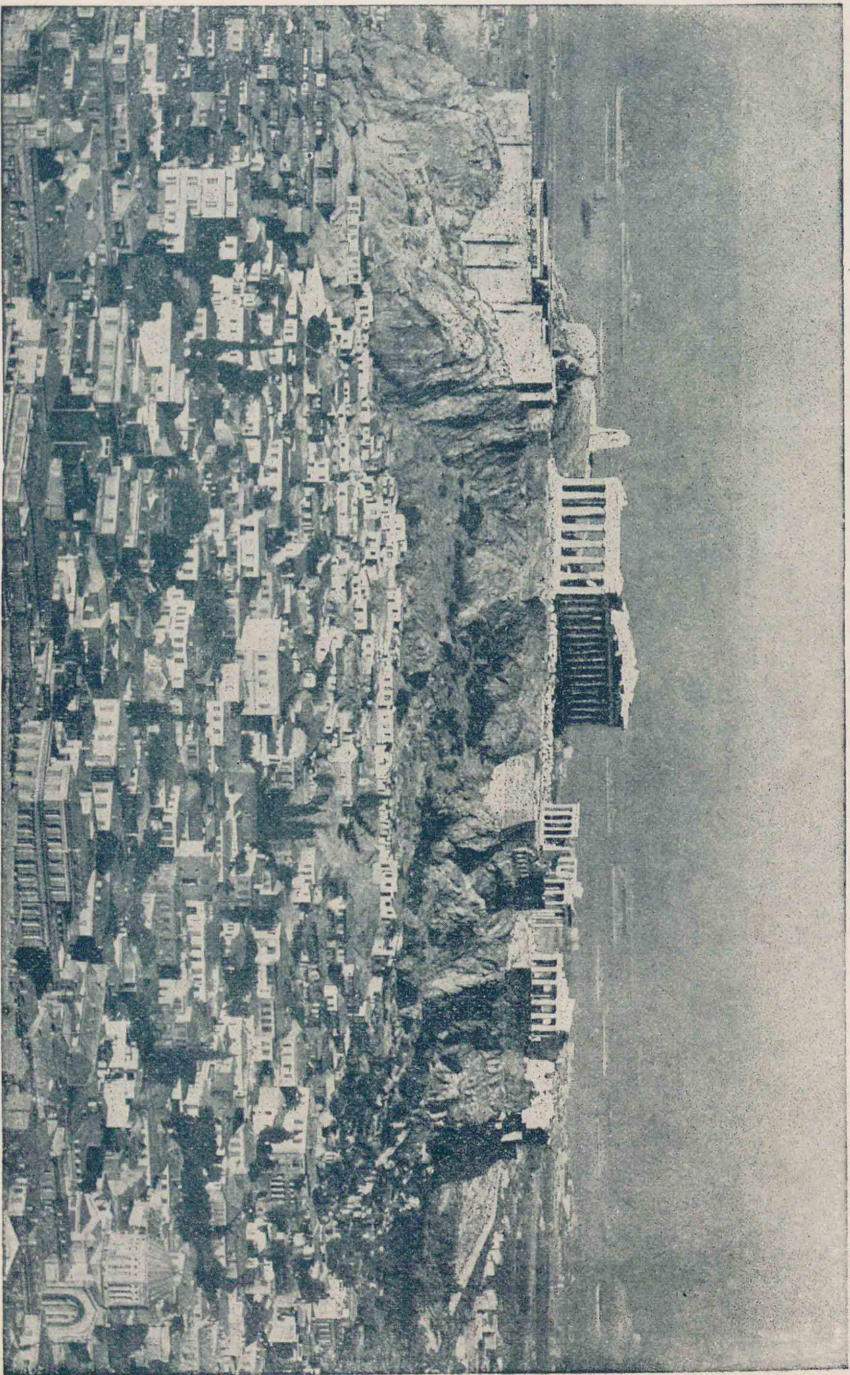
- ⑤ 美神の誕生(左)
- ⑥ パルテノン神殿内壁(下)



ギリシヤの美術 (一) (三)

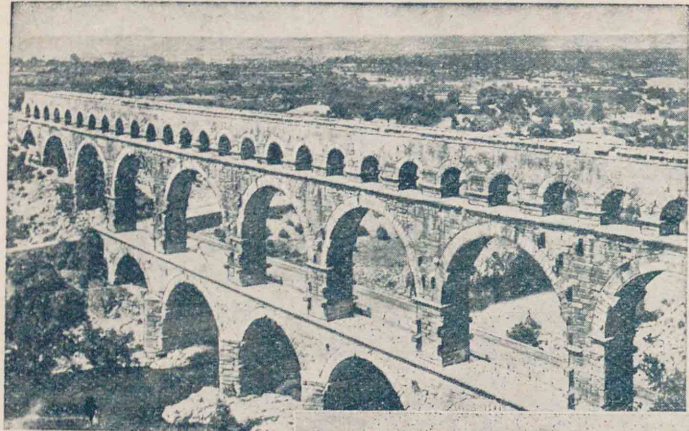
① アテナ像の原作は、フィヂヤスが心血を濺いで彫刻し、パルテノン神殿に安置せるもので、聰明端正にして莊重なる顔容を現はしてゐる。
 ② 圓盤投はミロンの原作。雄々しき青年が將に圓盤を投げんとする瞬間を刻み、よくその運動美を捉へてゐる。
 ③ ヴィナス像はミロの作といはれ、ギリシヤ婦人の典型的な肢體美を表現してゐる。
 ④ アポキシメネスの原作はリシッブスといはれ、ギリシヤ青年の均齊美を現はしてゐる。
 ⑤ 美の女神ヴィナスが二人の侍女に扶けられつゝ水中より生れ出づる優雅簡素な浮彫(作者不詳)である。
 ⑥ パルテノン神殿の内側面(長押の中層)にあるもので、ギリシヤ市民の祭典に於ける華かな浮彫群像である。

(三) 美術のヤシロギ

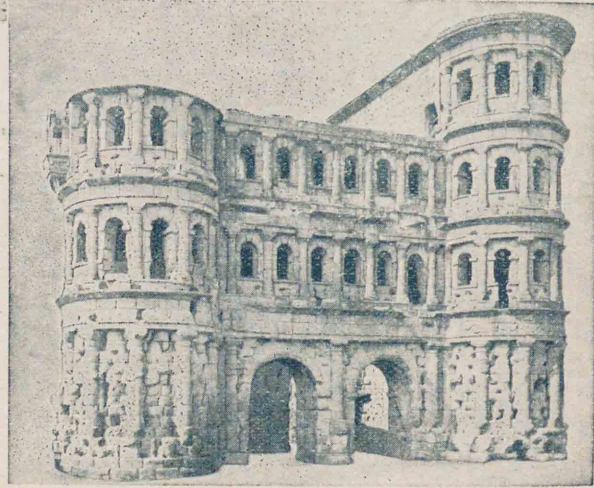


景現のヌリボロクアア ⑦

(一) 跡遺の代時マーロ



ガール橋(左)
フランスのニームといふ町に水を引くためにつくられたローマ時代の水道(最上段)と橋梁(下段)で、アーチ形建築を用いたものである。

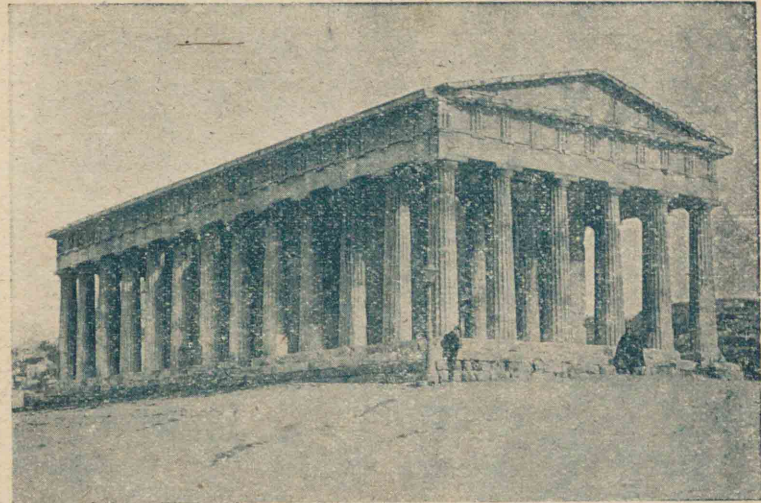


トリエルの城門(右)
ドイツのトリエルに遺る城門である。ドイツにはこの外アウグスブルグ・マインツ・ケルン等にローマ時代の遺跡がある。



オランジュの凱旋門(左)
フランスの南、ローヌ河中流のオランジュにある大凱旋門。紀元十二年アウグスツス帝によつて建てられたものである。

(四) 術美のヤシリギ



⑧ テセイオン

ギリシヤの美術 (三) (四)

⑦ アクロポリス。本圖はその昔アテネの中心をなしてゐたアクロポリスの丘を北方空中より撮影したもので、前面は人口四十八萬を有する現代の都市アテネ、後方遙かにピレウスの港を望むことが出来る。

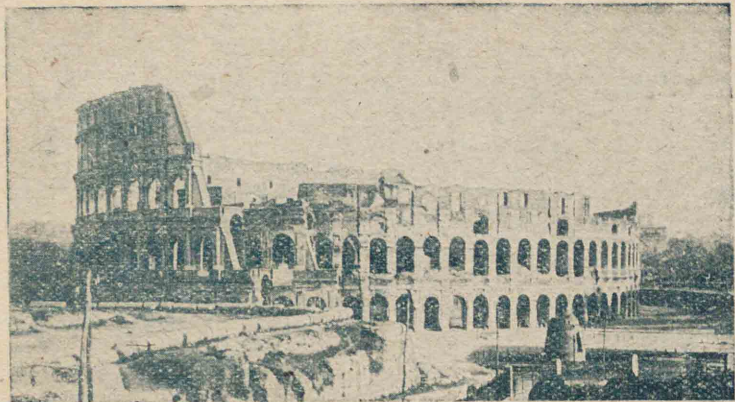
アクロポリスは海拔一八〇米ばかりの石灰岩丘で、丘上には、中央に名高きパルテノン神殿、その右方にエレヒテオンとニケの兩神殿があり、右端に入口の正門があつた。神殿は何れも純白の大理石をもつて築かれ、雄大莊嚴の氣にみちてゐた。廢墟となりながらも南歐の丘上に聳ゆるこの偉容は、まことに往時の盛觀を偲ばせて餘りあるものがある。

⑧ テセイオン。アテネの勇者テセウスに捧げられた殿堂で、アクロポリスの麓にある。建築はドリア式の莊重雄偉なもので、今もなほ觀るものの嘆賞をほしいままにしてゐる。

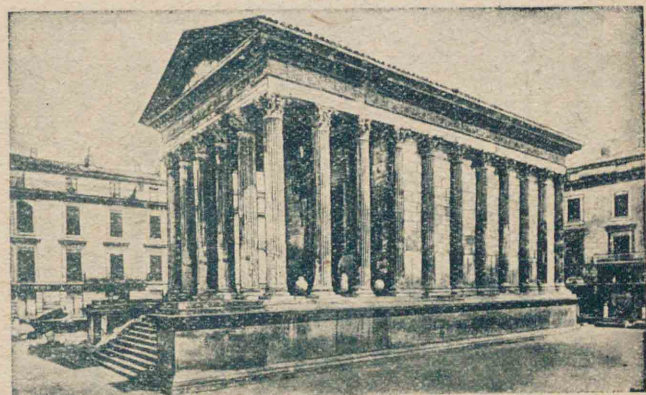


城古の畔河ンイラ

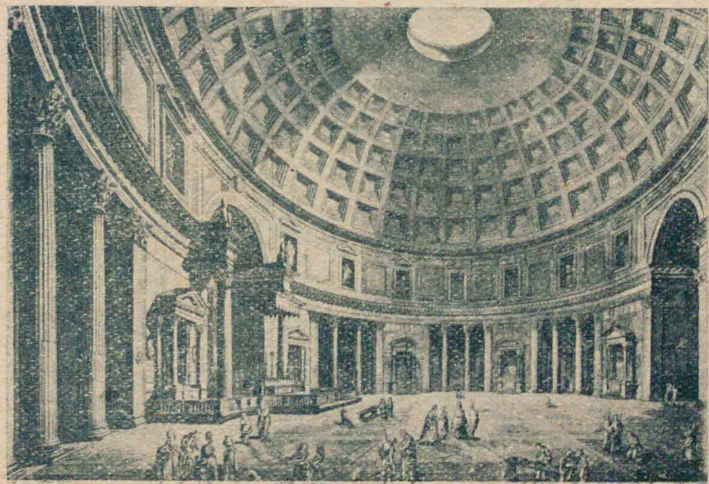
(二) 跡遺の代時マ-ロ



ローマの大圓形競技場(左)
紀元一世紀の頃竣功。高さ四八米餘。約五萬人の觀衆を收容したといはれる。



ニームの祠堂(右)
南フランスのニームに残るローマ時代の小祠堂。完全に保存せられたローマ時代の建築として大いに珍重せられてゐる。



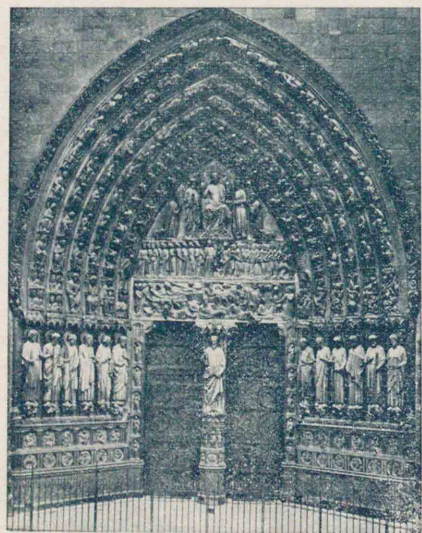
パンテオン殿堂の内部(左)
ローマが諸國の神をまつるために建てたるもの。この神殿はハドリアヌス帝の時の建造といはれ、大圓蓋を有する特殊な建築である。

①ノートルダム寺院前景

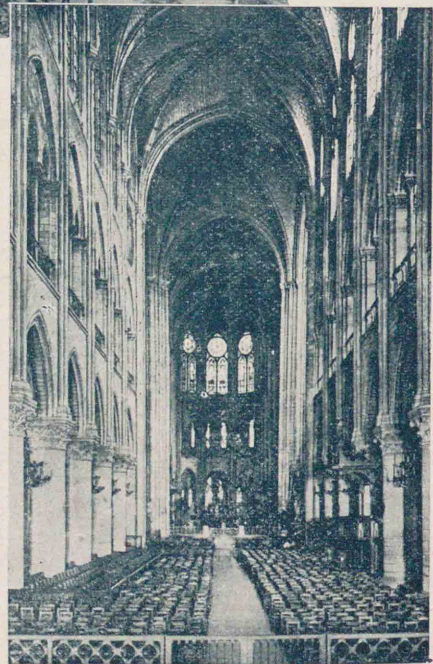


ゴシック建築

②同寺院内部



②同寺院正面入口

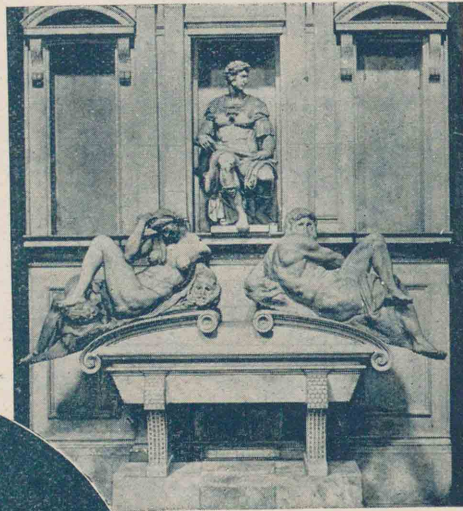


ライン河畔の古城

ドイツのライン河畔には今もなほ古城が多く残つてゐる。これは中世紀の封建諸侯が建てたもので、そこには嚴めしい領主や武士が住み、威風堂々として四隣を威壓してゐたものである。大河の流、兩岸に連なる峻峻な山、山を蔽ふ一面の綠翠、それらの間に耕された葡萄畑などの中に、巍然として聳え立つ古城の姿は、そぞろに昔のことも偲ばれて、景趣に富み懐古の情にたへないものがある。

圖はラインの中流コブレンツの附近シュトルツェンフェルの古城で、十三世紀の頃建てられたものといはれ、石と煉瓦で築かれたものであるが、今は廢墟となつてゐる。

ミケランジェロ作メデチの墓
 フロレンスにあり最も藝術的なもの一つである。上部はジュリヤの澁刺たる青年時代の姿を刻み、その下方、棺の両側には晝(右)と夜(左)とを象徴する彫刻が安置されてゐる。蓋しこれは人生の姿そのものを寓意したものであらう。



ローマのセントペートル寺院(下圖)
 フラマンテ・ミケランジェロ等の設計になる文藝復興時代の代表的建築で、中央に圓蓋が高く聳え、その前面には廻廊が附屬してゐる。



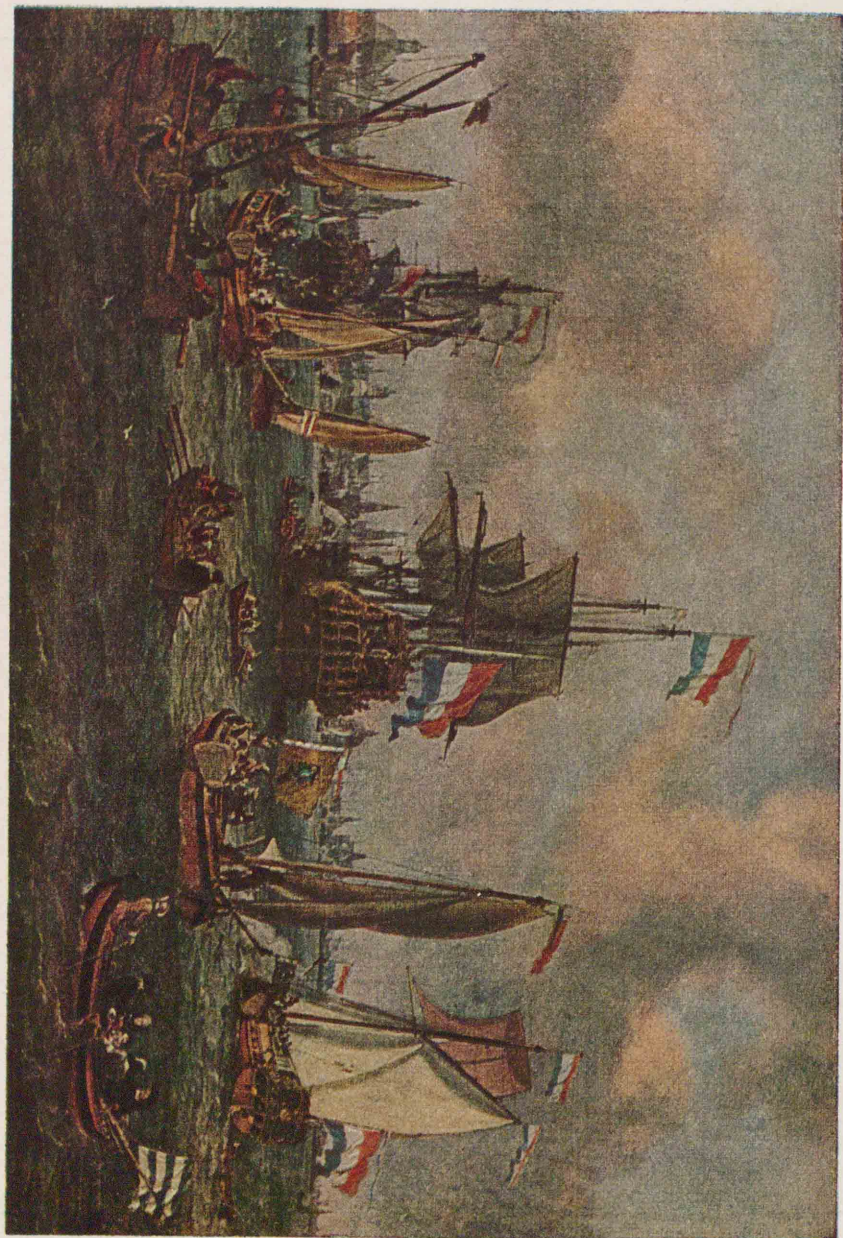
ラファエル作 マリヤ像(中圖)
 フロレンスのピッツ宮殿蔵

ゴシック建築

ゴシック建築は、北部フランスを中心として、イギリス・ドイツ・イスパニア・イタリア等に廣がつた中世紀の建築様式である。主にキリスト教寺院として建立され、數十年乃至數百年を費して竣功したのものもある。その平面圖は多く十字形をなし、前面に最も多く裝飾を施した正面が^{ファサード}あり、建物の中心部からは高く天をも摩する尖塔が聳えてゐる。これはバリーにあるノートルダム寺院であり、紀元一六三三年に着手し、一三〇年に至つて竣功したもので、①正面は上部に二つの鐘塔あり、中部に色硝子を用ひた圓い花窓があり、下部には三つの入口がある。②は正面中央の入口であつて、到る處に多くの彫刻が施されてゐる。③は内部であつて、天井極めて高く、最奥部に聖壇が設けられてゐる。

外部は騒がしい世俗社會であるが、内部は森嚴なる聖域であつて、一步堂に入れば人をして自ら宗教的敬虔の念を起さしむる。

相々種の業職代時興復藝文



繁のムグルラヌム



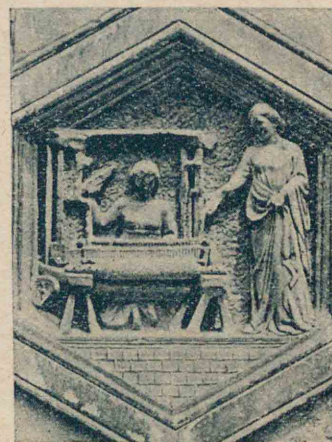
天
文
學
者



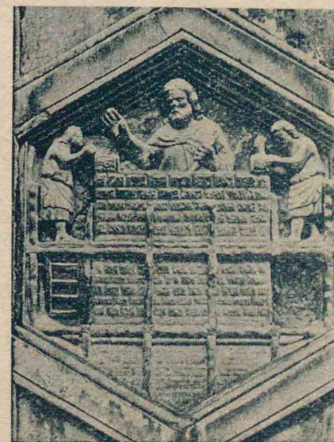
文
學
者



鍛
冶
師



織
匠



建
築
師



彫
刻
師

アムステルダム の 繁 榮

★アムステルダムはオランダが獨立を宣言して(一五八一)以來、次第に隆盛に赴いた。元來ネーデルランドの北部住民の中には海に親しむもの多く、遠く海洋に乗り出して貿易・漁業に従事するものが多かつたが、十六世紀の頃より次第に北歐諸國の海上貿易を獨占し、更にイスパニヤ、ポルトガルの下にあつて海運業にも従事するに至つた。それが獨立宣言後は独自の力を以て北歐・東洋・北米に向つて大發展を試みることとなり、ザインダムに於ける歐洲一といはれた造船業の隆盛と相俟つて、一躍世界的な發展をなすに至つた。その中心がアムステルダムである。

★かくてアムステルダムには、十七世紀の始頃より北米や東洋・南洋等に向ふ商船隊が輻輳し、珍貴な世界の富が集まり、世界商業の中心たるとともに、歐洲の金融界を支配する力をももつこととなつた。従つて市民は富裕となり、生活は向上し、文化も榮え、立派な建築も立ち並んだ。

★本圖はその頃のアムステルダム港の光景を描いたもので、原畫はドレスデン國立繪畫館にあり、アブラハム・シユトルクの作である。立派な建物の立ち並ぶ町を背景として、世界貿易に従事する巨船が碇泊してゐる姿は、まことに壯觀といふべきであらう。



俗風 の 代 時 卅 四 十 一 年

ルイ十四世時代の風俗

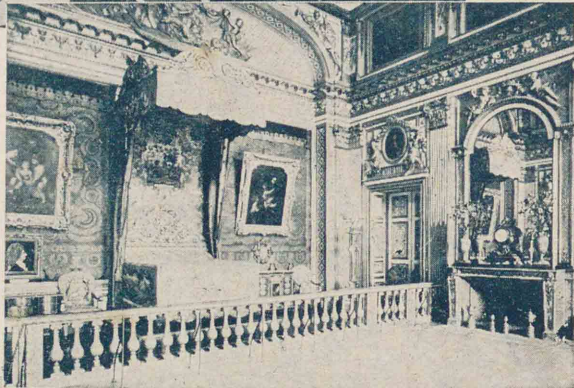
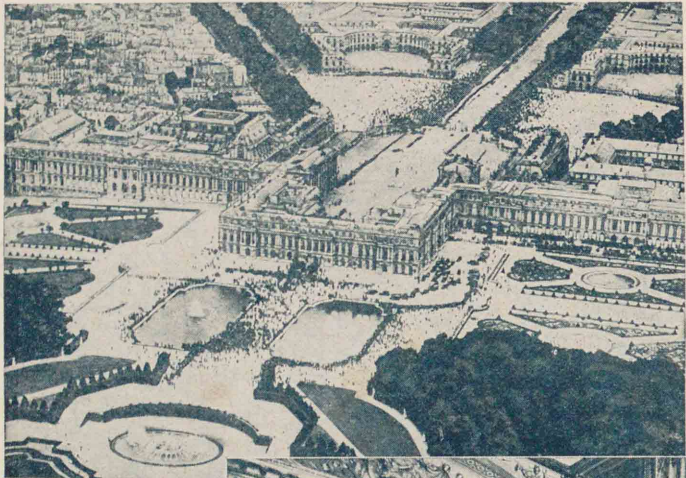
ルイ十四世は「太陽王」といはれた如く、自ら尊大にして威儀を正し、且つ豪華な風を好んだ。従つて日常の宮廷生活に於ても、朝起の時は侍従長・室房長・衣裳官長・理髮長・食事長等が各、多くの部下を率ゐて王の起床・化粧・更衣・食事等に奉仕し、また謁見・執務・観劇・祭典等にも多くの侍臣貴族等を陪従せしめて威儀を正した。のみならずまた宮廷の禮服を定め、十三世時代の質素なりしを改めて華麗なものを用ひ、袖・前胸・膝上等に刺繍を施した華やかな色の絹衣を用ひ、帽子は長き羽毛を以て飾り、また立派な髪(カツラ)を用ふることにした。従つて宮廷に用ふる調度の類、馬車乗物等も頗る美麗であつたことはいふまでもない。

本圖はルイ十四世が豪華な馬車に乗り、前後に多くの従者を従へて、ヴァンサンヌの離宮に赴くところで仔細に見れば、笠・帽子・衣服など當時の服裝を知り得べく、まことに壯麗華美な風俗といふことが出来る。原畫はドレスデン國立繪畫館にあり、フランスのアドミランの作である。

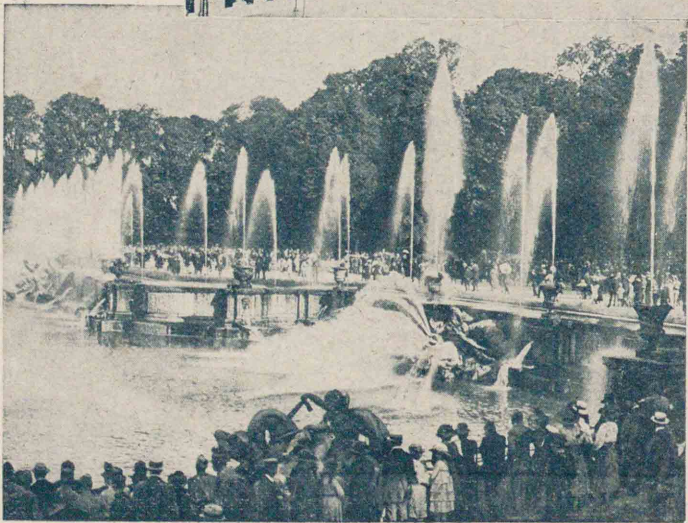
ヴェルサイユ宮殿

全景

上方に正門あり、中央の凹字形の建物が正殿で、その後方に廣大な林泉・庭園等がある。

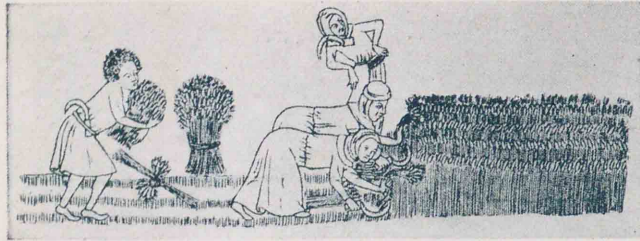


正殿内の一室
この室は豪華を極めたルイ十四世の居室である。



庭園内の噴水

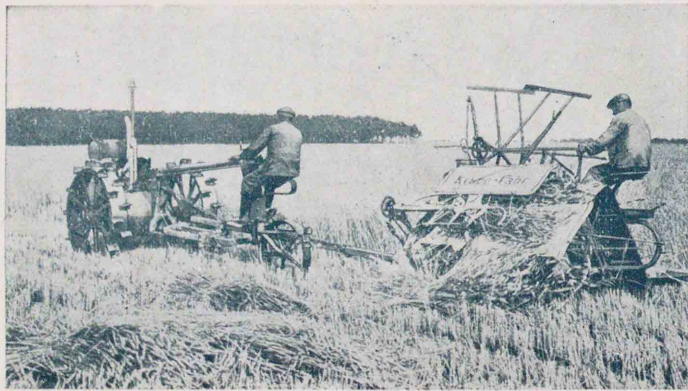
(一) 達發の業産



中世より近世初期の農法



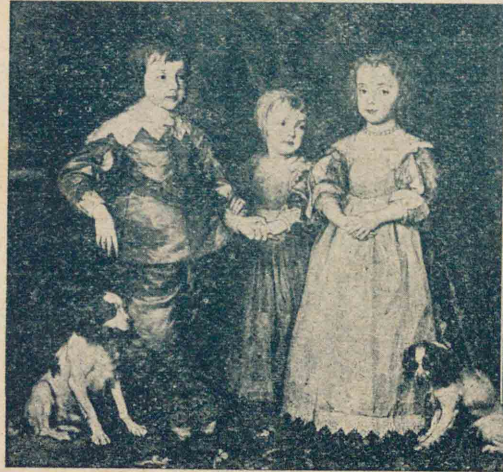
近世後期の農法
(アメリカ合衆國)



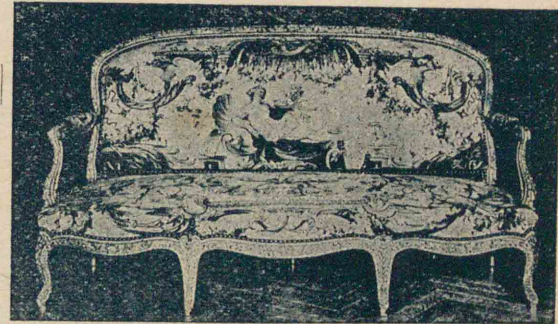
現代の農法
(ドイツ)

藝工術美の世近

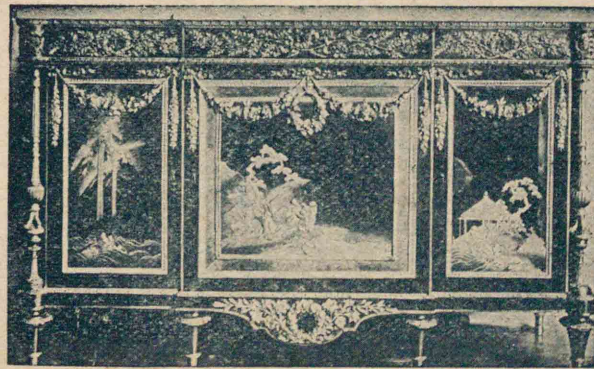
供子の世—スルーチ 筆クイダニャウ
(藏館畫繪ンデスレド)



胎懷き清 筆ヨリリム
(藏館物博ルヴール)

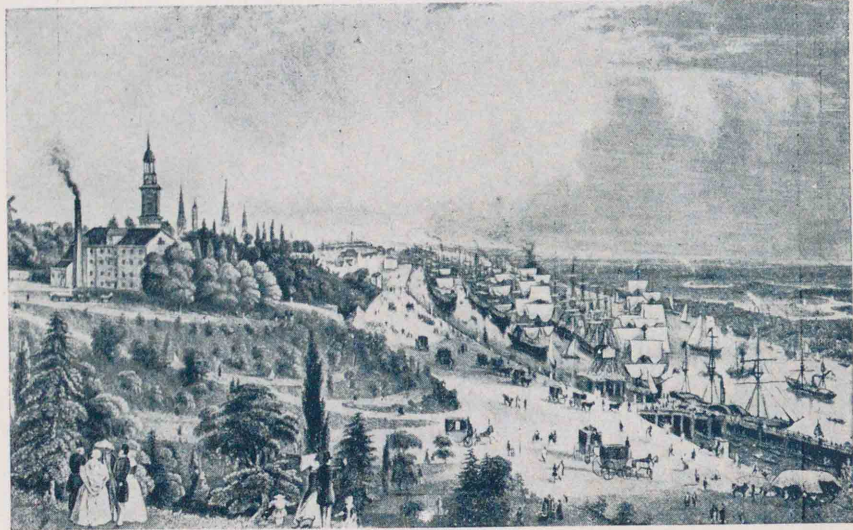


ルイ王朝時代の工藝
長椅子(右)
(ルーヴル博物館藏)

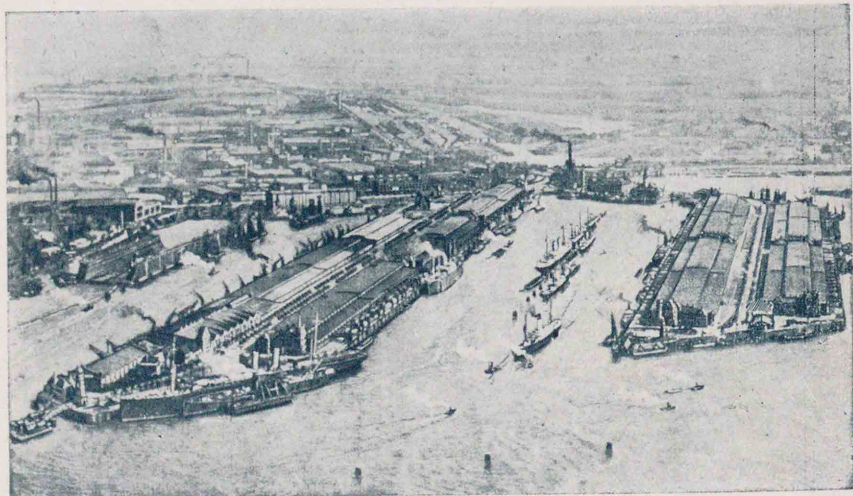


ルイ王朝時代の工藝
箆 筒(左)
(ルーヴル博物館藏)

(三) 達發の業産

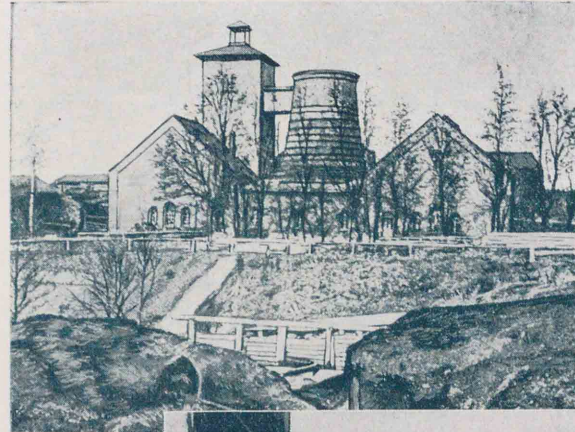


港商の世近
(港グルブンのツイドの頃年七四八一)

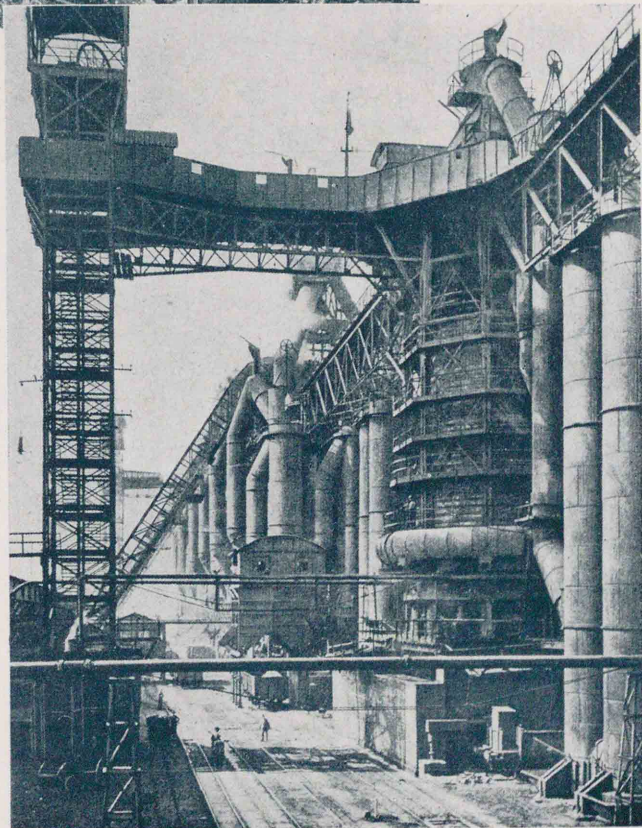


港商の代現
(港グルブンのツイドの頃年三一九一)

(二) 達發の業産



近世に於ける熔鐵爐
(ドイツのシレシヤ地方)



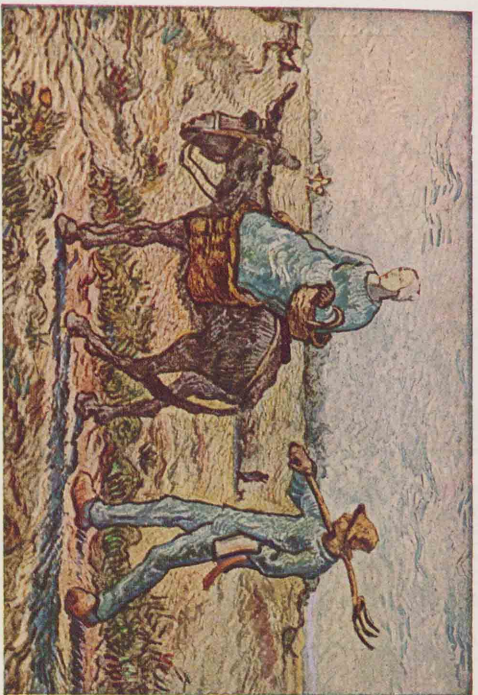
現代に於ける熔鐵爐
(ドイツのクルップ工場)

産業の發達

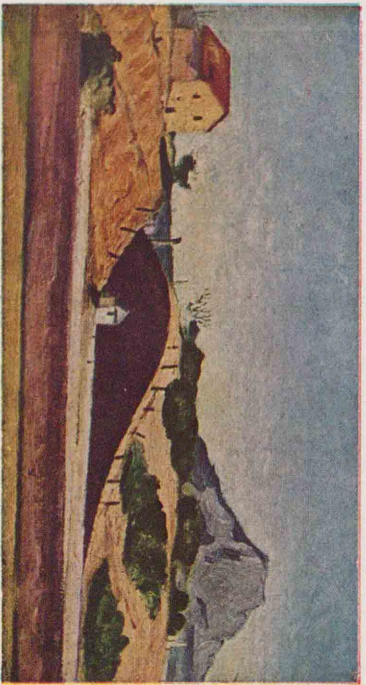
近世に於ける産業の發達は産業革命より始まる。産業革命とは既に述べたるが如く、科學の發達とその應用による機械器具の發達とに俟つところ多く、換言すればそれは科學による經濟的技術と、方法と、道具との進歩によるものといふことが出来る。かかる變革は經濟上の能率を高め、生産量を大にし、且つ生産費の低廉を齎し、従つて大量生産と低價販賣を可能ならしめ、また農工商に互つて經濟的活動を益々向上發展せしめる。それは本圖をみることによつて容易に首肯することが出来るであらう。

ところが、かくの如き産業の發達は、物質文明を盛ならしめ、人類生活を高昇せしむるとともに、また國家をも隆盛ならしめる。十八九世紀に於けるヨーロッパ諸國の經濟的發展と充實とが、植民地の獲得、天然資源の開發、商權の把握など世界的發展をなさしめたるとともに、また國內に於ても政治、軍事、社會、文化等に關する施設、發展の基礎となり、またこれを助長せしむるものとなつた。この意味に於て、近世産業の發達は國家の隆昌に重大な貢獻をなしたものとみることが出来る。

畫 繪 の 代 現



グランドニッポホ筆 野良がへり

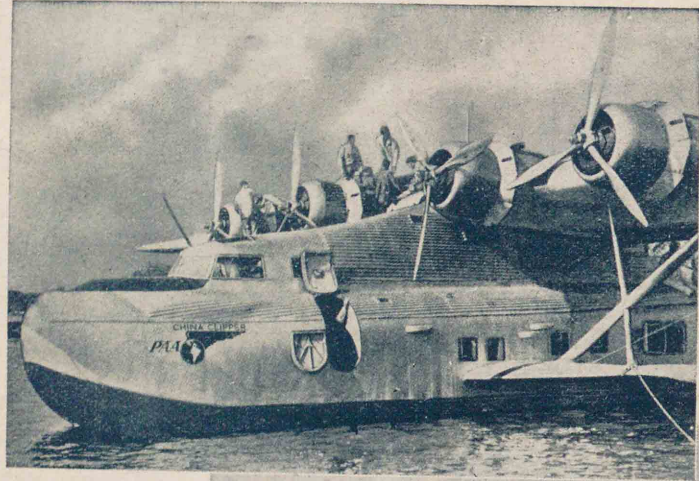


セザンヌ筆 風景

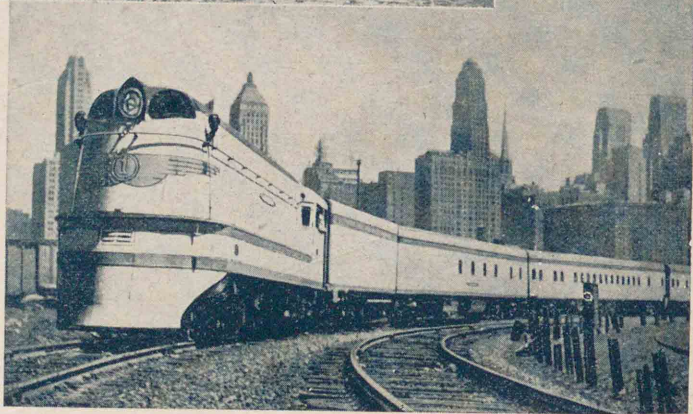


食朝の庭 筆ルーマン

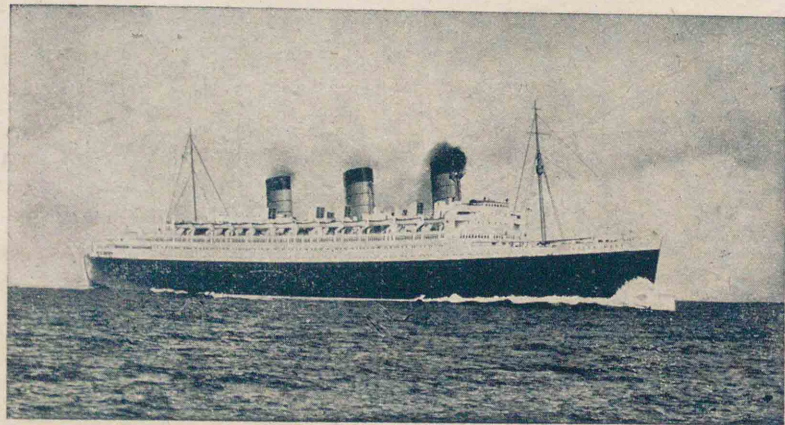
現代の交通機関



チャイナクリッパー號(左)
アメリカ合衆國の太平洋横断定期航空
飛行艇。時速二六二浬。



流線型列車(右)
アメリカ合衆國のディーゼル動車。
時速一七〇浬。バックはシカゴ市
ある。



クイーンメリー號(左)
イギリスの新造巨船で、長さ一〇一八呎、
總噸數八〇七七三、時速三二節。

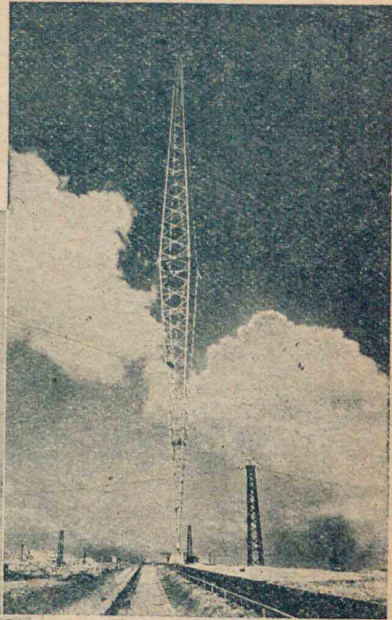
現代の繪畫

★十九世紀の繪畫はフランスが主流をなし、古典派と自然派と印象派とに三大別すること
が出来たであらう。古典派には世紀の始フランスにダヴィッドが出て「ナポレオンの戴冠式」な
どの名畫を残し、更に後年シャヴァンヌなどの高尚優雅な新理想派に影響を與へた。自然派には
コロ・ミレーなど出で、コロは風景畫をよくし、自然界の美を描くことに長じたが、ミレーは
「晚鐘」「落穂拾ひ」など、好んで田園生活を描き、畫面には愛と温情とが溢れて純真なる自然味が
豊かに表現せられてゐる。

★印象派は、自然の姿や形態を正しく描くよりも、自然から受けた印象をそのまま寫すべき
であると考へ、イギリスのターナーなどが外光線を描くことから影響をうけて、強い色調と
複雑な色彩とを以て自然そのもののみならず、その印象を描いた。モネ・マネール・ルノアール
など名高く、ここに掲ぐる「庭の朝食」などは、複雑な色彩を以て巧みに光や空氣の印象を描いて
ゐるとともに、また朝食後の爽やかさ静かさ柔かさなどを極めてよく表現してゐる。

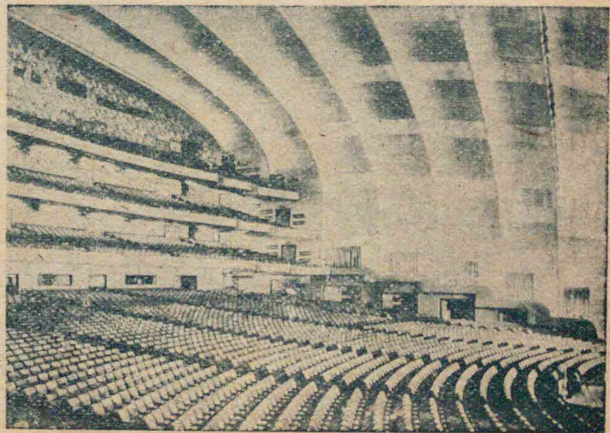
★この印象派が十九世紀の終から二十世紀の初頭にかけて後期印象派を生んだ。それは
日本畫が巧みな線と色とを以て最も印象的に描いてゐることなどが大いに影響し、線を多く
用ふるとともに、形態を離れて印象を描かうとする風が一層強くなつた。ゴーガン・セザンヌ・
マチスなどはその代表的な作家である。ここに掲ぐるヴァン・ゴッホはオランダ人であるが、フラ
ンスに居てその影響を多く受けた人で、野良がへりは線を多く用ふるとともに印象的などこ
ろが多く、且つ農村の平和な姿が強く人の心をうつものがあつた。セザンヌの「風景」は南フラン
スの景色であるが、つとめて色彩を單純化しながら強い色調を以て描いたあたり、最もその特
色を發揮したものと云ふことが出来るであらう。

異驚の化文代現



大電力放送所(上)
ハンガリーの首都ブダペストにある放送所のアンテナ塔。高さ三〇七米あり、この種のものでは世界第一である。

サンフランシスコの灣橋(下)
サンフランシスコとオークランドの間の港灣に架せる世界第一の長橋で長さ一・一浬。高潮の時でも軍艦・巨船がそのまゝ橋下を通過することが出来る。



ラヂオシティ(右)
ニューヨークのラヂオシティはラヂオ放送に關係ある十二の組織機構の綜合ビルディングで、二十七の放送室の外、ミュージック・ホール・オペラハウス・トーキー映畫館等がある。圖はその中の六千二百の客を收容し得るミュージック・ホールで、壁の隙間からパイプ・オルガンが響いてくる。

最新女子西洋史

西洋史の意義

西洋の歴史 今、西洋には、多くの國々があり、また立派な文化が開けてゐる。その國々や文化は、どうして發達し、またどんな特質をもつてゐるか。それらを調べるのが西洋史である。

歴史と民族 西洋史上の民族にはハム種族・セム種族・アリア種族等がある。はじめ地中海の東部にハム・セム兩種族が起り、ついでアリア種族中のギリシヤ民族・ローマ民族等が地中海を中心として活躍し、更にゲルマニヤ民族・スラヴ民族等が起つてドイツ・フランス・イギリス・ロシア等の諸國を建て、ヨーロッパ大陸のみならず、大西洋を中

1 西洋史上の民族

2 諸民族の活動範圍

一年=365日 5時 4分 4(秒)
6時 11分 14秒

1 東洋史との関係

2 國史との関係

3 日本女性と西洋史

西洋史の意義

心としてアメリカ・アフリカに、また太平洋を中心としてアジア・大洋洲にも發展し、且つ優秀なる西洋文化をつくつて、人類生活の發展に偉大なる貢獻をなした。

西洋史と東洋史・國史との關係 西洋と東洋とは、陸地が續いてゐるので、古來民族や文化が互に移動し、政治・軍事・經濟上にも頗る密接な關係を持つてゐた。また西洋と日本との直接の交渉は比較的近世に始まつてゐるが、現代に於ては何事にも深い關係がある。故に我等は東西兩洋史の關係を究めると共に、常に國史と對照して、我が國體の尊嚴・國民性の優秀・文化の特質などを明らかにすべきである。特に西洋史上に活躍した女性に注意して、女性が國家と文化とにつくすべき務をわきまへ、女性に關係ふかき美術・文藝・思想等をよく理解して、日本婦人としての教養を高め、以て世界に發展すべき我が帝國の女性として恥づかしからぬ人とならなければならぬ。

第一篇 上古史

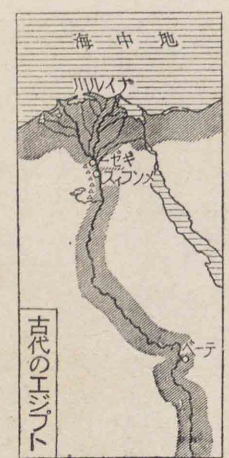
第一章 古代東方諸國

1 土地

2 文化

これはよく榮えた頃の風俗で、右は男子、左が女子である

西洋文化の始 今から凡そ五千年の昔、アフリカの北部にエジプト、アジアの西南部にバビロニアといふ文明國が起り、ここから西洋文化が開けはじめた。



エジプト エジプトは氣候暑く、雨の少い土地であるが、ナイル川の賜により農業が早くよ



俗風の人トブジエ

第一章 古代東方諸國

象形文字による

エジプト王プトレミー(上)とクレオパトラ(下)で各字は物に象つてつくられ音を表はしてゐる

ピラミッドは國王の陵墓である。多く石を積み上げてつくり、高さ一三八米に及ぶものがある



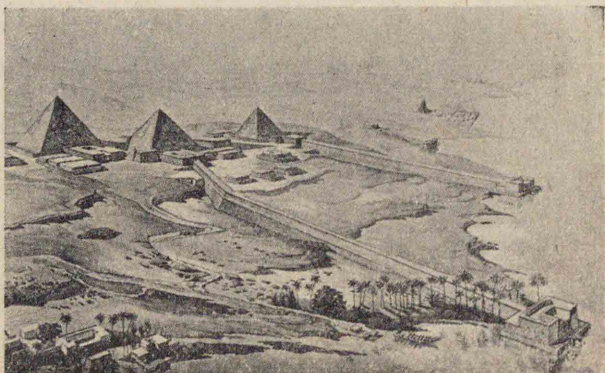
Ptolemy



Cleopatra

字 文 形 象

エジプトの文化 エジプト人は靈魂の不滅なることを信じて、死者をまつること厚く、死體をミイラとして保存した。また繪畫彫刻などにもすぐれ、立派な工藝品などをもつくり、紙草からパピルスといふ



(圖原復) ドッミラビ

國家と文化

1 モーゼ

紙を製した。
バビロニヤ バビロニヤもまたチグリス・エウフラテス兩河の賜によりて農業が榮え、商業が開け、國も強く、文化も進んだ。大建築彫刻楔形文字など名高く、天文学も發達してゐた。

ヘブライ人 はもと流浪の民であつたが、賢人モーゼに

2 ソロモン

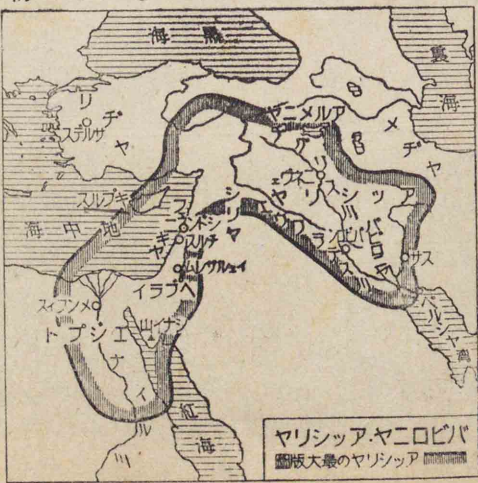
3 宗教

率ゐられ、後パレスチナに國をたて、ソロモン王の頃は富強をきはめ、榮華をほこつた。國民は最も宗教心に富み、天にいますイエホヴァの神を信じた。

舊約聖書 この中にはヘブライ人の傳説や歴史などが記され、天地の創造、神の十誡など興味ふ



モーゼ像



ヤリシッア、ヤニコロビバ 版大のヤリシッア

興味ふかき物語もあり、また多くの美しい詩篇などがある。キリスト教の思想はこの書から出てゐるものが多い。

1 航海貿易

十六世紀の頃ミケランジェロが刻んだものである

フェニキヤ、地中海の東部に住んでゐたフェニキヤ人は、海岸の良港を利用して航海貿易に従事し、銀、錫、琥珀、織物、眞珠など諸國の物産を

2 音符文字

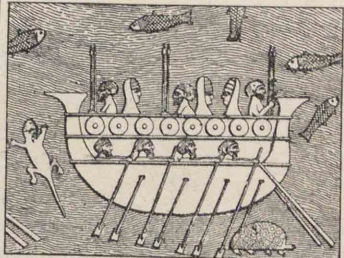
アッシリヤの國都ニネヴェ附近の宮殿内壁面の彫刻で軍艦の中央に並ぶ丸形のもののは楫である

1 アッシリヤ

アッシリヤ人は勇敢で戦を好み、狩獵に長じてゐた

アッシリヤの滅亡
・神武天皇の御代

2 ペルシヤ



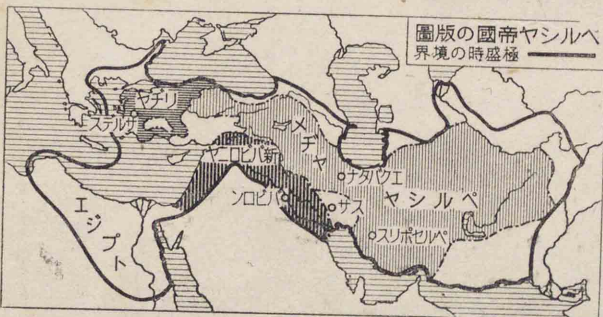
艦軍のヤキニエフ

音符文字表
A
B
D
E
Z
エ

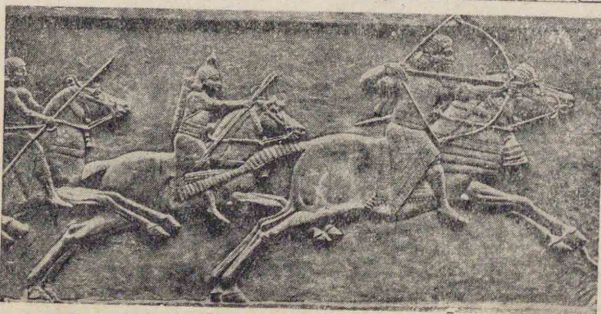
字文符音

集散し、自らも硝子や美しい染料を製して賣りさばいた。そのため國富み、生活も豊かに、文化も進み、音符文字を發明して西洋文字の起原をなした。
アッシリヤとペルシヤ
これらの國々をアッシリヤ人が統一して大帝國をつくつたが、國王が残酷であつたから間もなく滅び、やがて東方にダリウス王がペルシヤ帝國をたてた。王は

シリヤ人が統一して大帝國をつくつたが、國王が残酷であつたから間もなく滅び、やがて東方にダリウス王がペルシヤ帝國をたてた。王は



圖版の國帝ヤシルベ 界境の時盛極

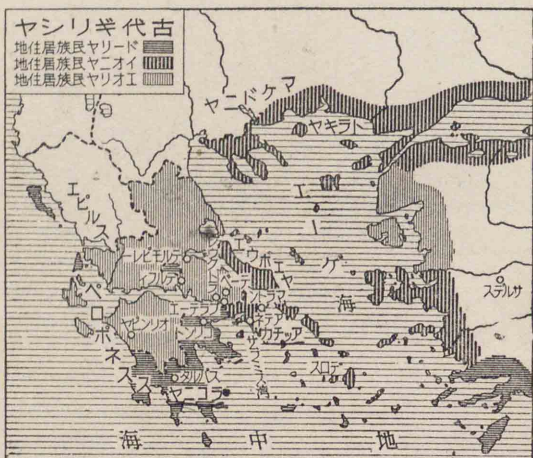


獵狩の人ヤリシッア

その大領土をよく治めたので勢力強く、遂には西の方ギリシヤと戦ふこととなつた。

第二章 ギリシヤ

ギリシヤ人は土地と海と氣候とに恵まれてゐた。そのため農業と商業が盛であり、また貿易と植民とが秀で、エーゲ海の東部・東北部及び地中海の西部に立派な多くの植民地をつくつてゐた

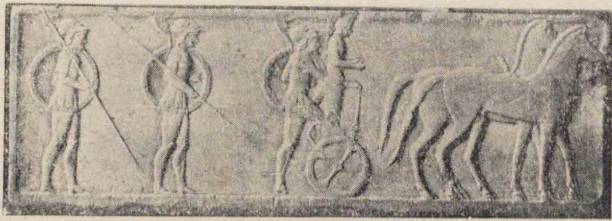


土地と國家 ギリシヤ半島は海岸の出入多く、良港に富み、航海貿易に適してゐたので、住民は早くより東方文明諸國と交通して文化を進め、國を富まし、また各地に多くの植民地をつくつた。しかし内地は山脈多く小盆地に分れてゐたので、農業を營み、團結のつよい國が多かつた。これらのうちスパルタとアテネとが最も名高い。

1 尙武教育

戦士が逞しい馬に引かせた戦車に乗り、盾と槍とをもつ武士と共に戦に出発せんとする颯爽たる威風である

2 スバルタ婦人



ギリシヤの戦士

スバルタ スバルタは農民の多い國で、貴族が政治をとり、國家主義により尙武教育を行つたので、國家のためにつくす心強く、武勇にすぐれた兵士が多く出た。婦人もまた強健にして雄々しき心をもち、よく子女を教育した。そのため國はますます強く
なつた。
スバルタ婦人 スバルタ婦人は立派な子女を産み育つるため、女子競技などを行つて身體を強健にし、また常に修養して國家奉仕の精神を養つた。劍の短きをなげいた我が子に、汝若し劍が短かければ進んで敵を斬れ」と教へ、出陣に際して「華しく盾をもつて凱旋するか、潔く死して盾に乗つてかへれ」と訓戒したといはれる。これらはよくスバルタ婦人の氣性をあらはしてゐる。

1 國情

2 アテネ婦人

右より、侍女が香水瓶を差し出し、婦人が鏡を持つて髪を整へるところ。次の二人は外出姿、次は家庭にあつて刺繡するところと絲をつむぐところである

教師が椅子に坐し、讀書・音樂等を教へてゐる。上古の陶器模様より寫したものである

1 戦争起る



アテネの教育

自由の精神に富んで王政より民主政治となつた。婦人は家庭にあつて家事を整へ、次第に高尚な趣味生活を送ることとなつた。

アテネ婦人 アテネの婦人は家庭にあつて、織縫家事を事とし、また音樂娛樂裝飾などに趣味をもち、優しく美しく雅やかな生活をなすことに努めた。これらはアテネ文化の發達に大きな影響を與へてゐる。

ペルシヤ戰役 ギリシヤ諸國が次第に隆盛になつていつた時、ペルシヤはギリシヤを前後三回にわたつて攻めた。第一回はペルシヤ失敗し、第二回にもマ



アテネ婦人の生活

2 サラミスの大勝

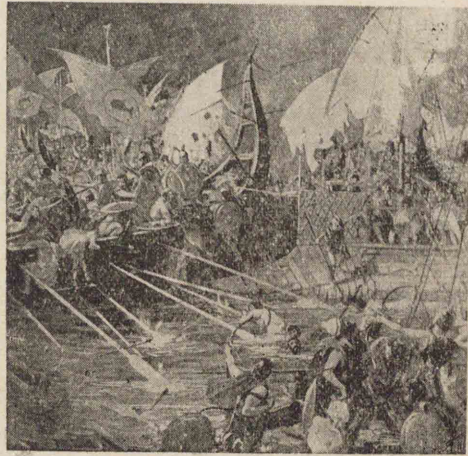
【圖説(上)】紀元前四八〇年四百隻のギリシヤ艦隊は、千餘隻からなるペルシヤの艦隊を撃滅した

○サラミスの海戦
● 蘇徳天皇の御代

【圖説(下)】中央の丘アクロポリスに神殿があり、その下の町のまはりに城壁をめぐらし、更に郊外に多くの附屬地があった。かかるといふを都市國家といふ

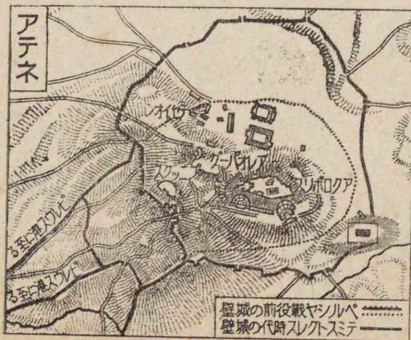
1 ペリクレス時代

【五】アテネの隆盛 この戦役中より、アテネは國威大いにあがったが、紀元前五世紀の頃、ペリクレス出づるに及び、大いに政治を整へ、商業を盛にし、都市を立派にしたので、國運ますます隆昌となり、文學・美術なども大いに榮えた。この頃



戦海のスミラサ

Marathon
たので、いよいよ最後に強大な陸海軍をもつて攻め寄せた。ギリシヤ諸國はアテネと同盟してこれに當り、テルモピレーの戦には敗れたが、サラミス灣の海戦には大勝し、その後、陸軍をも撃破して、完全に彼等を退けた。



アテネ 城の前後戦ヤシルベ 壁城の代前スリクステ

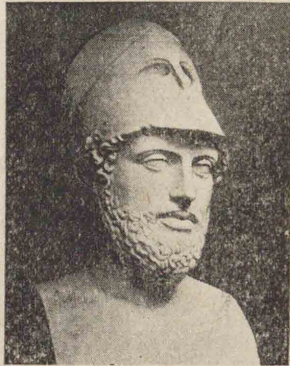
【圖説(上右)】ペリクレスは知識に富み、藝術を理解し、雄辯にして政治の才に長じた理想的な政治家であった

2 ギリシヤの内亂

1 マケドニヤ起る

【圖説(下)】アレクサンドル大王が、ペルシヤ王ダリウスとイッソスに戦つた時(前三三二)の圖。左端槍を執れるは大王、中央戦車に乗れるはダリウスである

【圖説(上左)】パリーのルーヴル博物館藏



スレクリベ

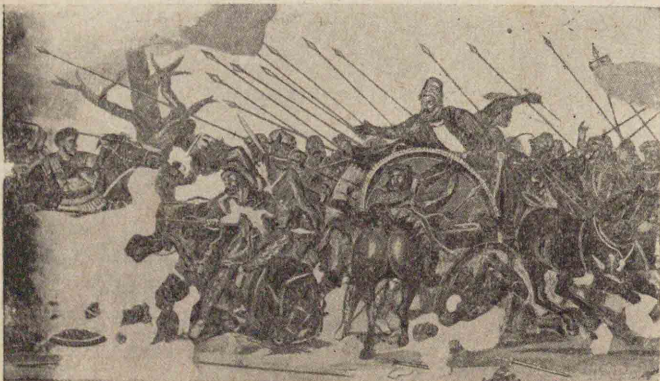
がギリシヤ文化の黄金時代である。ペリクレスの後、アテネは衰へて、スパルタ隆盛となり、ついでテーベが盛となつたが、その後、戦亂の止む時なく、諸國みな衰へた。

【四】アレクサンドル大王 この頃、北方にマケドニヤ國起つて、ギリシヤを平定し、アレクサンドル大王



王大ルドンサクレア

クサンドル大王出づるに及んで、更にペルシヤ・エジプトなどを滅ぼして印度にい



戦のスッイ

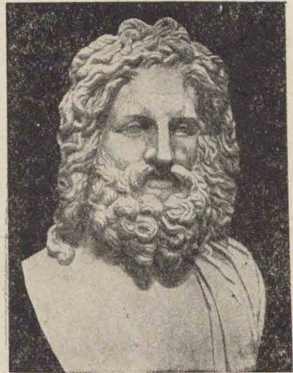
2 大帝國生る

○アレクサンドル大王の死
●孝安天皇の御代

たる大帝國をつくつた。かくて大王は東西の統一融合をはかり、ギリシヤ文化を東方にひろめたが、その死後、帝國は分裂した。これらの地方に於ける文化は所謂ヘレニズム文化と呼ばれ、その影響は印度支那、日本等の東洋各地にも及んだ。

第三章 ギリシヤの文化

●ギリシヤの文化　ギリシヤ人は、自由な思想と聰明な素質と藝術的な天分とをもつてゐた上に、風光明媚の地に住み、生活も豊かであつたから、立派な文化がよく發達した。



像スウゼ

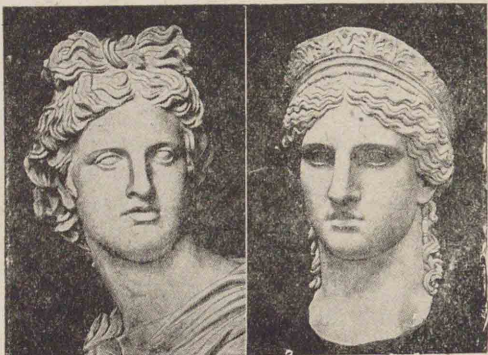
●宗教と哲學　ギリシヤに於ける最高の神をゼウス、その妻をヘラといひ、アポロ・ミネルヴァなど多くの神その下にあり、いづれも深く尊信せられて、立派な殿堂に祀られ、

1 宗教

●ゼウスはオリムポスの山上雲深き處にある金殿玉樓に住み、天地萬物を支配すると考へられてゐた

西洋文化の母

●ヘラ像はローマの博物館にある大理石像にして最も美しき像の一といはれる。アポロ像はローマ法王廟の博物館にあり、廣く世に知られてゐる

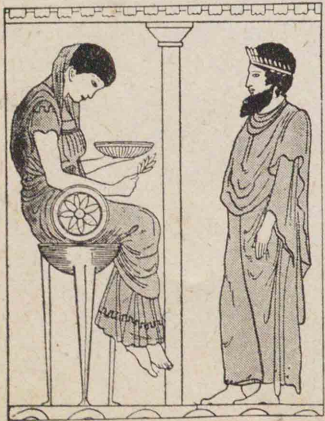


像ロポア　　像ラヘ

また大祭が行はれた。ゼウスの神に捧ぐるオリンピック大祭などは最も名高い。ギリシヤ神話　ギリシヤ諸神の物語を記したものである。ゼウスは天地萬物を主宰して國家の運命を支配し、ヘラ(ジュノー)は婦人の運命と結婚をつかさどり、アポロは太陽の神として男子の運命を、ミネルヴァ(アテナ)は智慧と藝術を、ミューズは文學藝術などに深い影響を與へてゐる。

●巫女が神域内の三脚机の上に坐し、神を念じ、神の言葉を口走ると、それを神官が書き記すのである。ゼウス、アポロ等の神託は最も重んぜられ、國家の重大事をそれによつて決定した

●オリンピック大祭　四年毎に行はれ、ギリシヤ全土より選手を派遣し、競走、幅跳、高跳、槍投、圓盤投など多くの競技あり、優勝者には月桂冠を與へた。これはギリシヤ人の體育を向上せしめ、國



託　神

2 哲學

これはオリビヤの復原圖である。中央にゼウスの神殿があり、その後方に陸上競技場がある

1 文學

ソクラテス像はナポリ博物館にあり、ホーマー像はローマのカピトル博物館に所藏されてゐる



ソクラテス像 (上) ナポリ博物館にあり、ホーマー像はローマのカピトル博物館に所藏されてゐる

民精神を統一するに効果があつた。

哲學には、ソクラテス・プラトール・アリス
トールトルなど出でて、深く人生を考へ、ギリシヤ哲學を大成した。この考へ方は

後の世までも傳はつてゐる。

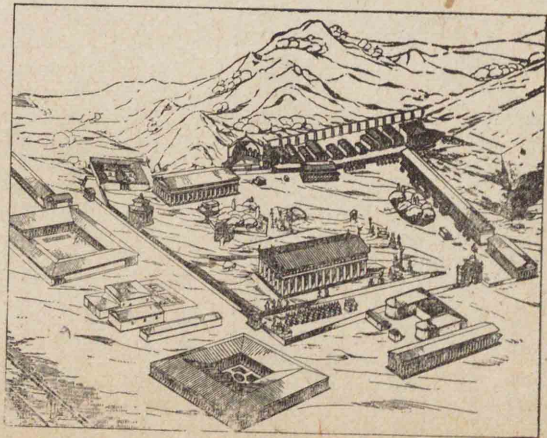
文學と藝術

ギリシヤ人はまた正しく美しい

ギリシヤ語で多くの詩や文章をつくつた。

古くはホーマーがイリヤッド・オディッセイといふ物語詩をつくつたが、ペリクレス時代には

エスキルス・ソフォクレスなどが立派な戯曲を



景全ヤピンリオ

2 藝術

アテネ市アクロポリスの麓にある劇場址で、本圖には半圓形の演技場と階段状の観覧席とがよく現はれてゐる

2 藝術

これはその娘への父が建てた墓標である。彼女の死後を慰むるため、彼女が生前好んでゐた寶石の小箱を侍女が捧げてゐる圖を浮彫にして刻んでゐる。我等はここに限りなき親の愛と美しき彫刻と當時の風俗とを知ることが出来る

つくつた。

イリヤッドオディッセイ これはスバルタ王がアガメンノンを總大將として多くの勇士をひきつれ、トロイの城を攻めて大勝利を得た物語と、その勇將ユリシイズが歸る途中、海上でさまざまな危険をおかして歸國し、めでたくその妻を救つたといふ物語である。

藝術には、大理石でつくつた壯麗な建築や立派な

彫刻がある。

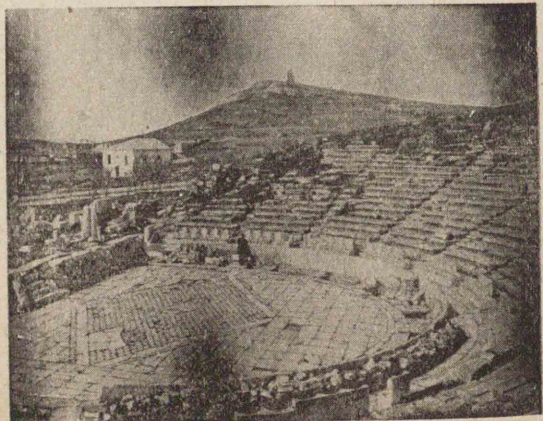
中にも、アテネの中央丘上にあるパルテノン神殿はイクチヌスの設計になり、建築の模範として名高く、フィ

ヂヤスの彫刻は千古不朽の傑作といは

れる。



標墓



址場劇のヤシリギ

これはトロイ戦争に出た勇將ユリッシーズを尋ねんとして、その子テレマコスが織場の母を訪れた圖といはれてゐる。夫の出征中慣ましく家を守る妻の優しき心と機織の姿とがよくあらはれてゐる。イタリヤのキウシ博物館所蔵古陶畫による



婦人機織圖

れてゐる。

四ギリシヤ婦人　ギリシヤ婦人は、快活に健康に明朗に育てられた。結婚して後はよく家事を整へ、生活や趣味の向上をはかつたが、スパルタ婦人は特に御國のため子女の教養につとめた。表面には現はれなかつたけれども、ギリシヤ婦人の國家と文化とのためにつくした功は大きいものがあつた。

第四章　ローマ

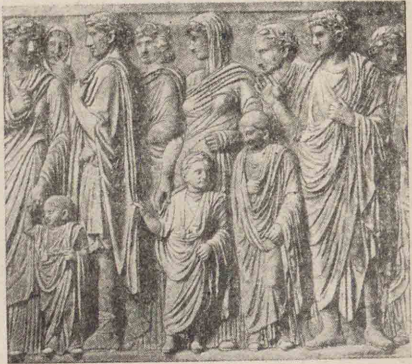
家族制度を重んず

一　ローマ人

Romans

ローマ人は農業を主とし、質實剛健にして、武勇の氣象に富み、且つ家族制度を重んじた。そのため家名を尊重し、祖先を崇拜する念強く、家族はまたよく家長に服従した。従つて國家に對し

これはアウグスツスの偉大なる功績を記念するために建てられた平和の祭壇にありし浮彫の一部である。彼右端及び夫人、子供等を見ると堅實溫和にしてよく融合せる家族の姿がうかがはれる



ローマ人の家族

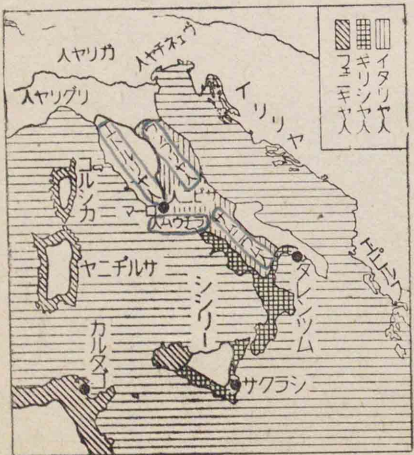
ても義勇奉公の精神つよく、一身を犠牲にして國家のためによく働いた。ローマがやがて大帝國を建設したのは、かやうに國民精神が強かつたからである。

二　ローマの發展　ローマは紀元前七五三年建國したといはれ、紀元前二七二年にはイタリヤ半

1 半島統一

2 地中海沿岸征服

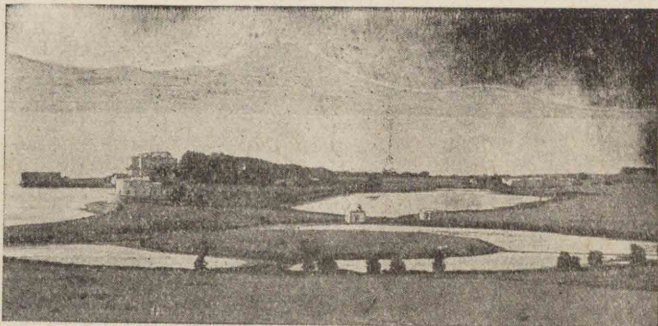
島の大部を平定し、更に對岸に勢を振つてみたカルタゴを前後三回にわたつて攻撃し、凡そ百二十年を費して遂にこれを滅ぼし、また東方ギリシヤ・マケドニヤ・シリヤをも征服して、地中海沿岸に亘る大國家を建設した。



上古イタリヤ要地圖

3 カルタゴの滅亡

圖 中河のやうに彎入してゐるところは即ち昔のカルタゴ港の跡である



墟廢のゴタルカ

カルタゴの滅亡 カルタゴの勇將ハンニバルが敗れて後、ローマが三たびカルタゴを攻めた時、カルタゴ市民はローマ軍の重圍に陥つて籠城すること三年、婦人も日夜武器の製作にあたり、また毛髪をきつて弦とし、すべてのものが心を合せて奮戦したが、遂に敗れた。その市街は兵火のため七十日間燃え續けたといはれてゐる。

1 共和政となる

2 貴族・平民の争

3 貧富兩民の争

しかるに外國征伐の結果、ローマには莫大なる富が入ることとなつたが、貧富の差はますます甚だしくなつたので、貧民は不平を起し

ローマの内政 ローマは、初め王政であつたが、紀元前六世紀の末、共和政となつた。けれども貴族が權力を専らにしたので、平民が不平を起し、リキニウス出づるに及んで貴族平民とも平等となり、多年の争は止んだ。

圖(下)

ボンベイ市より發掘した家屋によつて構圖したものである。家屋の中央に石を敷きつめた廣間、噴水のある廣間、花園などが連なり、その周圍に多くの部屋があつた。内部の柱・天井・壁・床などの裝飾は實に壯麗である

4 コルネリヤ

圖(上) コルネリヤが掌中の珠玉としてその二子を膝下においてゐるところ。カヴリエの彫刻したものである

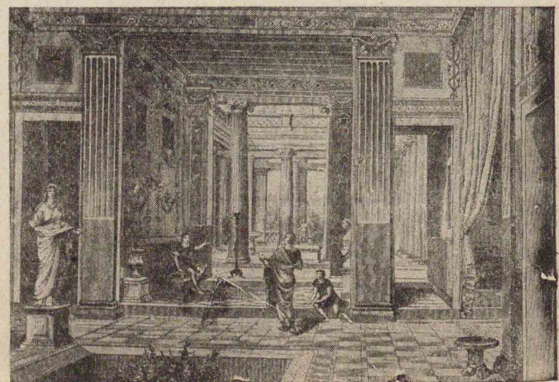


子二のそとヤリネルコ

て富豪と争つた。この不幸を救はうとして、健氣にもグラックス兄弟は大いに働いたが、成功せず、貧富兩黨の争はますます烈しくなつた。

コルネリヤ ローマが戦争に勝つて富裕になると、その國民は奢侈に流れ、特に上流婦人は華美な着物や裝飾を競つた。ある席上、多くの貴婦人は寶石などを示して誇りあつたが、コルネリヤはこ

Cornelia



部内の庭家流上マ一ロ

れが私の身の飾ですとて愛兒二人を示した。この二兒が後に立派な仕事をしたグラックス兄弟で、この母はまことの寶石をもつたと後の人から賞讃せられた。

1 ケーザルの偉業

【圖説(右)】

この圖によつて彼の偉大なる人格と絶倫なる精力とをうかがふことが出来る。元老院にて殺される時は身に寸鐵を帯びず、二十三劊をうけて斃れた。

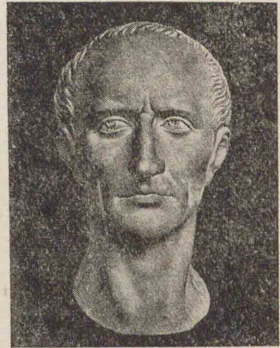
2 ケーザルの暗殺

○ケーザルの死
・崇神天皇の御代

1 オクタヴィヤヌスの軍功

【圖説(左)】

本彫刻はイタリヤのヴェニス博物館にあり、ローマ時代の作といはれてゐる。



ルザーケ

【四】ケーザルの偉業 この時貧民黨から英雄ケーザルが現はれ、同志とともに三頭政治をたて、國內を安定するとともに、外國をも征伐し、武勳を輝かしてローマに凱旋した。

ケーザルは文武の大權を一身にあつめて

帝王の如く、弊政を改め、貧民を救ひ、曆などを改正して大いに國運の隆昌をはかつたが、惜しいかな反對派のために暗殺された。

【五】アウグスツスの帝政

ケーザルの養嗣子オクタヴィヤヌスは、アン



ラトバオレク

トニウス等と三頭政治をたてたが、間もなく二人の間に争を生じ、彼はアントニウスとエジプトの女王クレオパトラとの軍を破り、その地をも征服して、ローマに凱旋した。

【圖説(下)】
帝の皇后の別荘址から發掘された大理石彫刻による。左手に持てる棒は皇帝の権力の表章である。

2 アウグスツスの内治

【圖説(上)】

リヴィヤはオクタヴィヤヌスの皇后となり、才色兼備のほまれ高く、また内助の功に富んでゐるといはれてゐる。



ヤイヴリ

クレオパトラ クレオパトラは容色すぐれ、才略に富み、先にケーザルの助をかりて内亂を鎮定し、強大となつたが、アントニウスと結んでオクタヴィヤヌスと戦ふに及び、その海軍はアクチウムに於て大敗した。彼女は更にオクタヴィヤヌスの助を乞うたが容れられず、遂に自殺した。



スツスグウア

かくてオクタヴィヤヌスの威名は天下に高く、アウグスツスの尊稱をうけ、ローマの全權を握り、帝政と異なることなきに至つた。彼は

よくローマの大版圖を治め、防備を嚴にし、交通を開き、産業をすすめ、土木を起し、大建築を営み、また文藝を奨励したので、ローマの黄金時代が出現した。

【六】ローマ帝國とその没落 アウグスツス

1 皇帝政治

2 没落

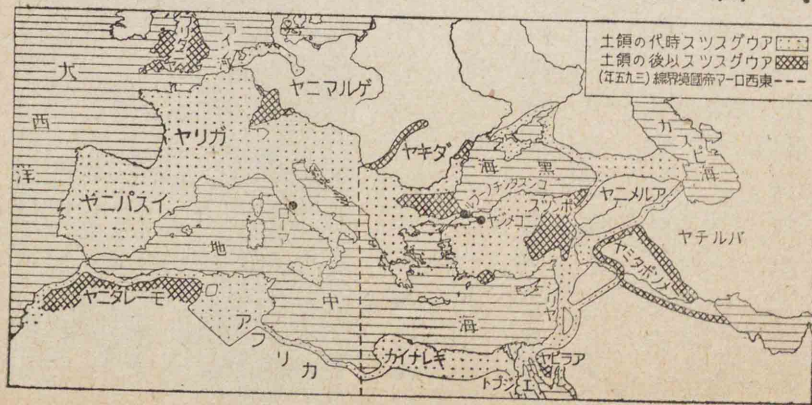
3 分裂

○西ローマ帝國の滅亡
●雄略天皇の御代

の死後、約二百年は立派な皇帝も多く出て、帝國內の政治もよく行はれたが、次第に國民精神が衰へて安逸遊惰の風おこり、個人の幸福を願つて國を思ふもの少く、國民皆兵の制も破れて傭兵が勢力を占めたので、漸く衰へはじめた。かくて三九五年には遂に東西兩帝國に分裂し、西ローマ帝國は四七六年蠻族侵入のために滅んだ。

第五章 ローマの文化

■ローマの文化
ローマ人は實際的な國民であつたから、文學や哲學などあまり盛でなかつたが、團體生活を重んじたため法



圖裂分西東と圖版の國帝マール

2 建築・土木

■(上)
ローマ市にあるフォラム遺跡でローマ時代の宏麗なる殿堂が立ち並び政治上・社會上の中心地であつた

1 初期の婦人

■(下)
初めローマに建てられた神殿であるが、七世紀に入つてからキリスト教會堂となつた



ムラオのマーロ

律などよく發達し、また凱旋門・記念碑・大浴場・劇場・大競技場・水道・橋梁等の大建築・土木が多く營まれ、今もなほそれらの遺跡が残つてある。

■ローマ婦人
ローマ人は家族制度を重んじたから、婦人は家にあつてよく夫に仕へ、家政を整へ、子女の教育に

つくした。そのため男子は外に出て大いに働くことが出来、國運は隆昌に赴いた。しかし、外國征伐後は次第に華美な生活をおくる



ンオチンバ

2 中期以後の婦人

カラカラ帝の建てた大浴場の復原圖 右方の建物は入浴前後の大娛樂場である

1 キリスト傳

に至り、娛樂、觀劇等にふけて家事教育をおこたり、また離婚なども多くなり、道徳もみだれたので、國家は内部から衰へはじめることとなつた。

キリスト教 アウグスツス帝の頃、ユダヤにキリストが生れて、新宗教を開いた。

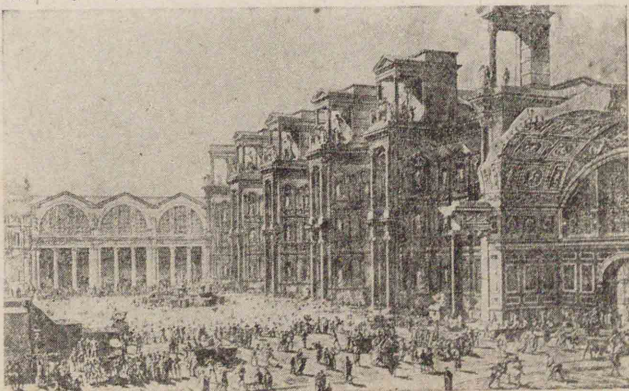
キリスト イエスキリストは紀元前四年ユダ

國ベトレヘムに生れ、母をマリヤといつた。彼は

Bethlehem

Maria

豫言者ヨハネの洗禮をうけ、冥想をつづけて後大悟し、自ら天帝の使者なりとて神の愛と平和と幸福とを説いたので、人々は彼を信じて救世主と稱した。しかしローマ政府の迫害を受け、その役人が彼を捕へんとしたので、彼は最後の晩餐をとつて後、十字架上の露と消えたが、その後復活して弟子達に姿を現はしたといはれてゐる。キリストの傳記や教義は新約聖書にくはしい。



カラカラ大浴場

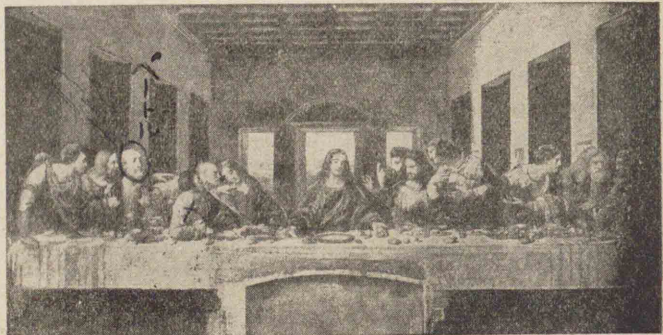
2 ローマに傳はる

レオナルド・ダ・ヴィンチの筆でイタリヤ、ミラノ一寺院の壁畫。紀元二九年四月踰越の祭の夜弟子達を集めて、この中に我を賣るものありと告げ、弟子達が驚く中に自らは靜かに最後の晩餐につく圖である

圖説(下)

ローマでキリスト教が迫害された時代に信徒はこの墳塋(カタコンブ)で秘密に信仰をつづけた

3 帝國內に弘まる



最後の晩餐

に弘まり、ローマ等の大本山を始め、各地に多くの教會が建立せらるるに至つた。

かくてキリスト教は、その高弟、ペートルや

Peter

パウロ達によつて傳道され、ローマにも傳はつた。ローマでは、最初下層民に傳はり、大いに精神的慰安を與へたが、皇帝はこれを禁止し、その信者を迫害した。しかし信者の熱烈な信仰心と敬虔な殉教心によつて、その教は次第に弘まり、やがて紀元四世紀の始、一般に公許せられて大帝國內

に弘まり、ローマ等の大本山を始め、各地に多くの教會が建立せらるるに至つた。



ローマ初期クリスト教信徒の遺跡

第二篇 中世史

第一章 民族の大移動と封建制度

1 移動を始め

2 ローマ帝國に侵入

3 建國

ゲルマニヤ村落の有様で、ローマ市にあるアントニヌス圓柱の表面の彫刻である



活生の人ヤニマルゲ

ゲルマニヤ民族の移動 ゲルマニヤ民族は、ローマ帝國の東北一帯の地に住み、狩獵・農牧をいとなむ強い民族であつたが、四世紀の中頃、東方のフン族(Huns)に追はれて移動を始め、相ついでにローマ領内に侵入した。その頃ローマは國力が衰へてゐたので、國內は蠻族の荒すにまかせ、混亂凡そ百餘年にして西ローマ帝國は滅び、イスパニヤには西ゴート族、ガリヤ(今のフランス)にはフランク族、ブリタニヤ(今のイギリス)にはアングロサクソン族等が國をたてた。そのためローマ帝國

1 チャールス大帝の内政

○チャールス大帝
●桓武天皇の御代

2 大帝死後の分裂

ドイツ畫家チュールベルヒ市ゲルマニヤ博物館所藏、左手に握る地球に十字架を附けたのは神意による世界統治の意、また剣は武力征服の意を示す

内に榮えた古代文化は荒廢した。

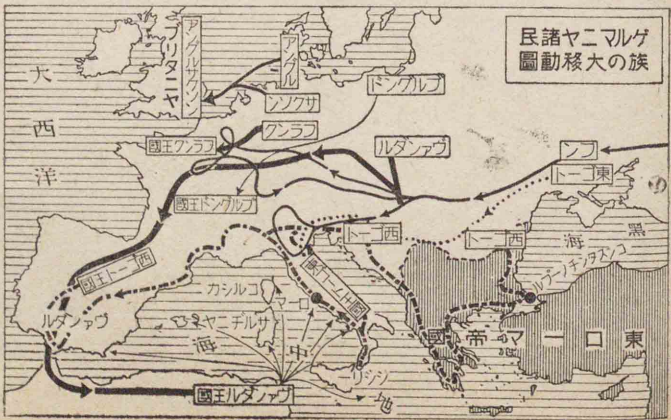
フランク王國 フランク王國にては、九世紀の始、チャールス大帝が各地を征服して西ローマ帝國を再興し、キリスト教を弘め、政治を整へ、産業・教育を奨励し、學藝を盛にしたので、一たび荒廢したローマ文化も復興した。

しかし大帝の死後、その子孫は五に相争つて國亂れ、遂に大帝國は分裂した。

そのうち、東フランク王國にてはオットー一世出でて神聖ローマ皇帝となり、



帝大スルーヤチ



民諸ヤニマルゲ 圖動移大の族

3 ドイツの起り

4 フランスの起り

イギリスの起り

フランスのバネーに於ける十一世紀の刺繍の一部分である。この刺繍はウイリアムの皇后マチルダが侍女を督勵して製作したものといはれる



入 侵 ド ン ラ グ ン イ の ム ヤ リ ヨ ウ

近世ドイツの基礎をつくり、西フランク王国にてはユーグ・カペー出て王統を確立し、近世フランスの起原をつくるに至つた。

目 イングランド王国

アングロサクソン族は初め七王国をたててゐたが、九世紀の頃統一せられてイングランド王国となり、その後ノルマンチ1公ウイリアムが侵入して王統を確立した。王は文物制度を整へ、よく國內を治めたので、この頃からイギリス國風が形成されはじめた。

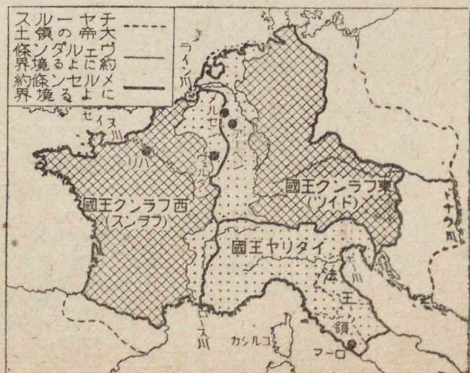


圖 裂 分 の そ と 土 領 の 帝 大 ス ル ー ヤ チ

1 起り
2 主従關係

武士は二十歳頃となれば嚴肅なる元服式を行ひ、主君の前に跪いて忠誠を誓ひ、主従の關係を固めた

1 貴族諸侯

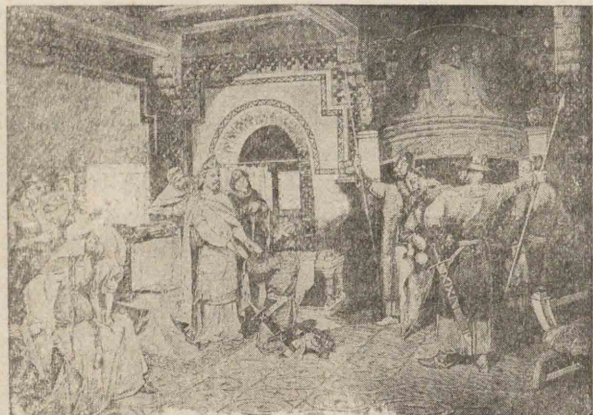


圖 命 任 士 武

封建制度 これらの國々ではまた封建制度が成立した。即ち七八世紀の頃より外敵の侵入も多く、國內も騒がしかつたので、國王は諸侯に土地(土封)を與へて保護し、諸侯は兵馬を養つて國王に忠誠を誓ひ、諸侯もまた武士と同じ關係を結んで各、君臣關係を固くし、武力をもつて國をよく治めた。

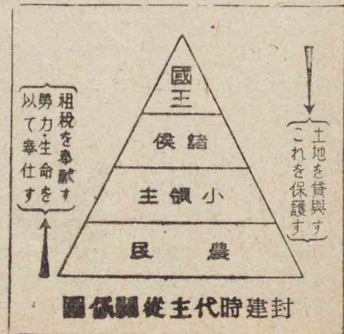


圖 係 關 從 主 代 時 建 封

武士階級 封建制度にては貴族(諸侯)武士・平民(農工)の區別が嚴重であり、貴族は堅固な城郭に住み、多くの武士を養ひ、最も勢力を振つた。

2 武士道

飾りたてたる馬に跨る若き武士が貴婦人より賞をうくる圖である。本圖はマネッセのリーダーハントシュリフトによる。

3 武士の婦人

これはドイツのナウムブルグ教會に刻まれたるエッケハルトとその妻の像。中世武士とその夫人の風俗をよく現はしてゐる。



武士が婦人に賞をくぐる圖

武士道 武士は幼少の頃から厳しい訓練をうけ、殿中に小姓コウシヤとなつて禮儀作法を見習ひ、武藝を練り、元服式をあげて騎士となつた。騎士は武勇を尊び、神を敬ひ、婦人を尊敬し、また演武會にてその技を競ひ、貴婦人に賞揚せらるることを名譽とした。またこの頃の婦人はゲルマニ



中世武士の風俗

ヤ女性の美點をうけついで、よく夫に仕へて貞節を守り、純潔を旨とし、高雅にして氣品あることを尊び、家庭にあつては子女の教養につとめ、一朝事あるときは武士の妻として恥づかしからぬ覺悟をもつてゐた。従つてその

家庭からは多くの立派な武士が出た。これらは我が國の武士階級に於ける婦人の行ひにも比すべきであらう。

第二章 中世初期に於ける東方の形勢

この寺院はイスタンブールにあり、ビザンツ建築の代表的のもので、内部の裝飾は多彩なモザイク、大理石等を以てし、絢爛を極めてゐる。しかし十五世紀にトルコ人の有となつてからマホメット教寺院に使用され四方の尖塔などが増築されて原形が餘程變つた。



セソントフヤイ寺院

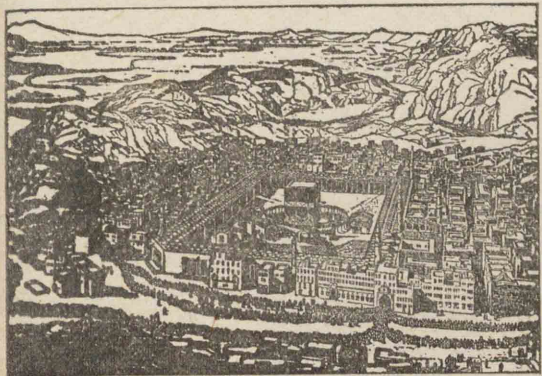
東方の二帝國 ゲルマニヤ民族が西ヨーロッパに於て建國してゐる間に、東方では東ローマ帝國とサラセン帝國とが相ついで榮えた。
東ローマ帝國 東ローマ帝國はゲルマニヤ民族の侵入を受けたが、六世紀の始ユスチニヤヌス帝が即位してから、廣大な領土を得て内治を整へ、有名なローマ法典をつくつて後世に範を垂れ、また

2 ビザンツ文化

セントソフィヤ等多くの寺院をたてて宗教を盛にし、文化をすすめた。
 St. Sophia
ビザンツ文化 東ローマ帝国では、ローマの文化と東方の文化とが融合して、ビザンツ文化が栄えた。立派な宮殿や建築及び内部の荘嚴華麗なモザイク裝飾などは、ビザンツ式藝術の粹といはれてゐる。

1 マホメット

圖説
 マホメット教の靈場として毎年マホメット教徒の巡禮者が多い。廻廊で囲まれた廣陸の中央にカーバといふ方形の建物があつる。その中に黒色の隕石があつて信徒は七度カーバを廻つた後その隕石に接吻する



院寺カッメ

目 サラセン帝國 アラビヤに住むサラセン民族は、七世紀の始マホメットが出てマホメット教を創めてより大いに盛となつた。
マホメット教 マホメット教の經典をコーランといひ、天帝アラールの神を讚美し、その教を説いた。この宗教を支那にては回教といひ、今もエジプト・アラビヤ・トルコより印度・マライ半島にまで信仰せられてゐる。

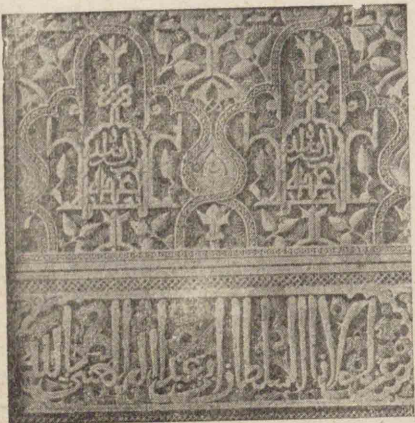
マホメットの後継者は布教と征服とを併

3 二大帝國

せ行つたので、宗教の弘まるにつれて領土も廣まり、八世紀の始には、東は印度より西はアフリカ・イスパニヤに互る大帝國が成立した。間もなくこの大版圖は東西に分裂したが、東西相競つて學藝を奨励し、航海貿易を盛にしたので、國力充實し、文化も榮えた。

1 藝術

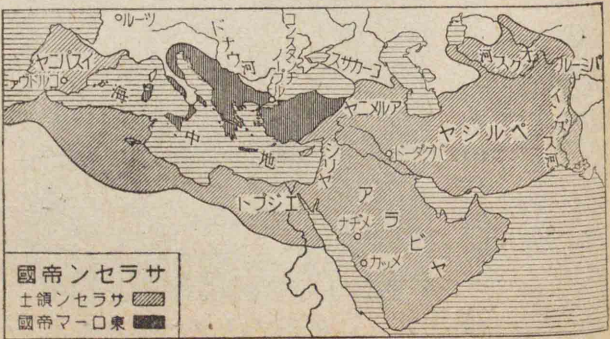
圖説(上)
 これは多くの曲・直線の外花弁等を探り入れたアラビヤ模様で、材料は漆喰(シクヒ)を用ひ、彩色を施してある



部一の飾装内室のヤビラア

四 サラセン文化

建築はビザンツ様式に則る宏大なる寺院・宮殿等を營み、裝飾には美しいアラビヤ模様を用ひた。學問は特に天文学・數學・理化學等が發達し、また工業にては立派なモスリン・天鵝



國帝ンセラサ
 土領ンセラサ
 國帝マー口東

2 學問

3 商業

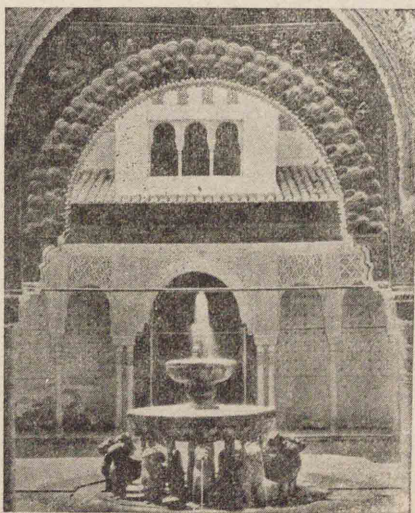
4 サラセン文化

この宮殿はアラビヤ建築と装飾の粹をつくしたものである。本圖は獅子噴水園庭の中心部である

絨などを製した。なほ、アラビヤ人は支那・印度及び西歐諸國と交通貿易したので、支那の火薬・火炮・絹陶器・印度・南洋の香料・寶石、自國のバラ・サフラン・織物などを西洋に傳へ、また天文・數學・理化學等の最新科學を西歐諸國に傳へた。

サラセン文化 サラセン藝術のうち、その裝飾はさまざまの曲線と直線とを巧みに組合せ、それに絢爛華麗な色彩を施したアラビヤ模様を以てした。イスパ

ニヤにあるコルドヴァの寺院、グラナダのアルハンブラ宮殿などは特に名高い。またサラセンの言葉には、アラビヤ數字、アルゼブラ(代數)、アルカリ、モスリンなどの如く世界的となつたものが頗る多い。



殿宮ラブンハルア

第三章 中世に於けるキリスト教の隆盛

1 ローマ法王

ローマ法王 中世紀には、キリスト教がますます發達して到るところに多くの教會が立ち、それらを支配するローマ法王は信者から深く尊信せられた。中にも法王グレゴリー七世は英才に富んで世

界を支配せんとする志あり、ドイツ王ヘンリー四世がその命を奉じなかつたので破門し、遂にヘンリーをしてその罪を膝下に謝せしめ、政治上大いに勢力を振つた。

かくて教會は、信者の深き信仰と財物・土地等を奉獻すること等により、精神上・經濟上・社會上にも勢力を得、宏大なる寺院を建立し、皇帝・諸侯といへどもその命に従ふ有様であつた。従つて一般武士・平民等の日常の生活・風俗・習慣等も著しく宗教的影響

2 教會・僧侶の力

ベルチノの作で、ローマのシステン禮拜堂所藏。鍵を與へられたことは全權を與へられたことを意味する。歴代の法王が法王たる印として鍵をうけついでのも、ここに起原する

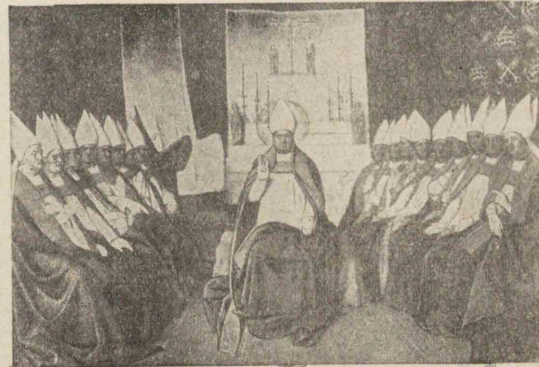


圖るへ與を鍵の國天にロテベ聖トスリキ

圖(上)
これはバールの宗教會議である。宗教會議は宗教上の教義・規範、その他の重要な事を決めるもので、最も重要なものであった。

1 修道院

圖(下)
これはイギリスの有名なカンタベリー寺院である。十三世紀頃の建築であるが、町家よりも遙かに宏大にして堂々あたりを威壓してゐる姿は、中世寺院の社會的勢力を如實に表現してゐる。



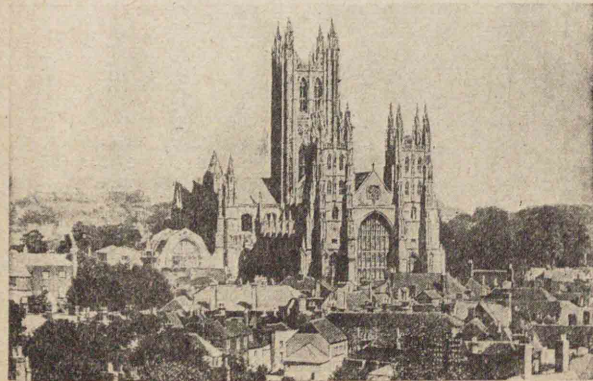
宗教會議

を受け、思想文藝なども宗教的なものが多かった。しかし教會及び僧侶の権力と富とは、かへつて僧侶の生活を腐敗せしむることも少くなかつた。

修道院の發達

かくて一般の教會が世俗化するに及び、十一・十二

世紀の頃より、嚴重な戒律の下に生活することを誓ひ、この世の富と榮華とをすてて粗衣粗食に甘んじ、ひたすら神に奉仕する。かたはら、經文をうつし、田畑を耕し、または



中世の威容

圖(上)
これは修道院の僧侶が眞心をこめて聖書を寫してゐる圖である。寫經は神に奉仕する大きな道の一つと考へられてゐた。



僧侶寫經圖

貧民病者をあはれんで神の道を行はんとする修道院があらはれた。

聖フランシスコ 彼はイタリヤのアッシジの町の商人の子として生れたが、僧院に入つて神の道を修め、清貧と純潔と服従とを教へ、謙讓と慈愛と祈りとを信条とした僧團をつく

2 修道院弘まる

圖(下)
これはアッシジの僧院を飾る大壁畫の一つである。天上の愛の光を讃仰する聖フランシスコが、春の野の小鳥にまでも教を説いてゐる圖である。

つた。キヤラといふ婦人もまた彼に従つて教をうけ、後に尼僧團をつくつた。

修道院はイタリヤ・フランス・ドイツ等に盛となり、修道尼院も多く建立せられ、普くヨーロッパ各地にも弘まるに至つた。

キリスト教と婦人 かくの如くキリスト教が弘まるにつれ、婦人にもま



聖クラシコ

これはフランスのアミヤン大寺に刻まれたマリヤ像である。清く美しく、慎ましく、慈愛の心にあふれたこの像は、中世婦人讃仰の的であつたといはれてゐる。



マリヤ

典型として崇められた。従つて出生より處女に至るまでの教養結婚、母としての務め等にも聖書及びマリヤの言行によるもの多く、キリスト教は中世婦人に深き影響を與ふるに至つた。

第四章 十字軍とその後の諸國家

1 巡禮者苦しめらる

2 クレルモン大會

十字軍 信仰にあついキリスト教徒には、イエルサレムの聖墓に參詣するものが多かつたが、トルコ人がここを占領して參詣者を苦しめたので、法王ウルバン二世はフランスのクレルモンに大會を開き、トルコ人を討ち、聖地を回復すべきを説いた。多くの人々は法王の

Urban

Clermont

1095

。十字軍の起り
堀河天皇の御代

3 十字軍

中世の巡禮者の圖で、特殊の杖を持ち、鎧の廣い跳ね返つた帽子に帆立貝をつけてゐる。この貝が巡禮者の象徴である。

第一回十字軍がイエルサレム城外にて、劍を抜き地にひざまづいて歡喜と感謝とにあふれてゐる圖である。ウエイト作原畫による。



イエルサレム城外の十字軍

言に従ひ、十字の記章を胸につけて遠征におもむいた。

1096

第一回十字軍はあらゆる困難をものともせず、遂に聖地を回復してイエルサレム王國をつくつたが、間もなくトルコ人のために滅ぼされた。第三回

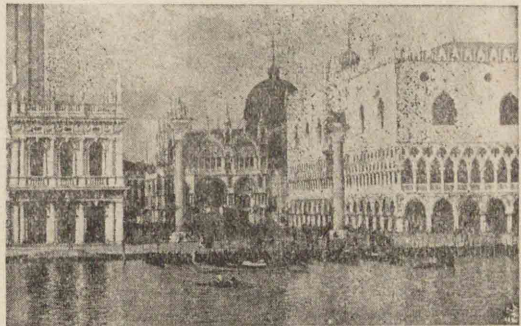


中世の巡禮者

十字軍はイギリス・フランス・ドイツの諸王・皇帝が參加し、海陸より大軍を動かしたが、成功しなかつた。かくて前後七回にわたり凡そ二百年の間、七百萬の軍が出征したといはれてゐるが、その目的は達せられなかつた。しかし十字軍の影響は大きかつ

4 その影響

【圖説(上)】
アドリヤ海の奥にある水の都ヴェニス。外、貿易の都であるとともにまた富の都である。圖の右方はヴェニスの富強を誇る宮殿で中央がサンマルコ寺院である。

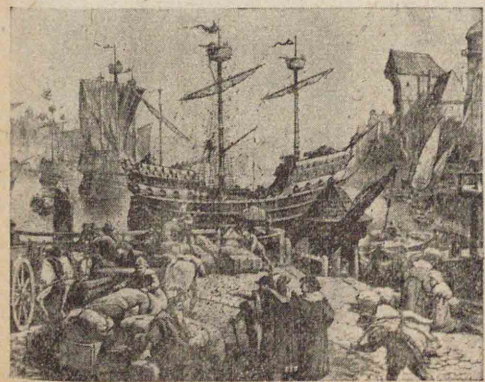


ヴェニスのスナツ

た。(一)神のために戦つても敗れたので法王権は地におち、(二)出征した武士は多く戦死して封建制度は衰へ、(三)交通の發達により商業貿易が盛となり、都市が勃興し、(四)東方の文化を輸入して學藝思想上に新機運が起つた。

商業と都市の發達

十字軍による交通發達の結果地中海を中心として商業貿易が盛となり、イタリアのヴェニス、フロレンスなどの都市が發達し、更にライン・ローン河の沿岸にあるケルン・リオン、北海沿岸のハンブルグなど多くの獨立都市が起つた。これらの都市は同盟して大いに活躍した。中にもハンザ同盟等は名高かつた。



ハンザ同盟の港

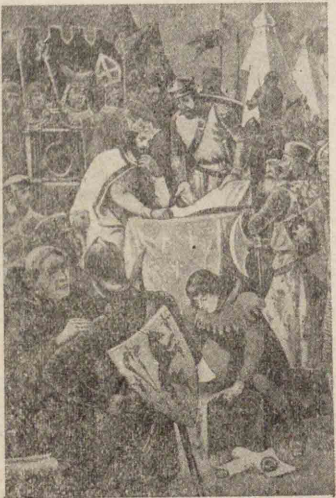
【圖説(下)】
この圖は港内と埠頭の實況を示し、當時の商船の船體や構造、港灣の設備、商品の包装・輸送など殷盛の様が想像される。

1 イギリスの政治的發達

。大憲章の承認。
。順徳天皇の御代

【圖説】
テームス河中の一小島に於て、ジョン王が貴族・僧侶等の面前で署名してゐる圖である。

2 フランスの王權伸張



大憲章に署名するジョン王

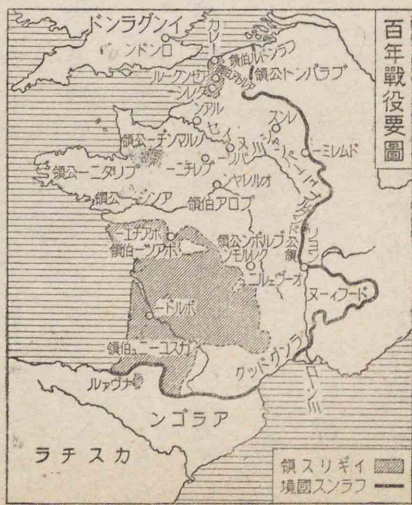
商業と都市の發達は、貨幣經濟及び銀行爲替兩替等の制度を發達せしめた外、またイタリアの諸都市は新文化の發源地ともなつた。
【ヨーロッパ諸國の情勢】 十字軍の遠征後、武士の没落につれ、國王の權力増大して諸國に中央集權起り、また別に東方には蒙古人の侵入とトルコの勃興とがあつた。

イギリスにては、十字軍の終頃、ジョン王が暗愚にして領土を奪はれ、人民を苦しめたので、貴族僧侶が迫つて大憲章を承認せしめ、イギリス憲法の基をつくつた。ついでシモン・ド・モンフォール等は王に迫り多くの代表者を集めて國事を議せしむることとし、議會政治の始をつくつた。

フランスにては、十字軍以後、フィリップ

3 百年戦役

プ二世・フィリップ四世等の名君出て、國民の後援を得て、大いに勢力を振つた。しかるに十四世紀の始、この兩國間に相續權の争ひ起り、百餘年間斷續して戦つた。その間イギリスの黒太子エドワード、フランスの少女ジャンヌ・ルクなど大いに奮戦した。



百年戦役要圖

4 ジャンヌ・ルク

ジャンヌ・ルクが「神の御名に於て」といふ旗を掲ひ、白馬に跨つてゐる雄姿である

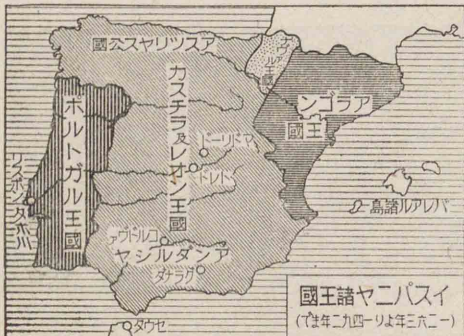


クルダ=ヌンヤジ

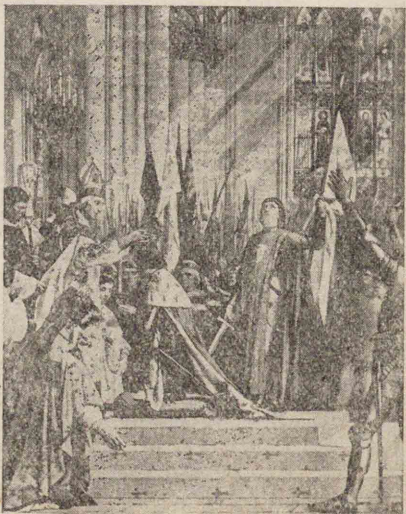
ジャンヌ・ルク 百年戦役に於て、フランス軍は頻りに敗れ、僅かにオルレヤン附近を保つのみとなつた。この時農家の少女ジャンヌは神より「祖國を救へ」との命をうけたと稱して、自ら陣頭に立つたので、フランス軍は大いに振ひ、遂にオルレヤンの圍をとぎ、國王をしてフランスに華やかな戴冠式をあげさせた。その後彼女はイ

5 イスパニヤの隆盛

これはレンス大寺院に於て、フランス王チャールス七世が莊嚴なる戴冠式をあげる圖。この時ジャンヌ・ルクは雄々しく武装し右手に劍左手に王室の旗(百合の記號あり)を掲げて國王の後に立ち、これを守護した



ギリス軍のために捕へられて焚殺されたが、フランス軍はこれより大いに勝つて殆どその國土を回復した。この戦役後、兩國とも國民的自覺高まり、王權は伸張して、中央集權を強めた。



式冠戴るけにスレ

イスパニヤに於てもサラセン帝國が衰へてキリスト教諸國起り、十五世紀の終にはアラゴン王フェルディナンドとカスチラ女王イサベラとが婚してイスパニヤ王國をつくり、ポルトガルもこの頃ジョン二世出でて勢を振ひ、二國ともに大いに海外發展をなすこととなつた。

6 イサベラ女王

○グラナダ王国の滅亡
●後土御門天皇の御代

一四九二年一月二日グラナダ王降伏の光景で、右方白馬に乗るはイサベラ、その次がフェルデナンドである



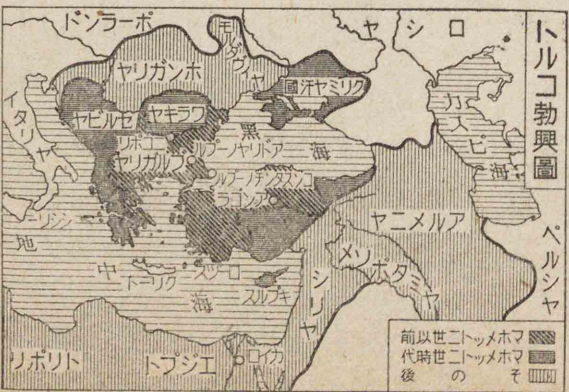
服征ダナラグの女王ラベサイび及ドンナヂルユフ

イサベラ女王 カスチラ女王イサベラは、容姿端麗にして、理智にとみ、才略にすぐれてゐた。アラゴン王との結婚により権力強大となり、後に国内の貴族僧侶を抑へて王権を伸張し、またサラセン人の立てたグラナダ王国を攻むること十年にして遂にこれを陥れ、イスパニヤ統一を完成した。眞に偉大な女性といふべきであらう。コロンブ

1 蒙古人の西侵

目 蒙古人の侵入とトルコの勃興 東ヨーロッパ

スを助けて新大陸を發見せしめたことは、また彼女の賢明さを物語るものである。



2 トルコの勃興

パには十三世紀の始蒙古のバツ(我都が侵入し、リーグニツの戦に勝つて大いにヨーロッパ人を恐れしめた。オスマントルコ族もまた小アジアよりバルカンに互る國をたてたが、マホメット二世は更に東ローマ帝國をも滅ぼして、三大陸にまたがるトルコ大帝國をつくつた。

第五章 中世の文化

■ 中世の學問 中世に於ては、人智いまだ發達せず、文化は低く、一般に僧侶と武士階級の影響を多くうけてゐた。



スナイクア=スマト

學問は教會等にて神學が研究され、一般にはトマス=アクィナスの哲學が思想界を風靡した。しかし十二、三世紀頃よりパリイ・オックスフォード・ケンブリヂなどの大學が出來、哲學、神學のほか法律、醫學、天文、數學などをも教へた。

トマス=アクィナスはイタリヤの哲學者で、神學大系の名著あり、アリストトルの哲學とキリスト教思想を結合した思想體系を樹立した

1 建築

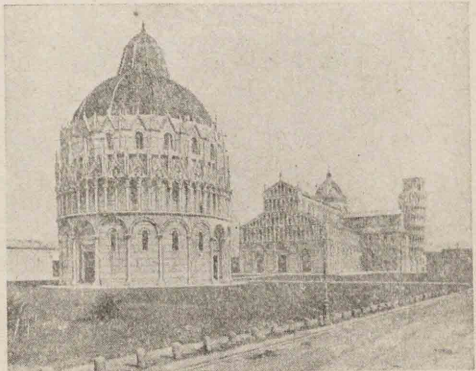
【圖】(上)

ピサ大寺はイタリアの西北岸ピサにあり、主として大理石を用ひた安麗な建築である。圖の左方は洗禮堂、次は本堂、その後に見えてゐる

2 彫刻

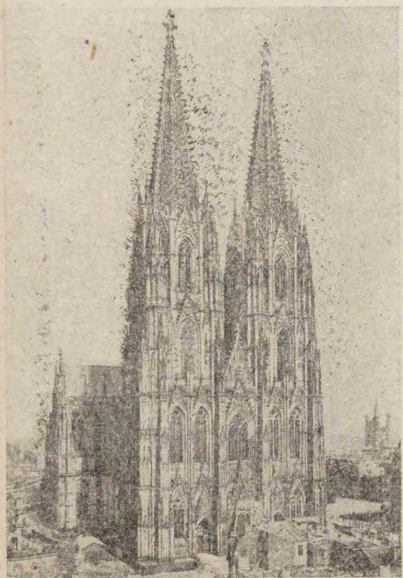
【圖】(下)

ケルン大寺は十三世紀の中頃起工し十九世紀の末頃に竣功したもので、ゴシック建築として最も優秀なものの一つといはれてゐる。正面の兩塔は高さ一三〇米ばかりあり、高く天上に聳えてゐる



ピサ大寺

中世の藝術 中世には宗教的な建築と彫刻とが發達し、イタリアのピサ寺院、パリのノートルダム寺院、ロンドンのウエストミンスター寺院など宏大な建築が營まれ、莊嚴偉大なる威容を示した。彫刻にもキリストや聖母や宗教物語などを刻んだ立派なもの



ケルン大寺

が多かつた。

建築様式

ピサ寺院をロマネスク

Romanesque

建築といひ、ノートルダム寺院の如

きをゴシック建築といふ。ゴシック建

築は宏大にして高く天上に向つて

1 文學

【圖】(上)

これは中世の貴族社會に於て、音樂を奏して楽しんでゐる圖である。ドイツ音樂史の挿繪による



中世の音樂

聳え立つてゐた。これらは概ね數百年を経て竣成したものである。

中世の文學音樂

文學はあまり盛でなかつたが、武士を中心とする物語が多かつた。フランスのローラン物語、イギリスのアーサー王物語、ドイツのニーベルン

Arthur

Nibelungen

2 音樂

【圖】(下)

これはルーヴル博物館にあり、シャルル五世の妃ジャンヌの像といはれてゐる

1 中世婦人の特質

ゲン物語など名高い。

音樂は一般に廣く愛好せられ、貴人の饗宴などには多く吟誦せられたが、また教會を中心として宗教樂も大いに發達した。

中世の婦人 中世婦人の特質は、ゲルマニヤ女性とキリスト教



中世の婦人

2 婦人の美點

女性との性質を併せたやうなものであつて、一夫一婦の制を守り、温良貞節を旨とし、清純高潔にして深い信仰心を持つてゐた。ただキリスト教があまりに清節を尊びたるため、結婚をさけて尼院に一生を送らんとするものもあらはれ、また階級制度が厳しきため、結婚が制限され、女子の相續權はみとめられなかつた。しかし家庭にあつて家政を整へ、紡織、手藝、手織刺繡編物等に勵み、子女の教養につとめたのは、その身の貞節にして純潔なるとともに、大いに賞すべきところといつてよい。

第三篇 近世史

第一章 新機運の世界(上)

■新機運の勃興 十四・五世紀の頃より、ヨーロッパに於ては學問思想、藝術等に新生面が開かれて文藝復興し、諸種の新發明もあり、また工藝も進歩した。

■古學の復興 十字軍以後、武士と僧侶の勢力が衰へ、東西の交通發達して學藝文物の輸入著しくなるや、人々は宗教の束縛をのがれて



ダンテ

自由に學問を研究せんとする風起り、またギリシヤ・ローマの古典を讀んで、神のことよりも人生を研究せんとする傾向が強くなつた。この傾向は、十三・四世紀の頃よりイタリヤの諸都市に現はれ、ダンテを始め、ペトラルカ、

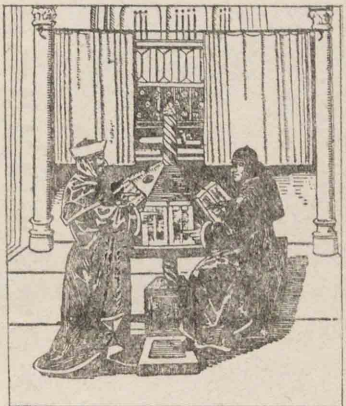
1 人文主義

ダンテはフロレンスの人、詩人にして思想家であり、また政治にも關係した。後、故郷をはなれて各地をさすらひ、その間に神曲を完成した。圖はフロレンス博物館の壁畫による

2 イタリヤ諸都市より

ロンドン博物館所蔵古寫本による。ボッカチオ(左)がベト랄カ(右)と文學について論議するところである

3 神曲その他



オチカッポとカルラトベ

ボッカチオ等が出て、清新なる人文主義の風潮をうむに至った。

神曲その他 ダンテは不朽の名作「神曲」をつく

つたが、これは地獄界に入つて多くの罪を犯して苦しむ人々を見、淨罪界ジュヴェイカイに入つて罪を洗ひ淨むる人々を見、天上界に入つて愛の光かがやく

天國を見たことを描ける一大詩篇である。ベト랄カ・ボッカチオなどは宗教と關係なき人の世の生活を主題として當時の世態人情を描いた。

かくてこの傾向は次第にアルプス以北の國々にも及んで、ドイツ・フランス・イギリス等にも多くの人文學者を出し、新しき學藝の發達を促すこととなつた。

美術の發達 美術もまたこの頃フロレンス・ローマ・ヴェニスなどに發達し、宗教的様式をはなれて、自由清新な藝術を創造するに至つた。

4 アルプス以北

1 繪畫・彫刻・建築

フロレンスの人畫家・彫刻家、建築家として、何れも世界的巨匠の域に達してゐた。誠に藝術的天才といふべきである。圖はローマ繪畫館所藏



ロエジンラケミ

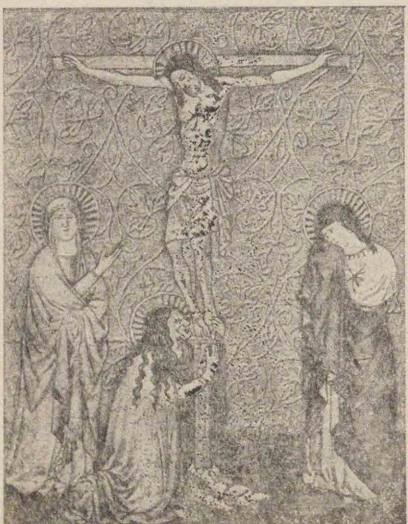
ミケランジェロの繪畫・彫刻、レオナルド・ダ・ヴィンチ・ラファエル・チチヤン等の繪畫、ブラマンテの建築など、いづれも千古不朽の大傑作といはれてゐる。

これらの藝術もやがてドイツ・フランス・

イスパニヤ等に傳はり、新藝術の發達を促し、また後世へも大きな影響を與へた。

四 工藝の發達 美術の發達とともに工藝も著しく進歩し、イタリ

ヤの諸都市には毛織物・絹織物・刺繍・硝子細工・金銀細工・美術裝飾などの精巧なものが現はれ、これらは商業の發達とともに西ヨーロッパ



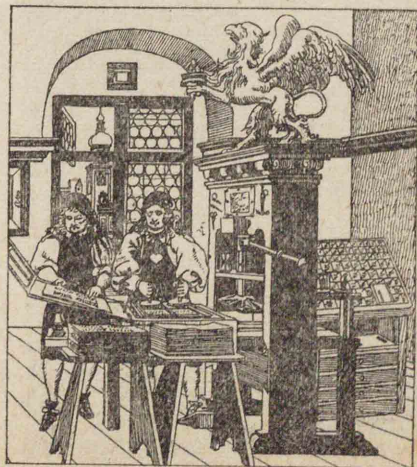
精刺のヤリタイ

2 諸國への傳播

これは文藝復興時代フロレンスにて製作されたイタリヤ刺繍である。多くの色糸をもつて婦人達がキリストの十字架にかかれ、を悲しむ所を縫ひとりたるもの、この頃の刺繍の最も美しいものの一つといはれてゐる

バにも傳はり、特にフランスに於て盛となつた。

諸種の發明 學問の發達につれて諸種の發明あり、磁針盤は航海に用ひられ、火薬は火炮に使用され、金屬活字と印刷機とは書物の刊行を便にし、何れも大いに文化の發達を助けた。



活版印刷發明當時の印刷工場

左の職人は植字をやり、右の職人は活版にインキをつけてゐる。その右に印刷機と活字箱等が置いてある

第二章 新機運の世界(下)

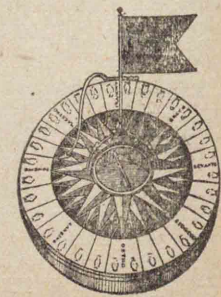
- 1 東洋の物産
- 2 東方見聞録

地理的發見の機運 十字軍以後、東西の交通盛となるや、西洋人は東洋の物産を多く歓迎したが、更に十三世紀の頃元の世祖に仕へたマルコ・ポーロが東方見聞録に東洋の寶庫を述べ、貿易の有利なることを説いたので、東洋に志すものが多くなつた。けれどもトルコ人に通商を妨げられたので、西洋人は新に航路を求めて東洋におもむかんとするに至つた。

- 3 東洋への新航路を求めむ



ローボ=コルマ



地理發見當時の羅針盤

新航路、新大陸の發見 ポルトガルの王子ヘンリーは、早くより航海を奨励し、磁石を利用

用してアフリカ西海岸を進航せしめたが、一四八六年、バーソロミュー・ヂヤズはアフリカの南端喜望峯に達し、ヴァスコ・ダ・ガマは一四九八年印度のカリカットに達した。



マガ=ダ=コ=ス=ァ=ウ

この頃コロンブスはイスパニヤ王后イサベラの援を得て、一四九二年大西洋を横斷し、七十餘日をへて今の西印度諸島に達した。その後彼はたび々航海して中、南アメリカ

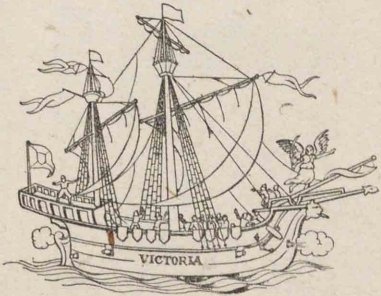
- 2 アメリカ航路

印度航路の發見
後土御門天皇の御代

3 世界一周

【圖説】(上)

マジランは五艘の船を以て世界一周を企てた。この船は二本橋、百噸餘の帆船で、大砲を備へてゐる。この船が始めて世界の球形なることを證明した。惜しいかなマジランはフィリッピンに於て土人のために殺された。



船のラエジマ

大陸をも探検した。

ついで一五一九年マ

マジランはイスパニヤ王

の命をうけて大西洋よ

り南アメリカの南端を

めぐつて太平洋に出て、

フィリッピン諸島を發見し、

更にその部下は印度洋を横ぎつて喜望峯よ

り本國に歸つた。出發以來四箇年を費して

始めて世界一周を完成したのである。

地理的發見の結果 地理的發見により、ポ

ルトガル人は印度のゴアを中心として南洋

及び東洋との航海貿易に従ひ、高價な東洋の

物産を輸入して莫大な利益を得た。

イスパニヤ人は主としてアメリカに發展

し、多くの珍貴な物産を輸入したが、特にメキ

シコ・ペルーなどより豊富なる金銀鑛を發見

して巨利を得た。その結果、この二國は海外

に廣大な植民地を得、また航海貿易により世

界の富を集

めて、世界有

数の富強國といはれた。さうして

地中海中心の貿易は衰へ、大西洋が

世界商業の舞臺となり、一般にまた

貨幣經濟が發達した。

東洋に於ける活躍 イスパニヤ

2 イスパニヤ人

【圖説】(上)

これは十六世紀頃の貿易業者(左)及び船主(右)を寫したものである。

3 世界の富を集む

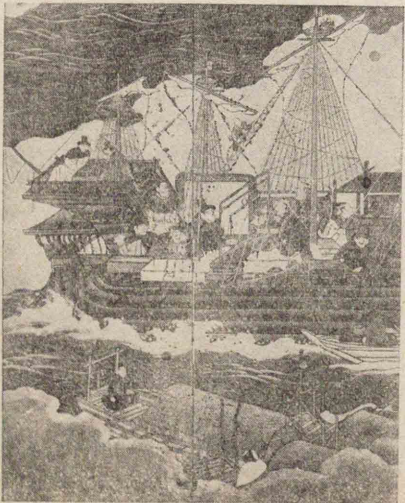
4 大西洋貿易

【圖説】(下)

西洋人は日本へ南から來たので、我が國では南蠻人といつた。本圖は京都帝國大學所藏の南蠻屏風の一部による。

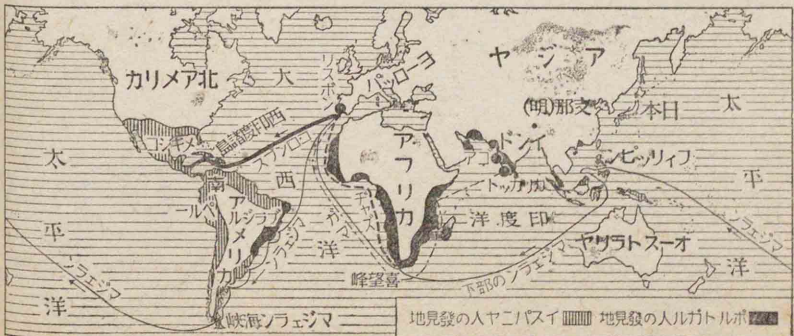


貿易業者



南蠻人の日本渡來

新航路發見時代形勢圖



○キリスト教の
日本傳來
・後奈良天皇の
御代

ポルトガル人は、十六世紀の中頃より支那をへて我が國にも來つて通商し、西洋の學術・文化品などを傳へ、宣教師も多く來つてキリスト教(天主教)を弘めた。我が國と西洋との交渉が始まつたのはこの頃からである。

第三章 宗教改革と宗教戦争

●宗教改革の機運 十字軍の結果、宗教熱が衰へ、教會の腐敗を攻撃するもの多く、宗教改革の機運が起つた。

●ルuterの宗教改革 ドイツのマルチン・Martin Luther

ルuterはローマ法王が免罪符を各地に販賣させたことを攻撃し、また教會の腐敗を非難して、宗教改革の意見を發表した。ドイツ



免罪符の販賣

○宗教改革
・後柏原天皇の
御代

1 免罪符の販賣

2 ルuter起る

3 ウォルムス會議

●中央に立つて並みある人々をものともせず、大いに論じてゐるのルuterである

4 新教許さる

5 ルuterとその妻



ウオルムスのルuterに於ける問審

皇帝チャールス五世は法王に味方し、ウォルムスの國會にルuterを呼び出し、その説を捨てさせようとしたが、彼は斷然これを拒絶し、いよゝ新教義を高唱した。かくてルuterの意見は次第に國內に弘まり、皇帝も遂にこれを公許した。これよりこの新教はドイツ・デンマーク・スウェーデン等に弘まることとなつた。

●ルuterとその妻 ルuterは幼少の時厳格な

家庭で謹直な母の教をうけ、鐵のやうな強い意志と深い信仰とを養つた。後に彼が皇帝法王などの威力にも屈せず、飽くまで自己の信仰と信念とを貫いたのは、嚴格なる母の教の賜といつてよい。

その妻カザリンもまた幼き頃より尼院にゐたが、深くルuterの教に感化さ

Catherine

れ、彼と結婚して後は、内助の功をたて、宗教改革のためにつくすところが多かつた。

目カルヴィンの宗教改革 ルーテルより

少し遅れてスウイスにジョン・カルヴィンが来り、新教をとなへ、多くの信者を得た。この派の新教はスウイス・フランス・ネーデルランド・スコットランド等に弘まつた。

四宗教改革の反動 新教の勢力盛とな

るに従ひ、ローマ教會も大いに改革し、その弊害を一新して厳しい戒律を定めたので、再び舊にかへり、フランス・イスパニヤ・イタリヤ等に於て舊勢力を保つに至つた。



ルテールの家庭

一ローマ教會の革新

ルーテルはもと教會の唱歌隊ともなり、よく音楽を解した。これはカザリンとともにその子の音楽に聞き入る、一家團樂の和やかな風景である。

二耶蘇會

○耶蘇會の成立
○後奈良天皇の御代

○圖説(上右)
ロヨラは軍人の出身であり、ザヴィエルと共にパリに於て耶蘇會を組織した。圖はコロ

三日本への傳道

○圖説(上左)
中央の I.H.S は耶蘇・人類の救済者といふ意味である

○圖説(下)
大友氏の領地の豊後の府内(今の大分市)に建てられたものである



ロヨラ

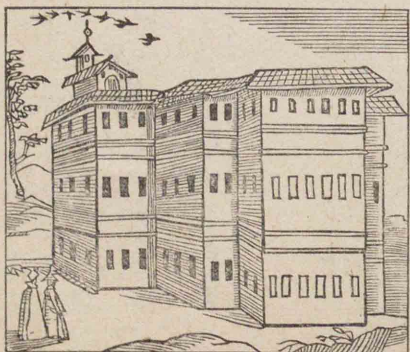
コザヴィエル等とともに耶蘇會をたて、厳しき戒律を定めて訓練し、一身を捧げ困苦缺乏をもとせせず熱心に教を弘めた。ザヴィエルは東洋に來り、我が國にもこの教天主教を傳へた。



耶蘇會の章印

日本への傳道 ザヴィエルの外、我が國へはヴィレラ・オルガ、ンチノ・ヴァリニヤノなどの高僧が來て熱心に教を説いた。しかしキリストや法王に絶對服従することを説いたことは、我が國情に合はず、また宣教師の中には我が國風をみださんとするものさへあつて、後、禁ぜられた。

五諸國の宗教戦争 宗教改革の結果、諸國にては新舊兩教徒が對立して激しい内亂を起



天主敎の學校

1 フランスの争

フロレンスのメ
チチ家より來
り、フランス王
ヘンリー二世の
后となり、チャ
ルス九世の攝政
となつた。政治
に熱心で、宗教
戦争にも關係し
た。女丈夫とい
ふべきであらう



チヂメド=ンリザカ

すに至つた。

フランスにては、チャールス九世の時、兩教徒争
ひはじめ、その間に激しい虐殺などあつたが、ヘ
ンリー四世即位して後、ナントの勅令により信
教の自由が許された。

1598

Edict of Nantes

2 オランダの獨立

3 イギリスの新教會

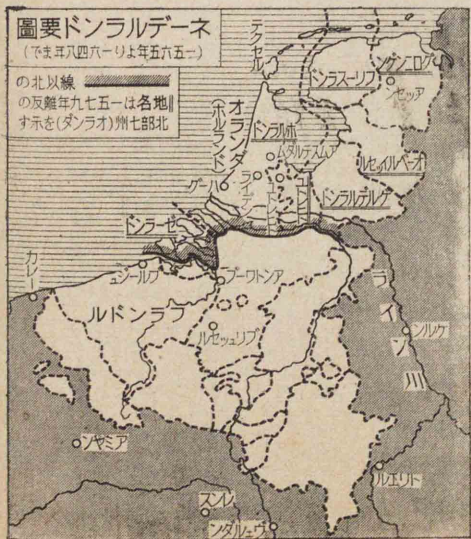
イスパニヤにては、その領地ネー
デルランドの新教徒を壓迫したの
で、北部七州の人民はオレンヂ公ウイ
リヤムを統領にあげて獨立を宣言
し、オランダ共和國をたてた。
イギリスにては、ヘンリー八世が
法王と絶縁してイギリス教會をた
て、後、エリザベス女王は統一令を出

1581

1534

Elizabeth

1558



圖要ドンラルデーネ
(下ま耳八四八一より五年五六一)

の北以線
の互離年九七五一は各地
を示す(ダンラオ)州七部北

ヘンリー八世は
始め舊教信者で
あり、法王より
信仰の保護者と
いふ稱號を貰つ
たが、後、法王に
反して絶縁し
た。圖はホルバ
イン筆肖像畫に
よる



世八一リンヘ

し、國民をしてみな國教を奉ぜしめた。
ドイツにては、新舊兩教徒對立して三十年
戦争を起し、諸國が干渉して大戦亂となつた
が、一六四八年ウエストファリヤ條約によつて平
和となつた。

1618

Westphalia

4 三十年戦争

かくて各國はこれらの戦亂によつて一時疲弊したが、戦後、國民の
活躍により、何れも大いに國運の隆昌をみるに至つた。

第四章 近世諸國家の發達(上)

近世諸國家の發達 十四五世紀以來、王權の伸張と植民貿易の發
達及び文運の興隆と宗教戦争後に於ける國內の平等により、各國
とも國力を増進して強い國家となつた。

イスパニヤの隆盛 イスパニヤは地理的發見後、大いに富強とな

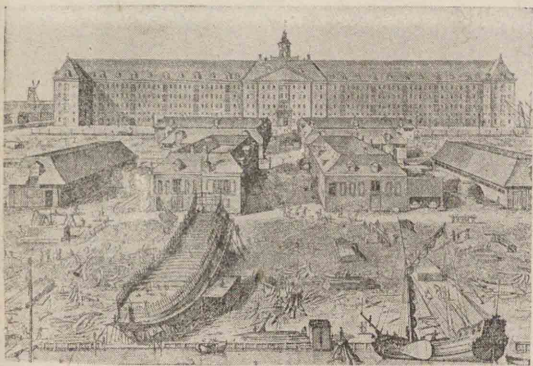
1 イスパニヤの富強

2 フィリップ二世

【圖解(下)】
 フィリップ二世は在位四十餘年に及んだが、その間マドリッドに近くエスコリヤル宮殿を築いた。これは莫大なる富を傾けて造營したもので、善美をつくり、今もなほ當時の富強を物語つてゐる。

1 オランダの富強

【圖解(上)】
 オランダ東印度會社の船渠に於ける造船の盛況である。



オランダ東印度會社

り、チャールズ五世・フィリップ二世などの英主出て、その海軍と富とをもつて一時世界を支配した。しかしフィリップ二世はイギリスと争つ



てその無敵艦隊を

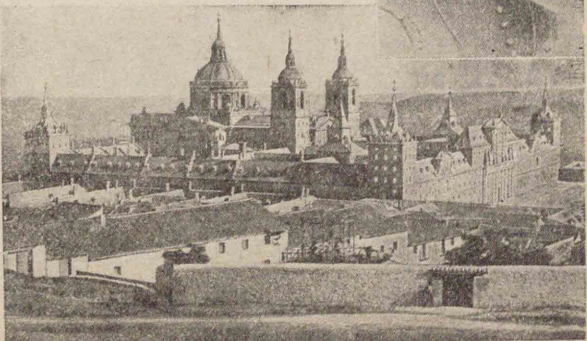
撃破せられてより、

國勢は次第に衰へ

ていつた。

○オランダの隆盛

オランダは獨立



フィリップ二世とエスコリヤル宮

後大いに盛となり、ジャバを根據として東洋貿易を獨占し、江戸時代には我が國に來つて長く通商した。かくて十七世紀の前半

にはその富強なることヨーロッパ第一といはれた。

2 オランダと我が國

○オランダと我が國 オランダ船が我が國に始めて來航したのは一六〇〇年(長慶五年)であつた。その頃オランダは經濟も豊かに、學問もすすみ、天文・地理・動植物及び醫學などよく發達し、美術・工藝なども進歩してゐた。江戸時代、我が國へは地球儀・望遠鏡・時計・硝子・羅紗などより生理解剖書・醫書などを多く傳へ、いはゆる醫學の發達を來さしめ、また我が國情をも海外に紹介した。

○イギリスの隆盛 イギリスは、エリザベス女王が即位してより大

いに隆盛となつた。女王は國教を統一し、無敵艦隊を破り、また印度、

北アメリカ等に植民・貿易せしめたので、國運

は大いに隆盛となり、シェクスピアなどい

てて學藝も盛に、いはゆる華やかなエリザベス王

朝時代をつくつた。

その後、スチュアート家がイギリスに君臨し

1 エリザベス女王

【圖解】
 幼少より才學優れ、愛國心強く、勇敢にして政治の才に富んでゐた。女王は國際的紛争を避くるため、外國王の求婚を退け、賢臣を登用して政治に勵んだ。圖はイスパニヤの無敵艦隊撃滅の記念賞牌



エリザベス女王

2 クロンウェル

【註(下)】
シエクスピヤがエリザベス女王の面前にて、自作の戯曲を吟誦してゐるところである

【註(上右)】

彼は嚴肅な清教徒の家に生れ、熱烈な信仰をもち、また豪毅果斷にして政治的手腕をもつてゐた。彼の事業にはこの性格がよく現はれてゐる

3 名譽革命

【註(上左)】

ウィリヤム三世はチャールス一世の女とオランダのウィリヤム二世との子であるため、迎へられたのである

4 スコットランド併合

【註(下)】

圖はスコットランド併合についての會議(一七〇六年)に於て、併合に關係の書類をアン女王中央に坐すに呈出したところである

5 ジョージ一世

【註(上)】

ロンドン近郊にあるイギリス王宮

たが、國王神權説を稱へて人民を苦しめたので、國王と議會との争が續いた。この時議會黨の將クロンウェルが王(チャールス一世)軍を破り、議會は王政を廢して共和政とした。彼は内政を整へ、航海條例を發布して海外發展に盡した。しかし彼の死後、再び王政に復したが、王の專制が止まなかつたので、國民はウィリヤム三世を迎へて國王とした。これを名譽革命といふ。國王は國民の自由と權利とを重んじ、議會政治に意



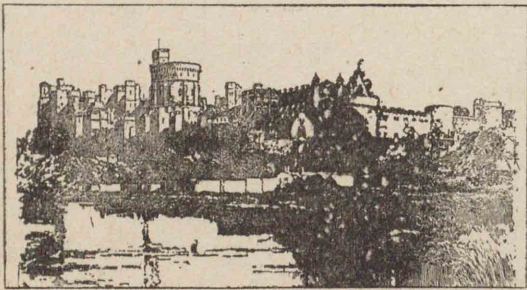
世三ムヤリイウ

ルエウンロク

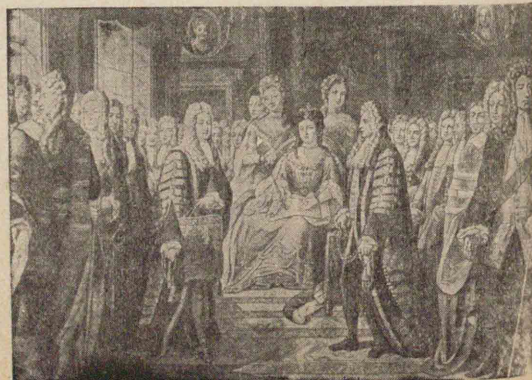
を用ひたので、これよりイギリスの憲法政治はよく發達することとなつた。ついで女王アンの時、イギリスはスコットランドを併せて大ブリテン王國となり、女王の死後、ドイツよりジョージ一世が迎へられて國王となつた。これが今のイギリス王室の祖である。



師吟のヤビスクエシ



城王ニザンイウ



議會合併のドンラトッコス

イギリスの王室 イギリス王は外國から來たものであるから、最初は國情にうとく、主として議會と内閣とが憲法によつて政治をした。しかし國民はよく王室に忠誠を盡し、深く敬愛して、今もなほ美しい君臣關係

6 海外發展

この頃より、イギリスはますます海外に發展し、北アメリカ及び印度に於てフランスの勢力を退け、パリイ條約によつてカナダ、ミシシッピ川以東の地、アフリカのセネガル地方を得、また印度に於ける勢力を確立した。イギリスが世界的優越權をもつに至つた基礎はここに成立したのである。

第五章 近世諸國家の發達(中)

宗教家にしてルイ十三世の宰相となり、内は諸侯を抑へて中央集權を確立し、外は三十年戰爭に干渉して國威を輝かした。その他學問・文藝上にも功績が多い。



リシュリュー

フランスの隆盛 フランスにてはヘンリー四世後、ルイ十三世の頃リシュリュー・マザレン等の賢相出でて國王をたすけ、内は王權を伸張して中央集權を確立し、外は列國に干渉して、大いに國威を發揚した。

ルイ十四世の即位
・明正天皇の御代

圖(上)

王は豪放豁達にして壯大なることを好み、權力をもつて國民を威服せんとし、また豪華な生活を送つた。彼の事業は多くこの性格から出てゐる。圖はルーヴル美術館藏リゴール筆の繪畫による。



ルイ十四世

國王は富強をたのんで、ネーデル

その後ルイ十四世(一六四三即位)は萬機を親裁し、コルベールをあげて財政を整へ、産業をおこし、植民貿易を獎勵して大いに國富を増進せしめ、

またルーヴアを用ひて軍制を整へたので、國力は大いに充實した。

ランドと戦ひ、更にイスパニヤ王位繼承に關係して、ドイツ・イギリスと戦つたが、莫大なる戦費をつかつたのみで、その効果は少かつた。

しかし王は國王神權説をとつて王位を神聖強化し、王者の尊嚴を示すことに力め、



貴族生活

貴族の邸宅に於ける音樂和合の光景である。アブラム・ムッポスの筆

フランス風
とフランス
語

これはルーヴル博物館にあるオリヴィエ筆サロンの光景である。コンチ公爵の邸宅にて公爵夫人を中心として多くの文學者・藝術家・貴婦人などが集まつてゐるところで、氣品たかく、典雅高尚な姿が最もよく現はれてゐる。

壯麗なるヴェルサイユ宮殿を營むなど豪華な生活をおくつた。かくて當時の風俗儀禮などは極めて美しく、フランス語とともに各國の宮廷・貴族間に流行し、また文學美術なども榮えた。

上流の風俗 この頃上流社會の間には、婦人を中心として文學者・藝術家・政治家などの集まるサロンが催され、高雅な趣味や洗煉された風姿、上品な會話などが、その間から生れ、文學美術趣味などの發達に大きな影響を與へた。また婦人は一般に教養高く、趣味も豊かに、學問もすぐれ、セヴィネなどの如き立派な婦人も多く現はれた。

ルイ十五世・十六世の頃も上流生活はますます華美となり、華やかな服装と、華麗をきはめた室内裝飾や家具調度の類などが多く用ひられ、それに伴ふ文學・繪畫、彫刻なども發達した。これらはロココ趣味といはれて、廣くヨーロッパ各國にまで流行することとなつた。



六八

パリのカルナヴァレ博物館所藏、モロイ筆風俗畫。華やかに着飾れる婦人が王宮の庭園を散歩する光景である。一七七八年頃の風俗を示す。



俗風人婦流上

甚だしくなつていつた。

1 ペートル大帝

ペートル大帝の即位
靈元天皇の御代

ロシヤの勃興 ロシヤは長く蒙古人の支配下にあつたが、イワン三世の時やうやく獨立し、その後十七世紀の終頃ペートル大帝が出て大いに國運が進展した。

大帝は西ヨーロッパ諸國を視察してその制度・文物を採り、産業・兵制を整へ、宗教權を握り、強大な專制君主となつた。ついでトルコを攻

○カザリン二世の即位
・桃園天皇の御代

○カザリン二世の即位
・桃園天皇の御代

2 カザリン二世

○カザリン二世の即位
・桃園天皇の御代



世ニリザカ

め、スウェーデン王チャールス十二世の雄圖をくぢいて領土を廣め、バルチック海沿岸に首府ペテルブルグをたて、またシベリヤを經略してカムチャッカ半島にまで達した。その後、十八世紀の後半、女帝カザリン二世は大帝の遺志をつぎ、ポーランド王國の衰へたるに乗じてプロシヤ・オーストリア



1707



察視所船造ダラオの帝大と帝大ルトーベ

とともにこれを分割し、また極東方面にては千島を占領し、我が國にも通商を求めた。女帝はまた内政を勵み、西ヨーロッパ諸國の新思想を入れて政治を行つたので、大いに名聲を高めた。

第六章 近世諸國家の發達(下)

1 マリヤテレサ

○マリヤテレサの即位
・櫻町天皇の御代

○マリヤテレサの即位
・櫻町天皇の御代

2 王位繼承戦役

○オーストリアの隆盛
オーストリアを支配するハプスブルグ家は、早くより神聖ローマ皇帝をも兼ねて勢力あり、十六世紀の頃ホンガリヤを併せて國力を伸張したが、十八世紀の中頃にはマリヤテレサが現はれ、諸國の帝王に伍して活躍し、大いに國威を發揚するに至つた。

マリヤテレサの活躍

マリヤテレサはチャールス六世の皇女である。父帝の死後、多くの國が彼女のオーストリア王位繼承を認めざるため、自らホンガリヤに赴き、その勤王心に訴へてこれを味方とし、聯合軍と



サレテ=マリマの上馬

3 七年戦役

戦つた。またプロシヤと戦ひ、シレシヤ地方
1740-1748
を興へたが、女王はこれに復讐せんとし、列國
と聯合してプロシヤを包圍攻撃し、七年戦役
を起した。ついでまた女王はポーランド分
1750-1763
割にも關係して領土を廣めた。まことに近
世史上の女丈夫といつてよい。

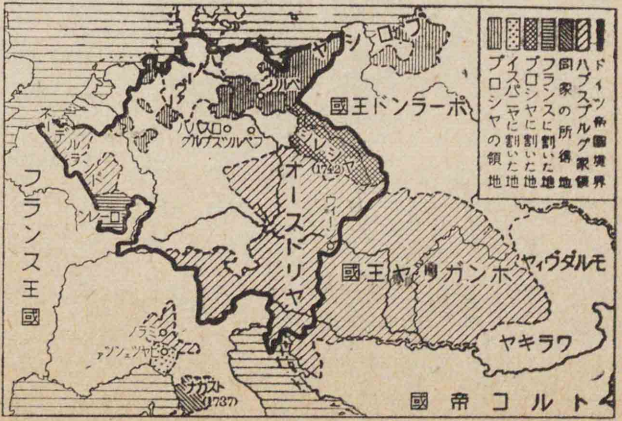
1 フレデリック大王

大王は幼少の頃、文學、音樂等を好み、武弁の父と合はず、衝突して王宮を脱したが、つれ歸られて厳格な軍隊的訓練を受け、遂に立派な國王となつた



王大クッリデレフ

プロシヤの勃興
プロシヤは十八世紀の始、フレデリック一世に至つてプロシヤ王と稱し、都
1701
をベルリンに定めた。その孫フレデリック二世(大王)は文武の道にすぐれ、父王の貯へたる富と強き兵力をもつて、マリヤテレサと戦ひ、七年



圖土領國ヤリトスーオ

2 領土を廣む

戦役にはイギリスを味方とし、オーストリア・ロシヤ・フランス・サクソニア等の諸國を相手として降らず、またポーランドを分割してその領土を廣め、大いに國威をあげた。のみならず大王は更に戦後の疲弊せる國內を復興するため、親しく國內を巡視して國民精神の作興につとめ、開墾を勵まし、産業を興し、交通をひらき、教育軍備などを盛にしたので、プロシヤ興隆の礎はここに定まり、ヨーロッパ列強に伍して活躍するに至つた。

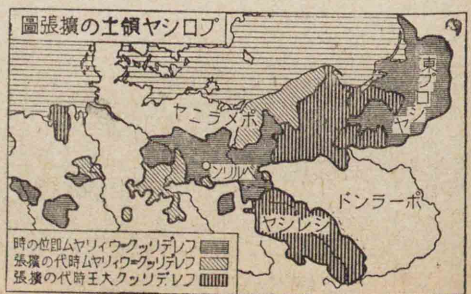
3 戦後經營

ドイツの歴史畫家アドルフフリオ
ンメンツェル筆
で、旅行中大王
が國民を愛撫してゐる有様である



王大クッリデレフの中察視情民

アメリカ合衆國の獨立
この頃またア



圖張廣の土領ヤソロア

1 獨立の原因

（上）

一七六五年、イギリスは印紙條例を發布し、アメリカ植民地の人々は賣買・契約・結婚等の證書に印紙を貼らしめた。これは二シリング六ペンスの印紙である。

2 獨立戦争

3 獨立國となる

○憲法制定
○光格天皇の御代

（上）
彼は初め測量技師であつたが、植民地戦役に軍功を立て、ついで獨立の際率先して活躍し、遂に建國の大業を完成した。しかし官職を退いて後は故山に歸つて餘生を送つた。

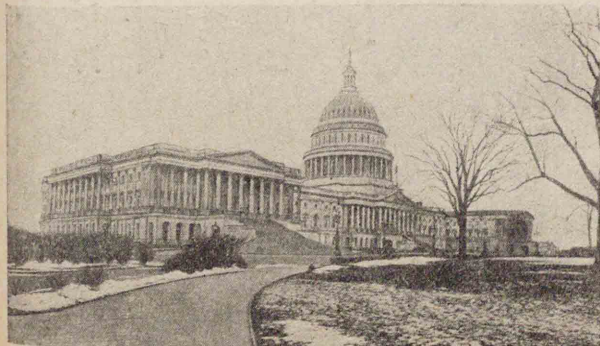


紙印のよに例條紙印

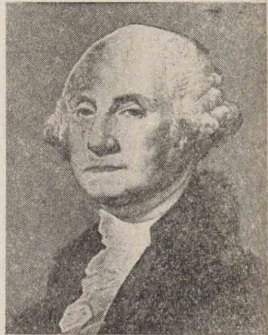
六年遂に獨立を宣言するに至つた。

イギリスは兵力をもつてこれを鎮めんとし、獨立軍は最初不利であつたが、サラトガの戦に大勝してより、外國の援助もありて局面一變し、イギリスも遂にその獨立を認むることとなつた。

ついで合衆國は一七八七年憲法を制定して聯邦組織となし、共和制をとり、ワシントンを選んで最初の大統領とした。かくて國民



堂事議會國國衆合カリメア



ントンシワ

は自治の精神を重んじ、産業を勵んで、ますます發達することとなつた。

ワシントンの母
ワシントンはアメリカの國父といはれ、合衆國第一の偉人として崇拜された。この偉人の母がマリヤボールである。彼女は夙く夫を

失つたが、専らワシントンの教育に當り、獨立戦役當時は留守宅を守つて後顧の憂なからしめ、ワシントンをして自由に活動せしめた。獨立軍が勝利を得た後、ワシントンの意氣揚々たる姿に接し、その健康を見てよろこんだが、遂にその榮達には觸れなかつたといふ。

諸國家の隆盛
十七、八世紀には各國に英主現はれて産業・經濟等を發達せしめ、國富も豊かに、文學・藝術の發達をいたし、大いに國威を輝かした。正に諸國家興隆時代といつてよからう。けれども十八世紀末から、再び政治的・社會的・經濟的に大變革が起るに至つた。

第七章 近世の文化

【圖解(上)】
初め商人の子に生れ、後ロンドンに出て役者となり、ついで戯曲家となつて遂にその大をなすに至つた



ヤビスクエシ

諸國家の隆盛につれ、文學にも中世のラテン語がすたれて各自の國語を用ひ、各國民の思想感情に基づく國民文學が發達し、特にイギリス・フランス・ドイツに盛であつた。

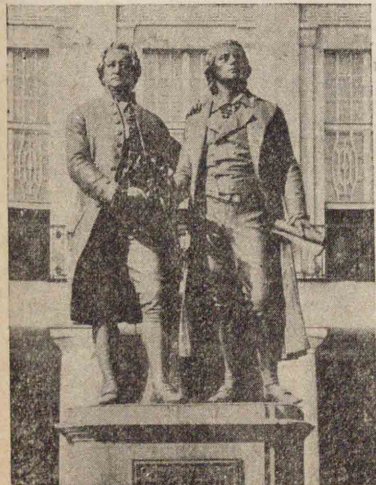
國民文學 イギリスには、シェクスピア出でて、ハム

レット・シーザ

Snakespeare

【圖解(下)】
ドイツのワイマールにある劇場前の銅像である。風景すぐれたる同地は、兩人が長く居住してゐた所である

ーリヤ王等數多の傑作を出し、ミルトンは失樂園の大作をつくり、フランスにはコルネイユがルシッド、ラシーヌがアンドロマク、モリエールがタルチューフなどの名戯曲を出し、ドイツのゲーテはファウスト、シルレルはウィルヘルム・ムテル等の名作を出した。こ



(右)ルレルシと(左)テーク

れらは何れも不朽の世界の傑作として、今もなほ愛讀せられてゐる。

藝術の進歩 文藝復興

興の傾向は諸國にひろまり、繪畫はイスパニヤ・オランダ・フランス等

に、建築裝飾は特にフランスに優れ、音樂はドイツに盛であつた。

各國の藝術

イスパニヤには、ヴェラスケス・ムリリョ

等の畫家、ネーデルランドには、ルーベンス・ヴァンダイク

イク・レンブラント等の畫家、フランスには、グーゾ

ン等の彫刻家及びマンサール等の大建築家など

現はれ、ドイツには、バッハが聲樂を大成し、モツァルトが聲樂器樂等に名高く、多くの名曲をのこした。



像のフムニ



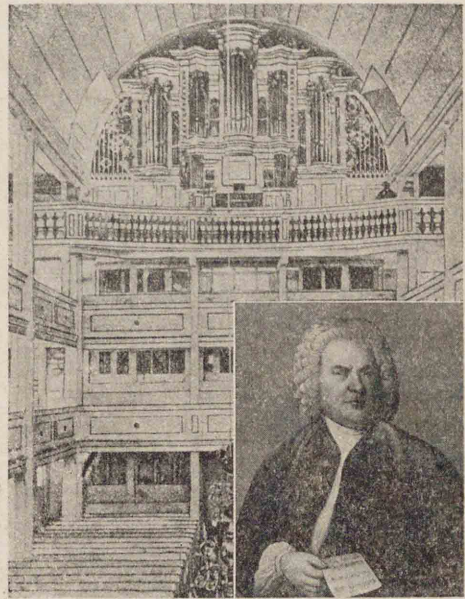
譜樂とトルアツモ

【圖解(下)】
モツァルトは聲樂・管絃樂・室内樂・ピアノ奏曲など、主として作曲家として名高かつた。この樂譜は「すみれ」の歌で作曲したものである

【圖説(上)】
バハは特に教會の音樂、聖樂に秀でてゐた。本圖は彼の郷里アルンシュタットにある音樂館の内部で、圖の中央上部には彼の巨大なパイプオルガンが置かれてゐる。

【圖説(下右)】
幼少より學才すぐれ、數學、科學等にも秀で、遂に近世哲學を大成した。ドイツの生んだ大偉人である。

【圖説(下左)】
彼は民約説・エミールなどを著し、人間の自由平等なることを説いた。



ンガルオブイバとハッパ

目 學問の進歩 學問もまた文藝復興後、自由な眞理研究の風が起つて大いに盛となり、哲學、科學及び思想等に著しき進歩をみせた。



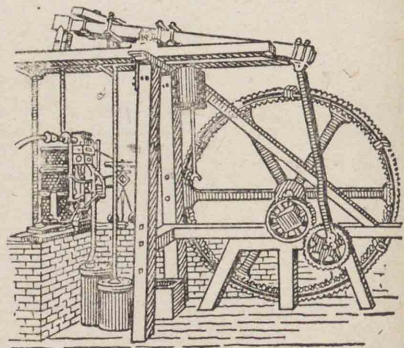
ーソル

トンカ

學問 哲學にはドイツにカントが現はれて近世哲學を大成し、イギリスにニュートンが現はれて萬有引力の法則を發見し、フランスにラヴォアジエーが現はれて化學を大成した。またイギリスのジェンナーが種痘法、ワットが蒸氣機關を發明考案したことは、科學

の應用として名高い。

【圖説(上)】
これはワットが最初に考案した蒸氣機關で、水揚げポンプに取附けたものである。



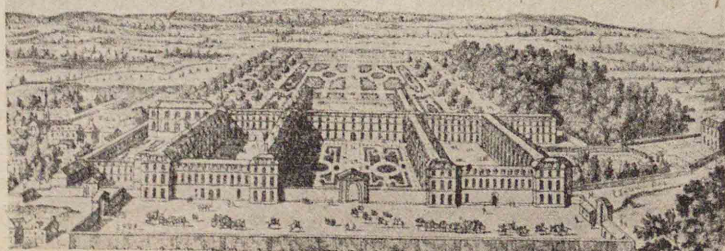
關機氣蒸のトッワ

またフランスにはモンテスキュー、ルソー等が現はれ、專制政治の横暴、貴族僧侶などの腐敗を攻撃し、自由平等の新思想を唱へた。

四 近世の婦人 近世に

於ける婦人は次第に解放せられ、僧尼の結婚も新教にては許された。

特に家庭に於ける婦人の地位は向上し、フランスの如きは最も高き教養と趣味とをもち、また才學にすぐれた



生學女の時當と所育教子女

ものが多かつた。その他各國に偉大なる政治家としての婦人が現はれたことは、當時の婦人の向上の一端を示すものであり、また賢母が現はれて偉人を多く出したことなどは特筆すべきことといつてよからう。

【近世の文化と我が國】 近世の文化は、我が國にも多く輸入せられて、明治時代以後の學問・思想・文藝・社會上に多くの影響を與へた。シエクスピヤ・ゲーテ・カント・ニュートン・ワットなどその著しきものであり、繪畫・音樂なども我が國民に愛好せられた。

第四篇 最近世史

第一章 フランス革命

■革命の原因 フランスにては、ルイ十四世以來、奢侈と外征とのため財政缺乏したので、平民に重税を課して苦しめ、また貴族・僧侶のみが多くの特權をもつて平民を虐待したので、平民の不平は昂まつた。

そこへルソー等の自由平等思想が弘まつたので、政治制度を改革せんとするものが多くなつた。

■革命の經過 この頃ルイ十六世は、財政困難に陥つたので、これを整理せんとしたが、成功せず、遂に國會三部會を開いて國民の意見をきかんとした。然るに

農民負擔過重の諷刺畫、手足を縛られたのが農民で、それから順次王侯・僧侶・貴族の特權階級が農民を搾取する圖である



平民の苦慘

1 財政整理

1 重税

2 特權

3 自由思想

2 國民議會

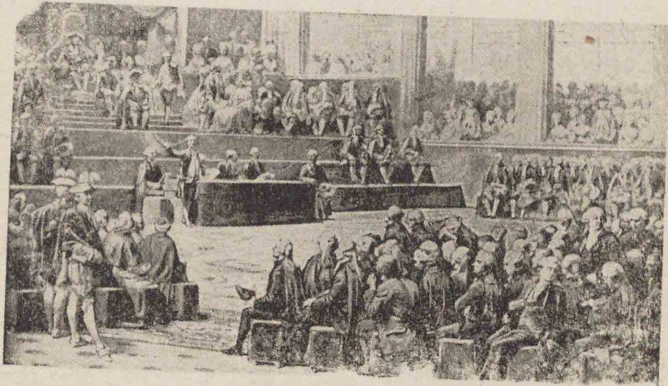
3 革命起る

○フランス革命
・光格天皇の御代

左方壇上の椅子に腰かけてゐるのはルイ十六世、壇下の左方は貴族部、中央は僧侶部、右方は平民部の議員である

2 國王處刑

1 國民公會



三 部 會

平民議員は國王に反對して別に國民議會を組織し、政治上の改革を行はんとした。そこで國王は兵力をもつてこれを解散せしめんとしたので、パリー市民が蜂起し、一七八九年、バスチーユ牢獄を破壊した。

共和政府の成立 かくて議會には次第に共和主義の黨派が勢力を占めて、國王を獄中に幽閉し、國民公會に於ては更に過激なジャコベン黨が勢力を得て王政を廢し、國王を人民の敵として處刑した。かゝることは我が國情とは全く異なることである。

マリイアントアネット 彼女はマリヤテレサの女であるが、ルイ十六世の妃となりてより最も贅澤で華美な生活を送つた。そのため多くの國費をつかひ、國民

の怨を買つた。

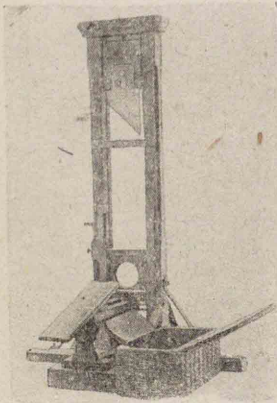
恐怖政治 國王處刑

王后は贅澤であり、國王は溫和で決斷力が乏しかった。そのため悲劇をますます大きくしたといふことが出来る

1 恐怖時代

2 内政改革

ギョチーヌといふ醫師の發明した斷頭臺である。國王・王妃を始め多くの人々がこの臺上の露と消えた。この模型は今パリの博物館にある



ギョチーヌ



イル十六世とアントアネット

の報によつて列國の君主は聯合して共和政府を倒さんとし、國內の王黨も内亂を起したので、國民公會の過激派ロベスピエール等は遂にマリイアントアネット及び王黨反對派ら數萬人を捕へて死刑に處し、また内

政改革を斷行して、キリスト教の禁止、曆法の改正、舊來の制度習慣の變改、メイトル法の制定等を行ひ、更に外征を行はんとしたが、内訌を生じて過激派は勢力を失ひ、新に都督政府が成立した。

1 外國征伐

右は革命前の服装。左は革命後の服装。一般に虚飾と華美とを退け、簡單粗略になつた。

2 ナポレオンの活躍

ナポレオンが一七九九年第一統領として會議に臨んだ時の颯爽たる光景である。圖はヴェルサイユ博物館所藏



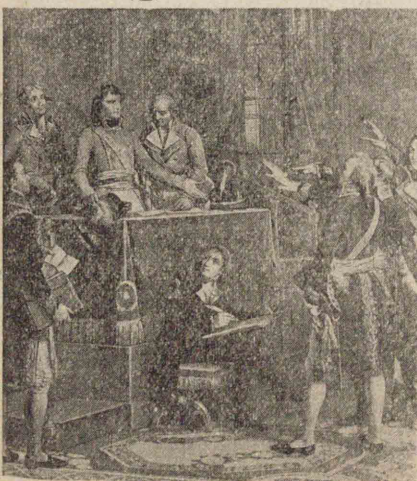
俗風の變遷

都督政府 都督政府はフランスに迫れる列國同盟軍を撃つこととなつたが、ナポレオンのみ成功してオーストリア軍を破り、その都ウイーンに迫り、遂に和を請はしめた。かくてナポレオンの威名は大いに上り、更にイギリスを制するためエジプトに遠征したが失敗した。

この時イギリス首相ピット

リス首相ピット

が再び列國同盟を組織し、フランスに侵入せんとしたので、ナポレオンは急ぎパリに歸り、統領政府を設け、自ら第一統領となつて大いに活躍するこ



第一統領としてのナポレオン

ととなつた。

第二章 ナポレオン一世

1 内政の改革

2 皇帝となる

ナポレオン皇帝となる
光格天皇の御代

一八〇四年十二月二日、パリのノートルダム寺院にて皇帝の戴冠式をあげて後、ナポレオンが自らジョゼフィンに皇后の冠を授けるところで最も華やかな光景である。ダヴル下筆、ルーヴル博物館所藏



皇帝ナポレオンとその皇后の戴冠式

ナポレオン皇帝 ナポレオンは再びオーストリアを討ち、イギリスと和し、更に内政に意を用ひ、産業・教育をすすめ、また有名なナポレオン法典を發布して社會の安定をはかつたから、革命のため動搖せる民心と生活とは安定した。

かくてナポレオンの信望はますます厚く、終身の統領となり、やがて國民大多數の投票により一八〇四年皇帝に推され、莊嚴な戴冠式をあげた。

ナポレオンの母 ナポレオンの母

フランシス畫家ゼ
ラール筆



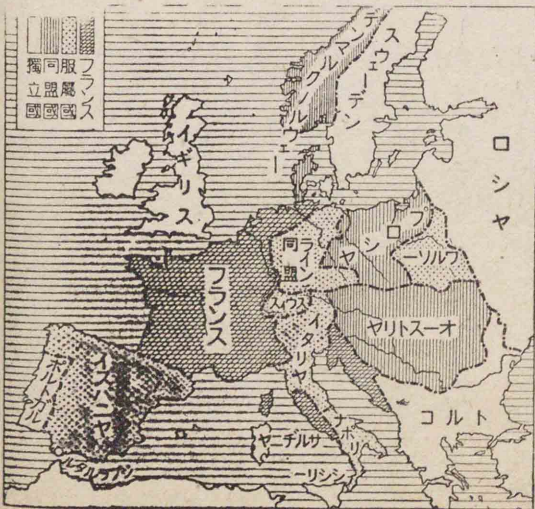
メリモラ=ヤチチレ

レチヤモリノは才色兼備の賢婦人
Letizia Ramolino
で、夫の死後は裕でない家計を以てよく
ユウカ
八人の子女を教育した。ナポレオンの
成功もこの母の賜によることが多い。

1 列國同盟

2 トラファル
ガルの戦

ナポレオンのヨーロッパ統一
ナポレオンが皇帝となつた翌年、イギリスは三たび列國同盟を結んで、フランスに迫つた。そこで彼は直ちに大舉してイギリス侵入を企てたが、その艦隊はネルソンのためトラファルガル沖の海戦に撃滅せられた。



圖地パローヨの代時盛全ソレボナ

3 オーストリ
ヤ・ロシヤ・
プロシヤ征
伐

中央左よりナポ
レオン・ロシヤ
皇帝・プロシヤ
王后ルイゼ・プ
ロシヤ王であ
る。この會議に
於てルイゼは祖
國救済のために
大いに努めたが
成功しなかつた

圖(上)



約和のトツジルチ

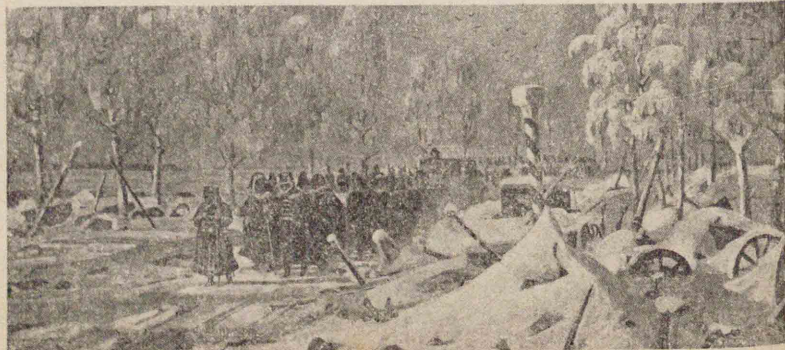
ナポレオンは
轉じてアウステ
ルリツにオース
トリヤ・ロシヤ兩
皇帝の軍を破り、
西南ドイツにラ
イン聯邦を作ら
せて神聖ローマ

圖(下)

ナポレオン軍が
ロシヤ遠征に失
敗して酷寒と飢
餓とに苦しみつ
て、退却する有様
で、退却の途中
ロシヤ軍の追撃
をうけ全軍潰亂
した

4 大陸封鎖令

帝國を瓦解せしめ、翌年プロシヤを攻めてベ
ルリンを陥れ、チルジットの和約によりその領
土の大半をうばつた。
かくて彼は再びイギリスを苦しめんとし
て、ベルリン滞在中、大陸封鎖令を出したが、ロ



却退の軍ソレボナ

5 ロシヤ遠征の失敗

この戦は世界無敵のナポレオンを最初に破った戦として名高い。この圖はその戦勝の報を列國の本營にもたらしたところである。ハンヌシュミットの筆になる

シヤがその命を奉ぜざりしたため、その遠征を決行した。しかしモスコウにて大火にあひ、飢寒に苦しめられて敗退した。

プロシヤの奮起
プロシヤは敗戦後、王

后ルイゼを始め、上下心を一にして國民精神を作興し、産業と軍備と體力の發達につとめてゐた。そのためナポレオン敗退の報に接して奮起し、各國の聯合軍とともに

ライプチヒにフランス軍を大敗せしめ、ついでパリイを陥れて、ナポレオンをエルバ島に流した。

ルイゼ王后
フレデリックウイリヤム三世の後である。端麗にして典雅に教養高く、貞淑にして愛國心が強かつた。ナポレオンに敗戦して、國家の非常時に際會

した時も、常に國王を勵まして挫けず、また常に二子の教育に意を用ひて、汝等は必ずフランスに復讐して國威をあげよと誠めた。後にフランスを破つてドイツ帝國をたてたウイリヤム一世はその子である。かくて王后はプロシヤが未だ盛ならざる時にこの世を去つたが、國民は皆ルイゼを慕ひ、今なほその徳を仰いでゐる。

ナポレオンの再起
かくて各國はウイーンに會議を開いたが、容易に一致せず、その隙にナポレオンはエルバ島を脱れてパリイにかへり、再び帝位についた。列國は大いに驚き、プロシヤ・イギリス等の兵が主となり、激しくワテテルローに戦つて、これを敗退せしめた。かくてナポレオンは遠くセントヘレナの孤島に流され、僅か十二年にして帝王の雄圖は空しく消えた。

ワテテルローの戦

再起

1 再起

2 ワテテルローの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后

1 國民奮起

2 ライプチヒの戦

3 ルイゼ王后



戦のヒテブイラ

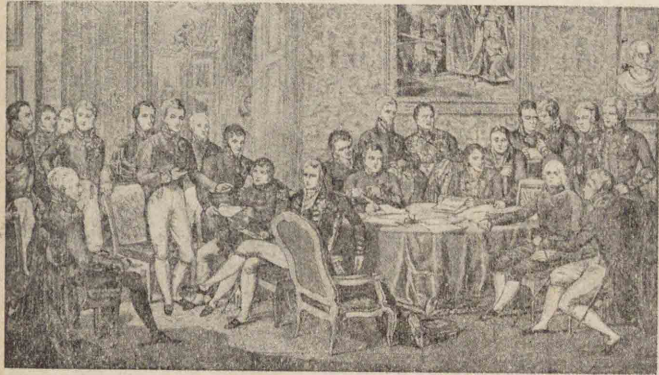


后王ゼイル

一七九三年、十八歳にして太子フレデリックウイリヤムと婚し、一八一〇年三十四歳にしてこの世を去つた

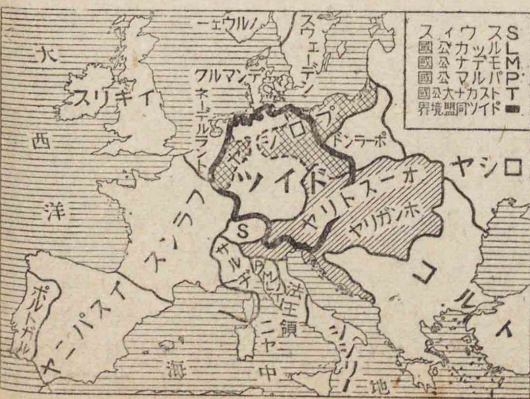
第三章 反動政治と自由主義

【圖(上)】
 圖はコーデフロイの彫刻による。中央に坐せるがカッスレー(イギリス)その左に立つのがメッテルニヒ(オーストリア)、最左端がウエリントン(イギリス)、右端から二人目に坐せるはタレラン(フランス)。



ウイーン會議の景光

【ウイーン會議】ウイーン會議はその後速かに進んで、條約が結ばれ、フランスは舊態にかへり、プロシヤ、イギリス等は領地を増し、諸國家の併合分立などあつて、ヨーロッパは大改造さるることとなつた。



ナポレオン戰役の後ヨーロッパ地圖

1 神聖同盟

2 各國の自由主義運動

シヤ・プロシヤ・オーストリア等の諸君主間に神聖同盟が結ばれ、キリスト教の精神によつて互に相扶け、國內をよく治めんとした。然るに各國民は、自由主義を重んじて専制政治を嫌ひ、これを排斥するものが起つて、國內は多く亂れた。

【メッテルニヒの活躍】この自由運動はオーストリア・ドイツ聯邦・イタリア等に起つたが、オーストリアの宰相メッテルニヒが巧妙に活躍して、これを鎮壓した。しかしアメリカ大陸の獨立運動は抑ふることは能はず、ギリシヤ獨立運動の際も失敗した。



メッテルニヒ

【七月革命】一八三〇年七月、フランスにまた革命起り、チャールス十世はイギリスに出奔し、民主的なルイ・フィリップが迎へられて國民の王となり、自由主義が勝つた。ついでポーランド・ドイツ・イタリア等に

【圖(下)】
 本圖とナポレオン全盛時代圖とを比較すると、興味が深い。武力によつて成立したナポレオンの地圖は消えて、再び民族と歴史とを基礎とする多くの國境が描かることとなつた。

イギリス畫家ロレンス筆で、ウインゾル宮藏

二月革命とその影響

ルイ・フィリップはルイ十四世の弟フィリップの子孫であるが、國王といはずして國民の王といひ、人望を得た



ブッリフ=イル

も暴動が起つたが、何れも鎮壓せられた。

二月革命 ルイ・フィリップは始よく憲法を守つたが、後、専制政治を行つたので、一八四八年二月フランスにまた革命起り、共和政が布かれた。この革命もオーストリア・プロシヤ・イ

タリヤ等に波及したが、何れも鎮定せられた。

しかしこれら自由運動は、今後もヨーロッパ諸國に大きな影響を與ふるに至つた。

第四章 最近世諸國家の興隆(一)

經濟の發達 イギリスにては、十八世紀の末より紡績機・織物機・蒸氣機關等の發明があり、鐵・石炭の產出等と相俟つて工場工業が盛となり、生産能率をあげ、また交通機關の發達、植民地との取引等によつ

圖(下右)

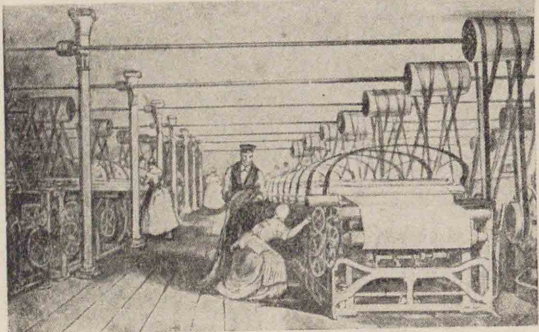
この紡績機は右側の車を動かすことにより、數十の紡錘が動いて同時に數條の絲が紡げるものである

圖(下左)

織物機は中央の梭(オサ)が自動的に動いて織られゆくものである。何れも人力を省き、且つ一度に多量に生産し得るものであつた

圖(上)

圖は蒸氣動力による織物機であるが、従來の手工織に比して隔世の感がある

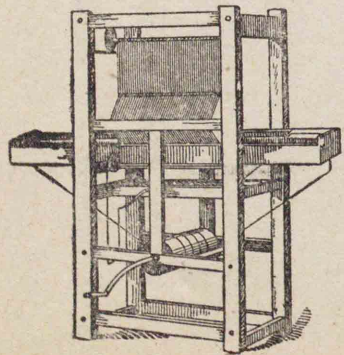


場工物織の期初るけにスリギイ

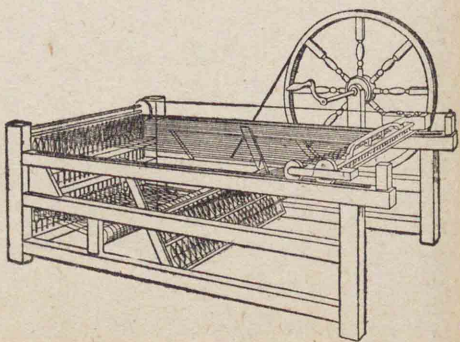
て商業貿易も榮え、經濟的大發展をなすに至つた。そのため文化も進み、生活も向上して、都會も多く現はれ、また國民の富も増加して國力が充實した。

内政の改革

また内政上に於ても選舉法を改正して公平なる政治を行ひ、關稅を撤廢し、自由貿易制を立てて商工業の躍進をはかり、アイルランド(一八〇一年併合)の宗教土地問題を解決して内政



機物織のトイラトールカ



機績紡のスヴェーリグーハ

○ 彼は東方問題に於て巧妙なる外交によりトルコを助け、ロシア、フランスの進出を防いでイギリスの勢力を増大せしめ、一八四〇、クリミア戦役にはロシアの南下を防ぎ、また支那の長髮賊の亂前後に活躍して外交上の成功を収めた



ントスマーパ

活躍し、イギリスの國威を輝かした。

④ ヴィクトリア女王時代

この頃は恰もヴィクトリア女王の頃で、その

在位六十餘年の間に、*Disraeli Gladstone* 等の名臣が交る

政黨内閣を組織して内治外交に力をいたし、國力の充實と國威の發揚につとめたので、エリザベス女王時代とともにイギリスの最盛期といはれた。

○ ヴィクトリア女王

女王は十九歳にして、伯父ウィリアム四世の後をついで即位した。温良典雅な英姿を備へ、聰明惻愍な性質をもつて、よく夫君アルバート公に

○ ヴィクトリア女王の即位
・ 仁孝天皇の御代

○ (下)

一八三七年、女王は妙齡をもつて即位の大禮をあげた。これはその時の莊嚴華麗な儀式を寫したものである



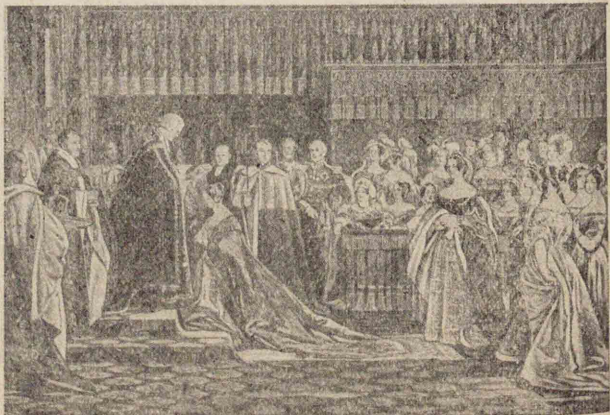
女王ヤリトクイヴ

仕ふるとともに、政治に關してはイギリス國王及び印度皇帝としてよく賢臣を用ひ、善政を行つた。かくて國民の信望はますます厚く、王室と國民との間はいよゝゝ親密を加へ、一八八七年一八九七年等の御即位記念式には國をあげて祝意を表したといはれてゐる。

⑤ チスレーリとグラッドストーン

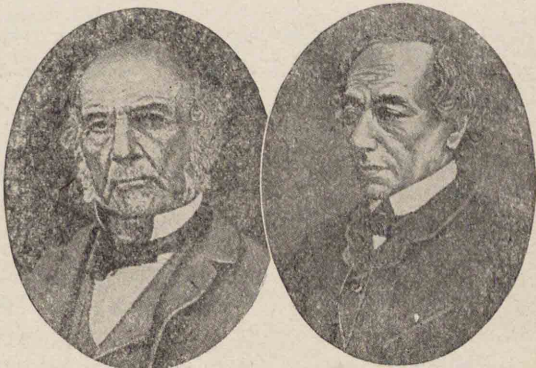
チスレーリは保守黨を率ゐて内閣を組織し、主として國威の發揚海外發展外交工作海軍の擴張等に力を用ひ、

グラッドストーンは自由黨を率ゐ、主として内政に意を用ひ、自由民權の發達、國力の充實等につくした。ヴィクトリア女王時代には、兩人が交互に立つて内閣を組織し、國運の發展につくしたので、政



式位即王女ヤリトクイヴ

【圖説】
ヂスレーリは華やかな性格をもつ極めて貴族的な紳士であり、グラッドストーンは濃厚莊重で自由思想の豊かな人であつた。ともに立派な政治家である



ントスドッラ

リーレスヂ

黨政治の實あがり、内治外交とも大いに振つて、イギリスに於ける憲政の華といはれてゐる。

【五】イギリスの國民性　かくの如きイギリスの大發展は、その國民性に俟つ所が多い。イギリス人は、海國民にして進取の氣象に富むが故に、海外發展に適し、自由を尙び民權を重んずるが故に立憲政治を完成せしめ、獨立自營の精神に富み穩健着實にして常識に富むが故に堅實なる發達を遂げ、また實利を重んじ商利に敏であるから經濟上にも優越することが出來た。その上男子は紳士としての教養を怠らず、婦人もまた溫良質素にしてよく家政と子女の教育を怠らなかつたから、常に立派な國民が現はれ、國家はますます隆盛となつていつたのである。

第五章 最近世諸國家の興隆(二)

【圖説(下)】
十九世紀の中頃、遂に太平洋岸にまで達し、またヨーロッパから盛に移民を歓迎して、これらの地方を開拓させたので、一八六〇年には三十三州三千一百万の人口に達した。圖中○内の數字は獲得の年代を示す

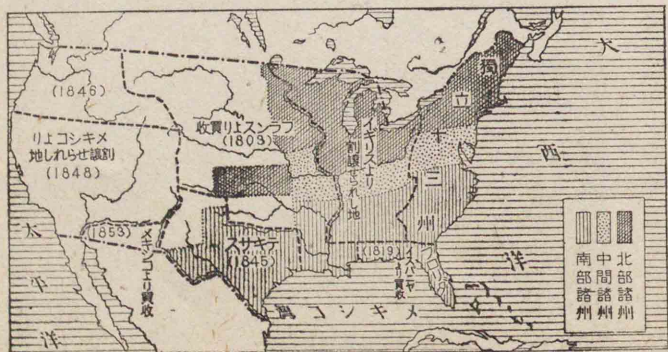
【圖説(上)】
南部には小麦・玉蜀黍・棉等の收穫が多かつた。圖はニューヨークオリーンズより棉積出の光景である



出積の花棉るけ於に部南

【一】領土の發展　アメリカ合衆國は、最初東部十三州のみなりしが、その後ミシシッピ川以東を譲りうけ、中部平原ルイジヤナを買ひ、更に西部地方を領して、十九世紀の中頃には、大西太平洋兩洋に接する大國家となつた。

【二】産業の發達　十九世紀の始ヨーロッパ



圖大擴土領の後立獨國衆合カリメア

【圖】(下)
十九世紀中頃の北部に於ける製鐵工場の内部で、船舶用の大鐵柱を製造するところである。蓋し當時としては宏大なものであつた。ワイヤ一筆、ニューヨーク博物館所蔵による

1 奴隸問題

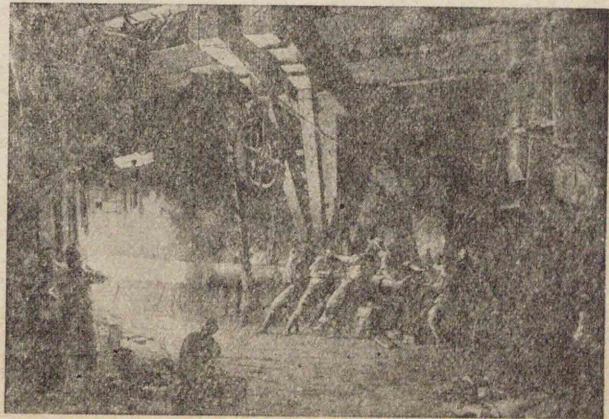
【圖】(上)
彼女は宗教心に富み、學校の教師をつとめ、また文筆をよくした。下記の小説は最初新聞に連載されたものである



人夫ウトス

ストウ夫人 奴隸
Stowe
は多くアフリカのは
黒人で、市場に賣買され、牛馬の如く酷使せられて悲惨な生活を送つてゐた。アメリカ合衆國の女流作家ストウ夫人はこれを見るに忍びず、アンクルトムの小屋

パより移住するもの多く、産業の發達が著しくなつた。南部には大農法によつて農業發達し、北部は鐵、石炭等を産して工業が發達し、また交通機關の發達によつて商業も榮えた。
南北戦争 然るにこの南北兩地方は政治、經濟上に意見一致せず、且つ人道上北部は南部の奴隸使用に反對した。



場工鐵製るけ於に部北

2 南北戦争

南北戦争
孝明天皇の御代

3 リンカーン

【圖】
ワシントンにある記念碑で、中央に立てるがリンカーン、その膝下に跪けるは解放されたる奴隸である



碑念記放解隸奴

といふ小説を書き、その中で憐れな奴隸の生活を細かに描いて、世人に訴へた。それを讀んで奴隸廢止論が大いに起つたといはれてゐる。かくて一八六〇年、奴隸廢止論者たるリンカーンが大統領となるや、遂に南部諸州は獨立分離し、北部と戰を開いた。五年の後漸く北軍の勝利に歸し、南部諸州も次第に復歸した。さうして奴隸は戰時中より解放され、人道上の大問題が解決した。
リンカーン リンカーンは赤貧洗ふが如き家に生れ、刻苦精勵して勉學し、獨立自主の精神に富んで立派な政治家となり、奴隸を廢止して多くの國民より慈父の如く尊敬せられ、アメリカの大偉人として仰がれた。

戦後の發展 戦後グラント大統領などの努力により、南北の融合も次第に固く、政治もよく整ひ、また農

工・商業とも發達して大資本家・大富豪も現はれ、經濟的大發展をなすに至つた。

五 國民性 アメリカ合衆國は産業を以て國をたて、國民は勤勉にして事務に長じ能率増進に努め、また自由を重んじ、獨立自營の精神に富んでゐる。従つて國民生活も向上して物質文化の恩惠をうくること大であるけれども、拜金主義に傾き、精神文化の發達に缺くるところがある。

第六章 最近世諸國家の興隆(三)

フランス帝政となる

ナポレオン三世の即位
・孝明天皇の御代

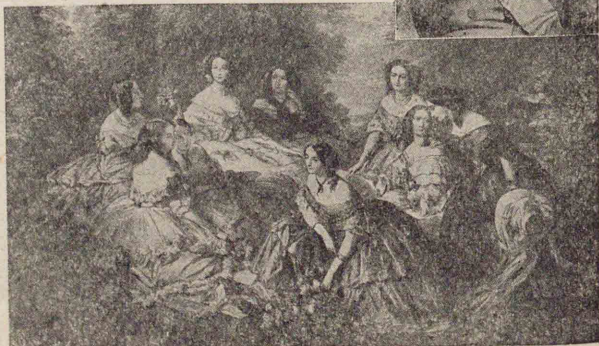
ナポレオン三世 二月革命の結果、共和政となれるフランスにては、大統領ナポレオンが帝位に上らんとする野心あり、巧みに人心を収め、非常手段をもつて議會を解散し、やがて國民投票により皇帝となり、ナポレオン三世と稱した。

フランスの隆盛

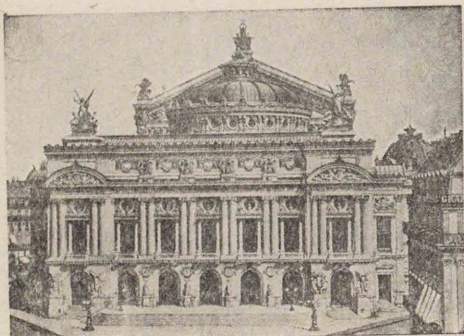
ナポレオン三世はクリミア戰役に出兵してトルコを援け、イギリスと共にセバストーポール要塞を陥れてロシヤの南下を防ぎ、東洋の印度支那經營にも成功して國威をあげ、また内政に意を用ひ、交通を開き、工業を奨励したので、經濟の發達も著しく、一八五五年の萬國大博覽會にはフランス製品の優秀さを世界に誇つた。しかしメキシコの内亂に干渉して失敗した。



ナポレオン三世とその后及女官



ナポレオン三世は壯麗な建築・土木をおこしてパリーの町を美しくした。世界に名高きこのオペラ劇場もこの頃着工されたものである。劇場はガルニエの設計になり、一八七四年竣工



パリーのオペラ劇場

1 統一計畫

2 プロシヤ・オーストリア

戰役

ビスマルクは「ドイツの問題は卓上の演説や多数決で決るものではない。ただ鐵と血(軍備と戦争)による外はない。」と演説し、軍備を擴張した。モルトケは細密な作戰計畫を立て、開戦となれば直ちに動員出来るやう常に計畫してゐた

○プロシヤ・フランス戰役
明治三年

この頃、プロシヤには英邁なるウイリヤム一世即位し、參謀總長にモルトケ首相にビスマルクを任命し、大いに軍備を擴張して、ドイツ統一を計畫した。
Bismarck 1861



ケトルモ



クルマスビ

して戦を起し、ケーニヒグレーツに大勝を得て目的を達し、またプロシヤを中心として北ドイツ聯邦をつくつた。
Königsgrätz 1866
○プロシヤ・フランス戰役 一八七〇年、フランスと開戦し、南ドイツ諸國の兵をも率ゐて、フランスに侵入した。ナポレオン三世は奮戦大いに努めたが、遂にセダンの戦に敗れて降伏し、ドイツ軍はパリを圍んで五箇月の後これを開城せしめた。かくてドイツ

○プロシヤ・フランス戰役

1 ドイツ帝國 成る

2 フランスの 回復

パリ攻撃中敵の王宮ヴェルサイユに於て、この即位式をあげた。左方壇上の中央がウイリヤム一世、壇下正面にビスマルク・モルトケ等あり、ドイツ帝國の最も光榮ある即位式である

ツはエルザス・ロートリンゲン^{Alsace Lothringen}の地と償金五十億フランを得、光榮ある勝利を収めた。

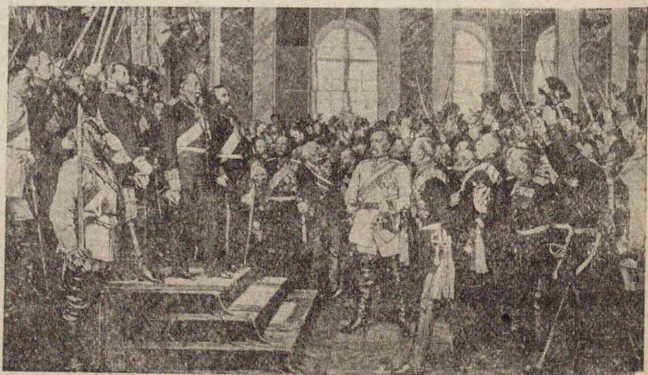
戰後の兩國 この戰役中、プロシヤ王はヴェルサイユ宮殿に於てドイツ皇帝の位に即き、戦後ベルリンにて帝國議會を開き、憲法を定め、ここにドイツ帝國が成立した。
1871

フランスは三たび共和政となり、カンベッ^{Cambetta}、タチエール^{Tiers}等が戦後經營にあたり、國民もよく勤勉に業を勵んだので、國威は再び揚つた。



タッペンガ

兩國の國民性 フランス人は自由・平等・博愛の精神に富み、天才的にして、藝術に秀で、文



式位即帝皇ツイド

藝・科學に長じてゐるけれども、感情に走り易き缺點あり、歴史上流血の慘事が少くない。しかしながら一般に勤勉にして貯蓄心に富み、産業を勵み工藝品に優秀な技術を示してゐる。

ドイツ人は質實剛健にして武を尙び、社會國家に奉仕せんとする念極めて強く、また勤勉にして意志固く、研究心に富み、分析的・組織的なる才に優れ、科學・産業等に秀で、軍國的國家主義に傾いてゐる。ドイツが異常な發展をなしたのは、この國民性に俟つところが多い。

第七章 最近世諸國家の興隆(四)

青年イタリヤ黨

一 イタリヤの統一運動 イタリヤは小國に分裂し、且つオーストリアの勢力が強かつたので、愛國の志士は頻りに自由統一運動を起し、マツチニなど青年イタリヤ黨を組織して盛に活躍した。

二 半島統一 サルヂニヤ王 Vicenzo Emmanuel ヴィクトル・エマヌエル二世は名相カヴー

1 カヴールを登用す

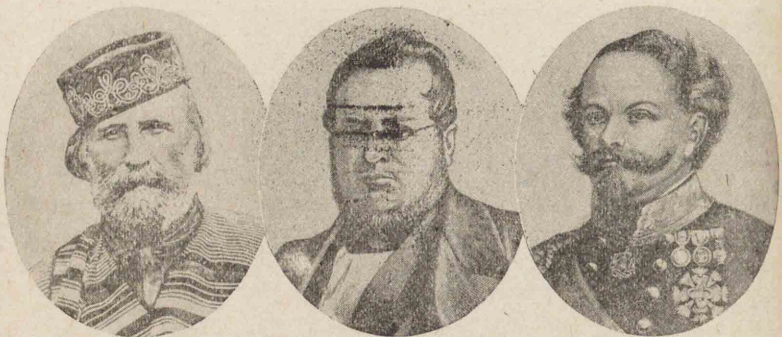
2 ガリバルデの活躍

3 イタリヤ統一

(下)

一八六〇年十月ナポリ郊外カヤネロにて會見せる場面を描いたもので、馬上右方が國王である

一 イタリヤの統一
明治三年



カヴール 世ニルエヌマエルトクイヴ

ルを登用して、イタリヤ統一を圖り、オーストリアと戦つて北部の地を得た。また俊傑ガリバルヂは義勇團を組織してナポリ王國を征服し、これをサルヂニヤ王に獻じた。かくて一八六一年殆ど半島は統一され、ヴィクトル・エマヌエル二世はイタリヤ王位に即いた。その後一八七〇年には完全にイタリヤを統一し、都をローマに定めた。



見會のとデルバリガと世ニルエヌマエルトクイヴ

建國の三傑 イタリヤ統一は、カヴールの智略、マッチニの熱情、ガリバルヂの武勇によつて成つたといはれてゐる。殊にガリバルヂが赤シャツ隊を率ゐて勇敢に戦つたことは、今もなほイタリヤ人の士氣を鼓舞してゐる。

目ロシヤの發展 十九世紀の始よりロシヤは幾度か南下を企てて

1 バルカン進出

2 ベルリン會議

一八九六年（明治二十九年）五月、モスコにて舉行

1 ニコラス二世



ニコラス二世の即位式

失敗したが、この世紀の終頃、アレクサンデル二世は外相ゴルチャコフを用ひて、バルカン半島に進出し、トルコと戦つて勝ち、大いに勢力を伸ばすこととなつた。しかしベルリン會議の結果、列國よりその勢力を阻止せられた。

目ロシヤの國情 アレクサンデル二世は民望を失ひ暗殺されたが、次帝アレクサンデル三世、ニコラス二世等は

2 専制政治

3 不安動搖

1 諸國家の對立

2 國際關係複雜となる

ます／＼極端なる専制政治を行ひ、質朴粗野な多數農民を苦しめたので、一般國民は皇帝に心服せず、國內は常に不安動搖して騒動暗殺など多く、辛うじて強壓主義によつて秩序を保ち得るのみであつた。

目諸國家の對立 かくて十九世紀の後半に於て、ヨーロッパには新にイタリヤ・ドイツ兩國が成立し、イギリス・フランス・ロシヤ等が隆盛に赴き、何れも産業・軍備を盛にして國力を充實し、諸國家對立の姿となり、従つて國際關係は複雑となつた。

第八章 最近世の文化

目最近世文化の發達 十八・九世紀に於ては、科學の發達著しく、物質文化が榮え、また哲學・文藝等の發達と共に繪畫・音樂なども進歩し、婦人の地位もまた向上した。

目科學の發達 科學にては、アラデーが電磁氣學に秀で、レントゲン

Paraday

Röntgen

1 理化學

【圖説(上右)】
ファラデーは電磁氣廻轉の實驗に成功してモーターの端緒をつくり、電磁場・磁氣光學等に新説を出した

2 醫學

【圖説(上中)】
ダーウインの進化論は生物學のみならず思想界及び精神科學にも多くの影響を與へてゐる

3 キュリー夫人



ファラデー、ダーウイン、キュリー夫人

がX放射線、キュリー夫妻がラヂウムを發見し、ダーウインが進化論を大成して斯界に貢獻し、醫學にはパストールが傳染病豫防接種法を、コッホがコレラ菌を發見し、ベッテンコーフェルが衛生學、ウイルヒョウが病理學を大成して治療・保健につくした。

キュリー夫人、バリー大學に學び、夫とともに化學の研究に専念してラヂウム等を發見し、その後大學教授となり、またノーベル化學賞をうけた。まことに偉大な研究と功績とをのこしたものと云つてよい。



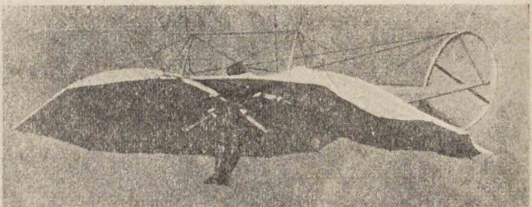
キュリー夫人

目 科學の應用

科學の發達はその應用を盛

1 物質文化の發達

【圖説(上)】
ドイツ人リリエンタールが十九世紀末考案した最初の飛行機である



最初の飛行機

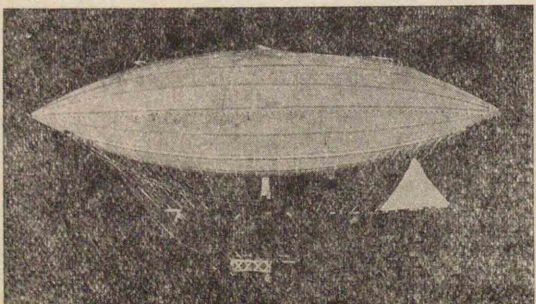
ならしめた。フルトンは汽船、スチヴンソンは汽車、モースは電信機、グラハムベルは電話器、エヂソンは電燈・蓄音器、マルコニは無線電信機を發明し、更にリエンタール・ライト兄弟は飛行機、ツェッペリンは飛行船、ホランドは潜水艇を案出した。これらの發明は何れも人類生活に大きな利便を與へてゐる。

1 哲學と文藝

【圖説(下)】
一八五二年にギッファードが計畫した誘導航空船

ヘーゲルが觀念哲學、コントが實證哲學を大成し、文藝にては浪漫文學としてバイロン・テニス、自然主義文學としてユーゴー・デュマ・ゾラ・トルストイ等あり、イブセンは近代劇をはじめた。

四 哲學・文藝の發達



十九世紀中頃の飛行船

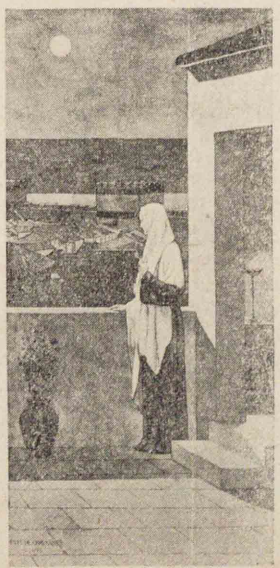
2 繪畫

【圖解(下)】これは聖尼古ラスが月明の夜靜かに古きパリの町を見守る圖である。シャヴァンヌは高尚典雅にして理想派に屬する巨匠であり、多くの名畫をのこしてゐる。この圖はパリのパンテオンにあり、見る人に常に清らかな宗教的氣分にひたらしむる



ンセアイ - ゴーユ

繪畫には理想派としてシャヴァンヌ、自然派としてミレー、印象派としてマネールノール・セザンヌ・ゴッホ及びターナーなどあり、彫刻にはロダンは優れてゐた。また音楽にはベートーヴェン・シューベルト・メンデルスゾーク・ワーグネル等が奏鳴曲・交響樂等を大成し、ワグネルは樂劇をつくり、ショパンは器樂に秀でてゐた。これらの巨匠により最近世の藝術は華やかに花を開き、なほ現代人の藝術心をも啓發してゐる。



圖る守見をーリバ尼聖

3 音樂

【圖解(下)】上は彼が若き頃盛に作曲に苦心してゐるところである。彼は不幸にして晩年癱となつた。かつて彼が自分の曲を演奏した時、聴衆は感激して拍手したが、彼はそれを少しも知らず、その痛ましい姿を見て親友達は皆泣いたといふことである

ゴーには哀史、デューマにはモンテリクリスト伯巖窟王、ゾラには三都物語、トルストイには復活、戦争と平和、イブセンには人形の家などありて名高く、音樂にはベートーヴェンの月光曲第九交響樂、シューベルトの室内樂、ワグネルの歌劇タンホイザーなど最も人々から愛好せられてゐる。



器樂用使のそとンヴェートーベ

1 婦人の活動

【圖解(上)】ワグネルは近代歌劇作者の第一人者ともいふべく、下記の外なほ多くの傑作のこしてゐる



ルネグワ

最近世の婦人は一般に知識も大いに進歩し、文藝にも秀で、またキュリー夫人の如く學術の研究に偉大なる功績を残し、ストウ夫人・ナイチンゲールの如く博愛事業に多大の貢獻を

最近世の婦人

【圖説】(下) これは靴製造に従ふ婦人達である。婦人の職業は最初婦人に適當せるものから、次第に一般的職業へと進出してゆくこととなつた

2 職業婦人
3 婦人問題

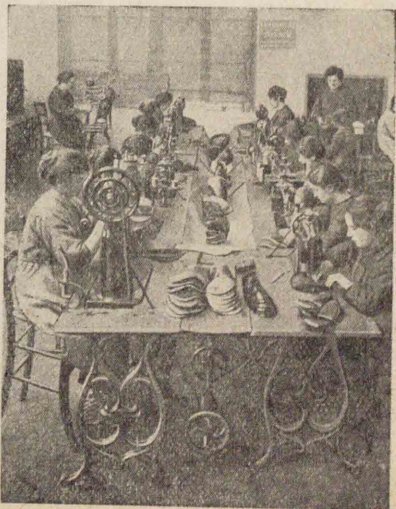
なせる婦人も現はれ、その他教育感化救済事業に従事する婦人も現はるるに至つた。

のみならず産業の發達により婦人もまた職業に就いて外に働くもの多く、婦人労働問題、母性保護問題等も起り、婦人解放婦人参政運動などの聲もやうやく高くなつた。



ルーゲンチイナ

ナイチンゲール イギリス人、フロレンスナイチンゲールは慈愛の深い人であつた。クリミヤ戦役に於て兵士が傷病に苦しむことを聞き、直ちに三十七名の同志とともに戦地に赴き、熱心に看護に従事し、クリミヤの天使と呼ばれて



業職人婦の頃紀世九十

敬愛せられ、歸國後も看護婦學校を設けて一生をその事業に捧げた。後に、Dunant が主張して萬國赤十字社同盟が成立したが、これは素より彼女の美擧に由來するものである。

【最近世文化と我が國】 最近世の文化は明治・大正時代多く我が國に輸入せられ、哲學・文學・美術・建築・音樂などはその影響をうくるもの多く、政治・法律・社會生活などには形式上の範を彼にとるところが少くないが、特に科學と工業の發達はやがて彼等に優越せんとしてゐる。蓋し我が國民は巧みにこれらの西洋文化を攝取醇化して、新日本文化を創造することに最善の努力を拂つてゐる。

第五篇 現代史

第一章 諸國の國力充實と海外發展(上)

■諸國の發展 十九世紀の後半より二十世紀にかけて、歐米諸國は何れも國力充實し、盛に海外に向つて發展することとなつた。

1 經濟と軍備の發達

エドワード七世はヴィクトリヤ女王の後をつぎ一九〇一年(明治三十四年)より一九一〇年まで在位

2 植民地經營

アフリカ



エドワード七世

とも著しかつたが、海軍を擴張して世界の海上權を支配してより盛に海外發展をなすに至つた。

アフリカ經營 北部に於てはスエズ運河とエジプトの支配權を得、南部にはケープ植民地の北方トランスヴァール

ール・オレンジ國を領して南アフリカ聯邦をつくり、更に北方ローデシヤを開いた。これらの地は黄金

Rhodesia

剛石その他の重要な産物を出してゐる。

アジア經營

先にヴィクトリヤ女王が印度皇帝となつて後、更にシンガポール、香港等を取り、東洋貿易の

Singapore

要所を占めた。

太平洋經營

十八世紀の中頃より開拓せるオーストラリヤは苦心經營の結果、棉、小麦、羊毛等の主産地

となり、一九〇〇年にはオーストラリヤ聯邦をつつた。またニュージーランド、バブア島の一部等をと

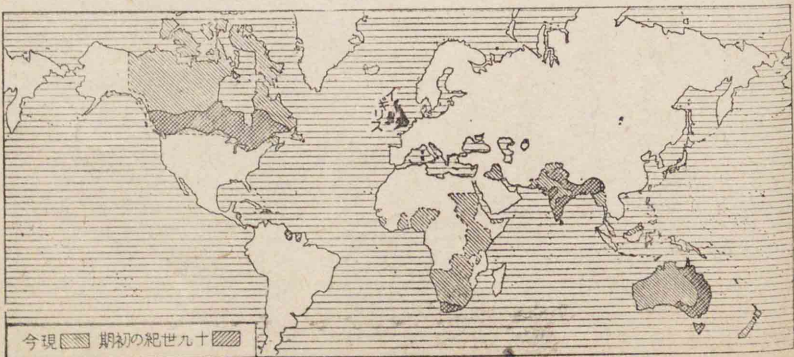
New Zealand

Papua

り、南太平洋の諸島を占領した。

かくてイギリスは總べてを合せて本國に一〇二倍する領土と八倍の住民とを有し、印

度、オーストラリヤ等はイギリスの寶庫とし



イギリス植民地地圖

今現 期初の紀世九十

3 大英帝國

太平洋

アジア

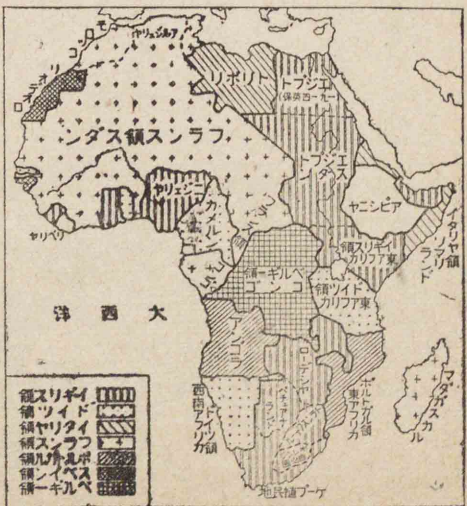
1 戦後經營

2 海外發展

て、その他は經濟・通商・軍事上の要地として、その領土内に太陽の没することなしといはるるに至つた。これらの植民地には自治を許せるところも多く、大英帝國會議を開き、統一の實をあげてゐる。

フランスの發展 フランスはプロシヤ・フランス戰役に敗れて後、産業をおこし、學藝をすすめ、軍備を充實してドイツに備へ、列國と同盟して國際的地位を保ち、海外にも多くの植民地を得た。

アフリカアジア經營 アフリカに於て、アルジェリヤ・スダン及びマダガスカルを領し、東洋に於ては印度支那半島に勢力を伸ばした。



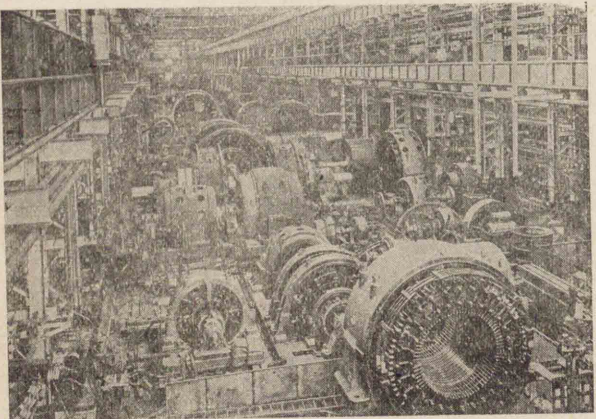
アフリカ分割圖

第二章 諸國の國力充實と海外發展(下)

1 産業の發達

工場はベルリン市にあり、下圖はその電動機工場の内部である。工場は十九世紀末の設立で、最初は職工僅か十名を使用してゐるに過ぎなかつたが、世界大戰の起つた當時は八萬二千の職工となつた

2 軍備擴張



シメンス工場

ドイツの發展 プロシヤは、フランスに戰勝してより、學藝・科學・教育等の發達著しく、また鐵・石炭の產出とともに工業は異常なる進歩を遂げ、特に製鐵・機械器具・理化學工業が盛で、世界の工場といはれ、従つて外國貿易も大いに盛況をみるに至つた。なほ皇帝ウイリヤム二世は、陸海軍を充實・擴張して軍國主義をとり、また世界に發展して多くの植民地を得た。

植民地經營 アフリカにてはカメルン・西南アフリカ東部アフリカ等を得、太平洋にてはビス

マルク・マーシャル・カロリン・マリヤナ・パオの諸群島を得、東洋にては膠州灣(青島)を租借した。
1893

ベルギー・オランダの發展
ベルギーは獨立後レオポルド二世立つて國勢大いに振ひ、アフリカ内地に廣大なる植民地を得た。
1835

オランダもウイリヤム二世・同三世等の英主
出で、特に東洋方面に植民地を確立し、本國の寶庫となした。



王女ナミルヘルイウ

ウイヘルミナ女王
現代オランダの女王にして一八九〇年即位してより萬機を親裁し、才色ともに優れて英明の譽高く、特に世界大戰に際しては嚴正中立を維持して國威を傷けなかつた。國民はみなその坤徳に服してゐる。

ロシアの發展
ロシアは虛無黨員の暗躍等があつて國內は不安であつたが、諸帝は極端な専制主義をとり、交通産業をおこし、陸軍の

大擴張を行ひ、また東洋に進出した。

2 極東經營

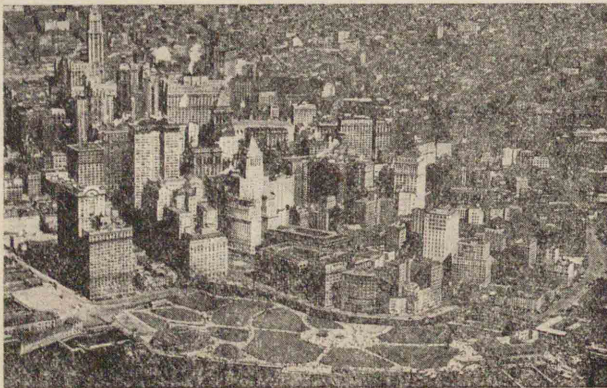
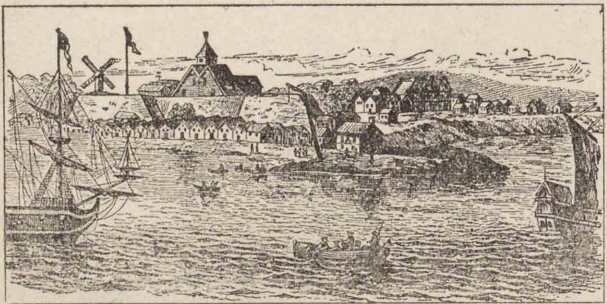
極東經營
ロシアは中央アジアに進出して後、極東に向ひ、東部シベリヤを開き、ウラヂウ・ストックに軍港を設け、我が國と交渉して千島を譲り樺太を得た。ついで我が國の進出を妨ぐるため三國干涉を行ひ、關東州を租借し、支那朝鮮に勢を伸ばしたが、我が國のため見事に撃退せられた。
1895
1904-1905

4 アメリカ合衆國の發展

南北戰爭の後、大農法による莫大なる農産、大規模な工場工業による豊富な機械・器具・織物等の生産、及び汽車・汽船

上圖は一六五五年頃の港の光景、下圖は現代の變遷發達を窺ふべきである

1 經濟的發達



ニユー・ヨーク市の發達

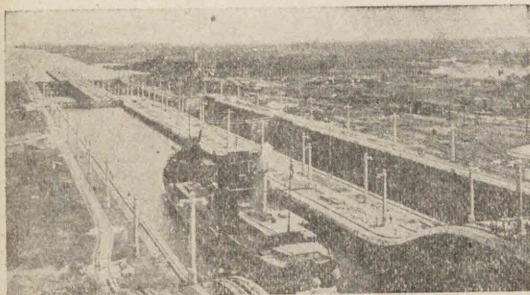
等の發達に伴ふ商業貿易の躍進等により、經濟界の發展著しく、大都會も多く出現するに至つた。

2 海外發展

かくて國力の充實により海外發展も

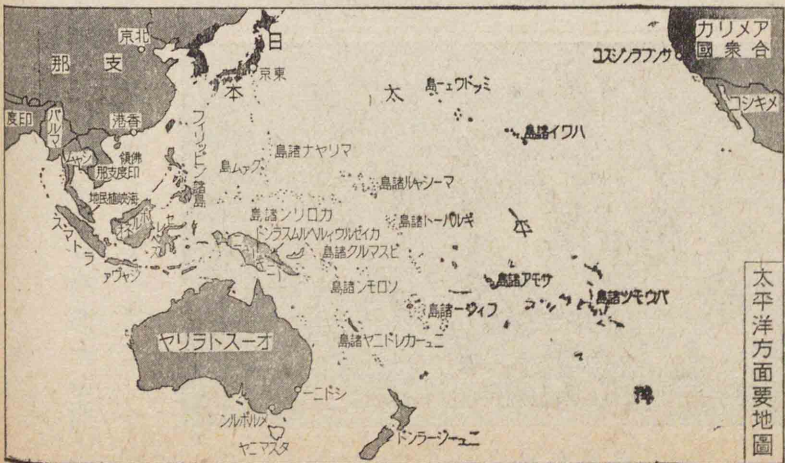
盛となり、太平洋極東の外交にも關係するに至つた。

アメリカ合衆國の帝國主義 アメリカ合衆國は太平洋に於てハワイを併せ、フィリピン諸島及びグアム島を得たが、更に極東問題については列強の支



河運マナバ

開門式の運河で長さ八〇軒、廣さ三〇五米から九一米に及ぶ。この運河の開通により、大西洋と太平洋の連絡が便利になつた。



太平洋方面要地圖

3 極東問題

那に對する壓迫に反對して清國の領土保全門戶開放機會均等を唱へ、また Panama 運河を開き、海軍を擴張して太平洋制覇をも企つるに至つた。

1 國際關係紛糾す

諸國發展の結果 かくの如き歐米諸國發展の結果、ヨーロッパに於ては國際關係が紛糾し、列國の勢力は衝突して、遂には世界大戰となり、アジアに於ても列國の進出はますます著しくなり、ために極東問題及び太平洋問題等は次第に喧しくなるに至つた。

2 太平洋問題起る

第三章 世界大戰前に於ける國際關係

一 國際勢力の對峙

ヨーロッパ諸國の國力充實と海外發展とにより、各國とも對立競争が激しく、到るところに衝突を起さんとする形勢となつたが、同盟または協商によりやうやく平和を保つてゐた。

プロシヤ・フランス戰役の後、ドイツはフランスに備ふるためロシヤ・オーストリア二國と三帝同盟を結んだが、その後オーストリアイ

2 三帝同盟

1 同盟と協商

3 三國同盟

●三國同盟の成立
明治一六年

4 三勢力對峙

1 經濟的發展

2 軍備擴張



艦の上のウリヤム二世

タリヤ兩國と三國同盟を結んだ。フランスはこれに對抗するためロシヤと二國同盟を結んだ。これらに對し、イギリスは名譽の孤立を守つてゐたので、ヨーロッパはこの三勢力の對峙によつて安定した。
ドイツの大發展 二十世紀の始、ドイツの發展は大いに眼ざましく、産業軍備に於てイギリスを凌ぎ、その工業品は世界市場に進出し、海軍の大擴張はイギリスを脅すに至つた。



に適し堅牢にして安價であつたから大いに聲價を高めた。ドイツ製の商標は世界市場に於てイギリス製品を驅逐した。また軍備に於て、皇帝は「ドイツの將來は海にあり」として海軍の大擴張を行ひ、大いにイギリスを脅した。

1 三國協商
2 二國同盟

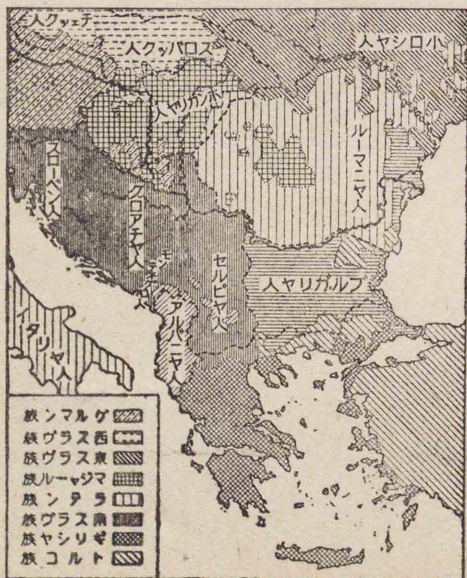
●三國協商的成立
明治四〇年

1 兩民族主義

●バルカン半島は民族の分布が複雑してゐるため、民族の異なるに從つて宗教・言語・人情・風俗等が異なり、これらを統一して治めることは頗る困難である

國際關係の變化 かくてイギリスは大いに不安を感じてフランス・ロシヤ二國と接近し、三國協商をつくり、イタリヤは三國同盟を疎んじたので、結局ドイツ・オーストリア二國同盟の形となつた。

民族主義の衝突 この頃バルカン半島に於ては、ロシヤは總スラヴ主義をとつて半島内同民族を結ばんとし、ドイツは總ゲルマン主義をとつてオーストリアとともに勢力を伸



バルカン半島の民族分布圖

2 バルカン戦役

ばさんとした。そのためトルコなどに内亂が起り、前後二回にわたつてバルカン戦役などあつた。その結果、ロシヤの後援あるセルヴィヤは、海岸への進出を阻まれ、深くオーストリアを恨むに至つた。

④ 大戦亂の兆 かくてドイツ、オーストリア二國は、西部にイギリス、フランス二國と對抗し、東部にロシヤと争を生じ、ここにヨーロッパの國際關係は切迫して大戦亂の兆を生ずるに至つた。

第四章 世界大戦

① 大戦亂の勃發 一九一四年オーストリアの皇太子夫妻がサライェヴォに赴いた時、大セルヴィヤ主義を奉ずる一青年に暗殺された。オーストリアはセルヴィヤに抗議したがきかれず、遂に開戦するに至つた。ついでドイツはロシヤに宣戦し、フランスはドイツに宣戦し、ドイツがベルギーの中立を破るに及んでイギリスもドイツに宣戦した。

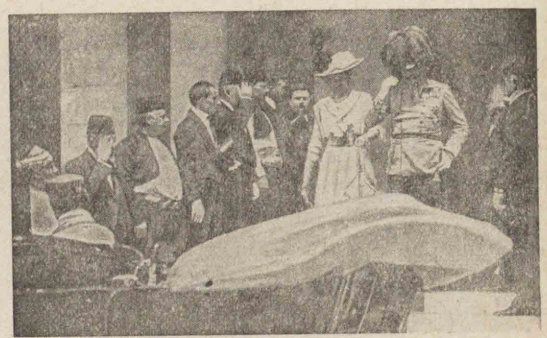
○オーストリア皇太子夫妻の暗殺
大正三年

○(上)

一九一四年六月二八日、オーストリア皇太子(フェルヂナンド)夫妻がサライェヴォ市役所を出るところで、遭難の僅か數分前の光景である

○(下)

ドイツ軍隊が樂隊を先登に勇ましく行進する威容である



妻夫子太皇ヤリトスーオ

かくてドイツ、オーストリア二國の同盟軍に對して、ロシヤ、フランス、イギリス等の聯合軍が對戦することとなり、我が國も日英同盟によつて聯合軍に加はり、イタリヤもまたドイツに宣戦した。

② 戦況 戦争は多く西部、東部、海上にて行はれた。

1 西部戦線

西部戦線 ドイツ軍は破竹の勢にて進軍したが、勇敢なるベルギー軍に妨げられ、またフランスの將軍ジョッフルの沈着なる作戦により、マルヌ河畔に阻止された。

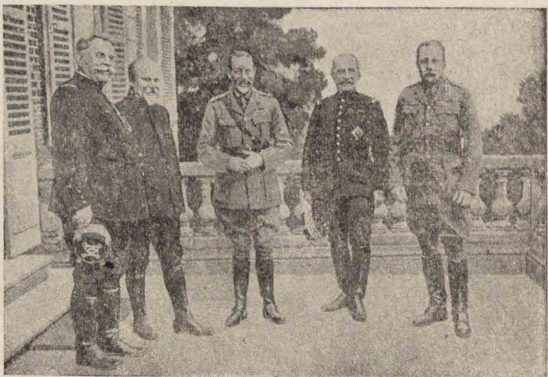


ツイド國軍

2 東部戦線

（上）

イギリス皇帝が戦線を訪れた時の記念撮影で、右からヘーグ將軍（イギリス）、フオッシュ將軍（フランス）、ジョージ五世・フランス大統領、ポアンカレ・ジョージ五世・フランス大統領、フール將軍（フランス）



聯合側の中心人物

東部戦線 ヒンデンブルグは東部戦線に活躍し、大いに勝つてロシアに迫つた。

ヴェルダンの戦い 一九一六年ドイツは再び兵を西部戦線に集め、ヴェルダン

要塞を猛襲したが、

フランス軍は勇敢に

これを死守した。

海上の戦況 この頃

ユトランド沖で大海

戦が行はれたが、ドイ

ツはイギリス艦隊のために敗れ、海上を封鎖された。

そこでドイツは潜航艇により敵艦及び商船を撃沈

したが、無制限にこれを行つたのでアメリカ合衆國がドイツに宣戦した。



ヴェルダンの戦跡

3 海戦

（下）

圖はヴェルダン要塞頂上の光景で、大戦中最も激戦のあつた跡である。

1 ロシアの革命

（上）

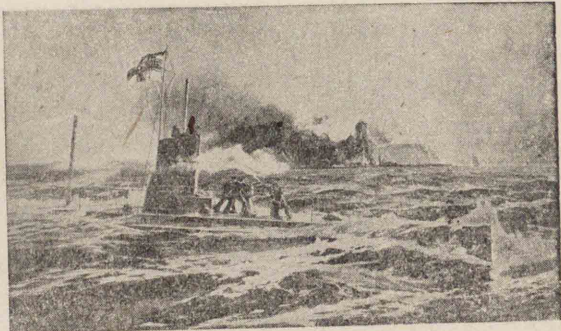
ドイツ潜水艇がアイルランドの海岸にあるイギリスの大貯油所を破壊してゐるところである

2 最後の大战

（下）

塹壕・鐵條網・毒瓦斯・煙幕などを用ひた壮烈なる西部戦線の光景である

3 大战終る



ドイツ潜水艇の活躍

ロシアの革命と大战の終局 かかる間にロシアに革命起り、皇帝ニコラス二世は退位し、レーニン等がソヴェト政府を立て、同盟側と單獨講和した。

最後の大战 ドイツは

全軍をあげて西部戦線

に向ひ、聯合軍はフオッシュ

元帥を總司令官として

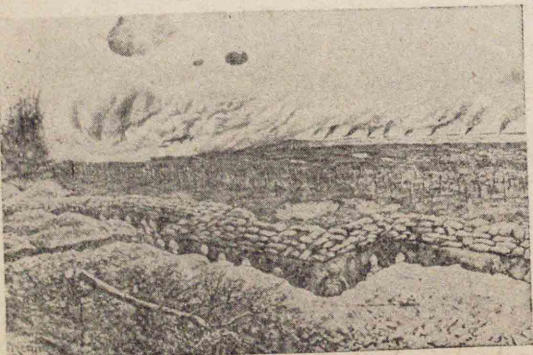
フランス・イギリス・アメ

リカ合衆國・ベルギー諸

國の軍を合せ、飛行機・毒瓦斯・煙幕・巨砲機銃等あらゆる最新武器をもつて壮烈な戦をなしたが、

一九一八年八月、ドイツ軍は力盡きて敗退した。

かくてオーストリア先づ休戦し、ドイツも



西部戦線の光景

・休戦
大正七年

一九一九年六月
ヴェルサイユ宮
殿「鏡の間」に於
ける調印式の光
景。卓による代
表者の中、左側
より三人目は
ウイルソン、次は
クレマンソー、
次はロイド・ジョ
ージである



印調の者表代ツイドるす割に約條ユイサルエヴ

族主義的小國家が成立した。

第五章 大戦後の世界情勢

また疲弊した上に、革命起り、皇帝ウイリヤム二世は退位し、休戦するに至つた。

④ **パリ講和會議** 1919 かくてイギリスのロ

イド・ジョージ、アメリカ合衆國のウイルソン、我

が西園寺公望等の各國全權は、フランスの

クレマンソーを議長とし、ヴェルサイユにて

講和條約を結び、ドイツはエルザス・ロート

リングンをフランスに還附し、海外の植民

地を放棄し、巨額の賠償金を出し、オースト

リヤは帝國を瓦解し、また各地に多くの民

1 國家組織の改革

ヴェルサイユの條約によつて新しくヨーロッパに創立された國は、
チェッコスロヴァキヤ、
ウァキヤ、
ユーゴスラヴィヤ、
ポーランド、
フィンランド、
エストニア、
ラトヴィヤ、
リトワニヤ等である

2 新興國

1 國際聯盟

② 世界の改造

世界大戰後、ロシヤ、ドイツ、オーストリア等は國家組織を改め、またホンガリヤ、チェッコスロヴァキヤ、フィンランド等の新興國が成立した。

③ 國際聯盟と國際會議

大戰後、國際平和の思想高まり、ウイルソンが主唱して、國際聯盟が成立

The League of Nations 1920

第五編 大戦後の世界情勢



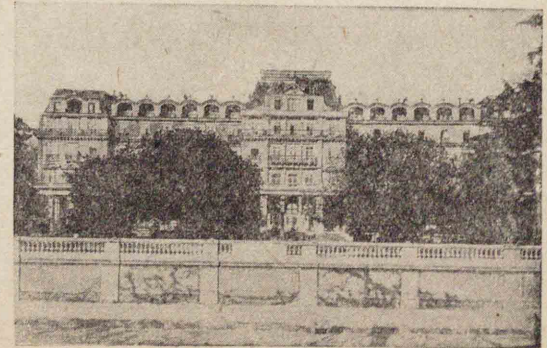
2 軍備縮小會議

圖説 國際聯盟は國際的紛争の解決にあたるものであるが、主唱國たるアメリカ合衆國は加盟せず、また後に國際紛争が起つても、聯盟はその解決に十分の能力なく、脱退するものさへ續出した

四國條約 日本・アメリカ合衆國・イギリス・フランス
九國條約 以上の四國の他イタリヤ・ベルギー・オランダ・ポルトガル・支那

3 不戰條約

し、世界列國の大部分がこれに加盟し、各國協力して平和を維持することとなつた。ついでアメリカ合衆國大統領ハーディング *Harding* は、日本・イギリス・フランス・イタリヤの四國を誘つて、ワシントンに軍備縮小會議を開き、各國の主力艦を制限し、その比率を定めた。同時に太平洋の平和を目的とする四國條約及び支那の領土保全に關する九國條約をも結んだ。軍縮會議は、その後第二回（ジュネーヴ、第三回（ロンドン）と開かれたが、我が國はその後の國際情勢の變化に鑑み、昭和九年軍備縮小條約の廢棄を通告した。またアメリカ合衆國は、フランスの提案による不戰條約問題について諸國に勸説し、遂に列國の參加によつてこれを成立せしめた。



部本盟聯際國のウーネジュ

1 ドイツの現狀

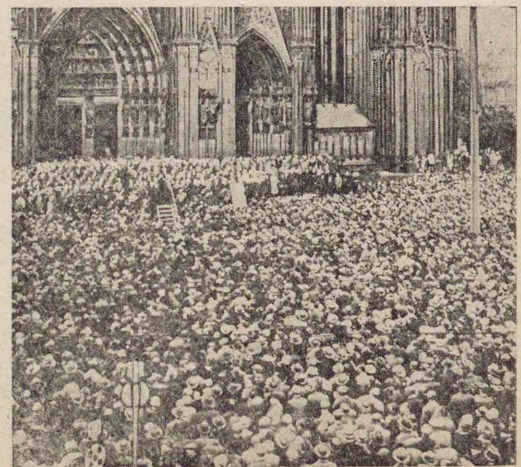
圖説（上） ドイツ國粹社會黨の首領、一九三三年の總選舉には第一黨となつて、内閣を組織し、一九三四年總統の地位についた。右手をあげるはナチスの敬禮である



ーラトッヒ

目列國の情勢 かくて大戰後、各種の國際協定の成立を見るに至つたが、各國内には深刻な經濟政治社會上の問題起り、思想も動搖して、各國はそれぞれ善處に努めてゐる。

ドイツ ドイツは莫大なる戰費の支出と産業の荒廢及び巨額の賠償金により、經濟界は悲境に陥り、貨幣は下落し、物價騰貴して大いに苦しんだ。ヒンデンブルグ大統領は辛うじてこの難局を維持してゐたが、一九三三年よりヒトラー現はれ、國粹社會黨を率ゐて獨裁政治を行ひ、國粹主義、國家主義により大いにドイツ民族と國家の興



び叫の對反償賠るけ於にツイド

2 イタリアの現状

【圖説(下)】一九二二年ローマに入つて首相となる。本圖は彼がその首脳部を率ゐて大衆に獅子吼する光景である。

3 ロシアの現状

【圖説(上中)】現時のロシア政界に權勢を振ひつつあるヨセフ・スターリン

4 イギリスの現状

【圖説(上左)】イギリスの労働黨の首領。一九二四年イギリス最初の労働黨内閣を組織した



ドルナドクマ ンリータス ジニール

隆につとめてゐる。

イタリア イタリヤにてはムッソリニがファシスト黨を率ゐて内閣を組織し、獨裁政治を行ひ、最近エチオピアを併合して國威を輝かした。



ムソリニ

ロシア ロシアにてはレーニン等がソヴェト社會主義共和國聯邦を立てたが、國王その他の主權を認めず、私有財産を禁じ、巧妙な方法を以てその主義を各國に宣傳し、害毒を流してゐる。

イギリス イギリスは戦後經濟界の不況に悩まされたが、マクドナルド内閣によつて漸く安定し、廣大なる植民地を擁し、産業貿易の發達に加へて、世界に誇る海軍力をもつて國力は益々充實し、大國の重みを見せてゐる。

フランス フランスも大戦後、經濟界の悲境に陥つたが、ポアンカレが舉國一致内閣を組織して難局を打開し、國際

5 フランスの現状

【圖説(上)】一九三七年五月戴冠式舉行の時のイギリス皇帝

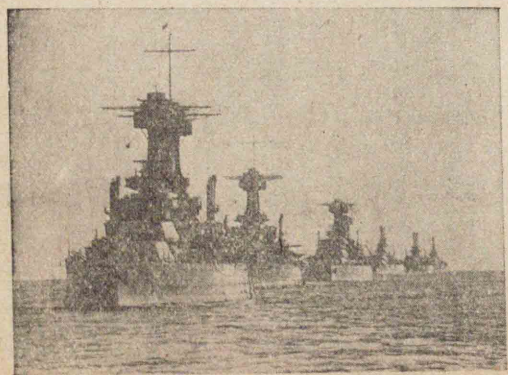


世六ジョージ

6 アメリカ合衆國の現状

【圖説(下)】アメリカ合衆國は世界大戦に至るまでイギリス・ドイツについて世界第三位の海軍國であつたが、ワシントン條約後イギリスと對等の世界第一位の海軍力を保有する基礎を確立した

聯盟を中心として外交上の地位を保つてゐる。
アメリカ合衆國 大戦後、巨額の資本と豊富なる天然資源とを以て世界第一の産業國となり、經濟界の發展も著しく、外交上に於ても常に指導的地位に立ち、また最近は大いに海軍を擴張してゐる。
四列國と日本 大戦後、我が國の世界的地位はますます向上して五大強國の一となり、軍縮會議に於ては三大海軍國の一とし



隊艦洋平太カリメア

1 我が國の世界的進出

2 列強との關係

て重きをなすに至つた。今や我が國と歐米列國との間に於ける外交・經濟・文化等の交渉はいよゝ頻繁を加ふることとなつたが、特に東洋に於けるロシヤ・アメリカ合衆國・イギリス・フランス・オランダ等の領土との間には密接な關係をもつてゐる。

1 諸國際條約の破綻

世界の新情勢 然るに一九三〇年頃より世界の氣勢は再び變化

し始めた。國際聯盟には不合理のところ多く、且つ多數を恃んで一國の正義を認めざることあり、ために日本・ドイツ・イタリヤを始め脱退する國多くして、著しくその勢力を失ひ、また軍縮會議は決裂して各國は却つて軍備擴張を始め、ヴェルサイユ條約はドイツがその破棄を宣言したる外、これに倣はんとする國が漸く多くなつた。

2 日獨伊防共文化協定

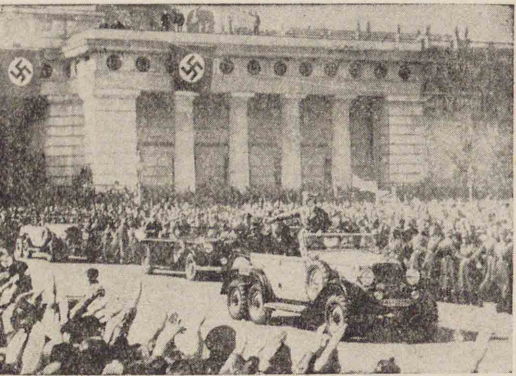
日獨伊三國はかねてソヴィエト聯邦の赤化宣傳に對し警戒してゐたが、一九三七年遂に防共協定を結び、後、更に相互に文化協定を結んで文化の向上に努め、且つ世界平和の建設に進むこととなつた。

3 三國の活躍

かくて日本は、既に東亞永遠の樂土を建設せんとして滿洲國の獨立發展を助け、また一方には容共反日の蔣介石を討つて汪精衛の國民政府を助け、以て日・滿・華を連ぬる新東亞の建設に努力し、ドイツは、ドイツ民族の糾合と國運進展のためオーストリアを併せ、¹⁹³⁸スロヴァキヤを保護國とし、¹⁹³⁹イタリヤは先にエチオピアを併せ、¹⁹³⁶更にアルバニヤを領した。¹⁹³⁹

4 ポーランド分割

獨逸併合成りてヒトラー總統が市民の歡呼を浴びてオーストリアのウイーン乗込の光景



ドイツのオーストリア併合

よりドイツとポーランドが争ひ、ドイツはソヴィエト聯邦と共にポーランドを攻めてこれを分割した。茲に於てポーランドに加擔するイギリスとフランスはドイツに對し戰爭状態に入る旨の宣言をなし、マヂノ線の要塞によつて對峙した。

5 英・佛の對ドイツ宣戰

6 ドイツ軍の進撃

7 フランスの降服

8 英本土攻撃

9 日獨伊三國同盟

かくてドイツは翌年四月、機先を制し、電撃作戦によつてデンマルク・ノルウェーを占領し、ついで飛行機・戦車隊・機械化部隊等によつて英佛等の聯合軍をオランダ・ベルギーに撃破し、更に南進してパリを陥れた。この時イタリヤの参戦が宣せられ、フランスは遂に休戦協定を結ぶに至つた。戦闘開始より僅かに六週間、誠に歴史上稀なる大勝利である。かくてドイツは全力を擧げて英本土を攻撃すると共に、一方にはバルカン作戦等によつて戦果を擴大したから、イギリスは窮地に陥り、ためにアメリカ合衆國参戦の機運は濃厚となつた。

この形勢中一九四〇年九月ベルリンに於て日獨伊三國同盟が結ばれ、それぞれ東洋及び歐洲に於ける新秩序建設の指導的地位を認め、且つ相互にこれを尊重することを約した。かくて日本は東洋に於て大東亞共榮圈をつくり、獨伊は歐洲に於て新秩序の建設に邁進してゐる。

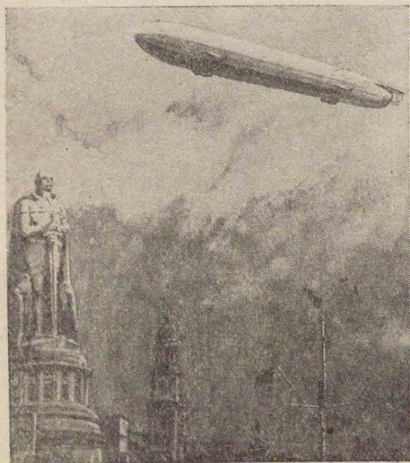
第六章 現代の文化

1 交通の發達

【圖】
ドイツのツェッペリン飛行船がハンブルグのピスマルク像上を飛行してゐる雄姿である

■現代文化の特質 現代文化は十九世紀文化の繼續と見るべく、物質文化は著しき進歩を遂げた。また一般民衆の勢力が向上し、貴族的趣味は現實的・民衆的氣風に抑へられ、婦人の進出も著しくなつた。

■物質文化の進歩 十九世紀以來研究せられたる科學は、現代に於てあらゆる方面に應用せられ、物質文化が大いに發達した。先づ交通に於ては、飛行機・飛行船の急速なる發達により、今や全世界に航空輸送路が開かれ、歐米・歐亞・歐濠・米亞等の定期航空をみるに至つた。更に汽車・汽船・自動車の發達もまた著しく、通信に於ても、ラ



ツェッペリン飛行船

2 動力と機械

3 大工場の設立

4 建築の發達

1 物質文化の發達と經濟

2 經濟國策

1 自由主義

2 國粹主義

圖は一九三四年、ベルリン郊外テンベルホフに於て開かれたナチス大會の光景。卐はナチスの旗章である

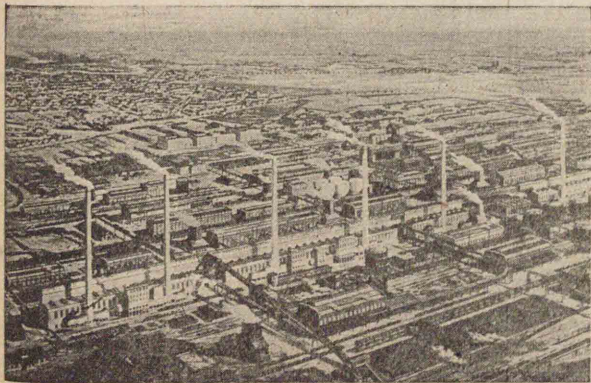


國際電話交換局

天才・無線電話の發達により、世界各地に通話し得ることとなつた。

また動力に於てはガソリン・モーター・ディーゼル・エンジン等が發明せられ、水力發電機とともに、それらの利用はますます著しくなり、工業

に於ては鐵・輕金屬等の研究が進み、大規模にして精巧なる機械工業が發達し、建築・土木に於ても堅牢にして實用的なる鐵筋コンクリート式が出現し、いたるところに巨大な施設經營をなすに至つた。



現代工場之景觀

經濟政策の重要

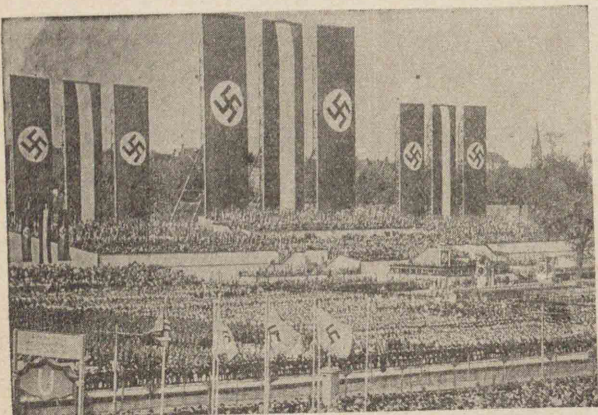
かくの如き交通及び工業の進歩はまた商業貿易・金融の發達を促し、しかもこれらすべての經濟現象は深く國民生活の向上發展に關係するとともに、國運の發展にも缺くべからざるものとなり、經濟政策は國家の重要なる政治の一となつた。

自由主義と國粹主義

思想上に於ては一時自由主義が盛であつたが、後漸く衰へ、自國の歴史と文化を尊重する國粹主義が勃興するに至つた。特にこの風はドイツ・イタリア等に顯著である。

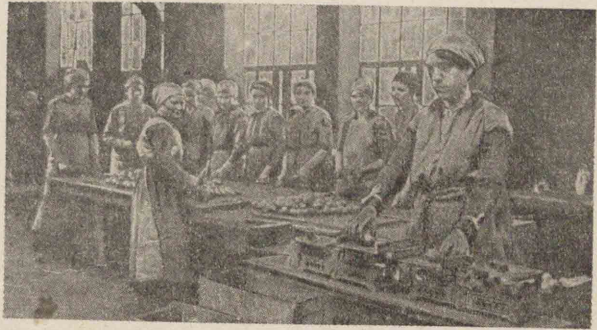
現代の婦人

世界大戰中、各國の婦人はみな眼ざましき活動をなした。或は軍需工場に於て、或は傷病兵の救護に、或



ナチス大會

ドイツの工廠に於て婦人が榴弾の製造に従事してゐる光景である



戦時婦人の活動

は男子の不足せる一般工場・田園都市に於て、
國家のため公共のために働いた。

イギリスに於ては婦人參政權が認められ、
婦人の代議士・官吏等も現はるに至つた。

一般に各國とも女子教育が進歩して、婦人
の教養は次第に高まり、また女子に適當せる
職業に従事し、家庭外に働くものも次第に増
加する傾向となつた。

が、また最新科學・飛行機・ラヂオ・水力電氣等の如く彼を凌駕せんとす
るものも少くない。しかし共和思想・共產思想等は我が國體・國風に
反するものなるが故に、嚴しくこれを排撃し、以て日本帝國の正しき
發展につとめてゐる。

現代文化と我が國 現代西洋の文化が、我

が國文化の發展に貢獻するところは著しい

第七章 西洋史上より觀たる帝國の使命と國民の覺悟

西洋史上の日本 我が國が西洋史上に於て歐米諸國と交渉し始
めたのは、近世以後のことであるけれども、優秀なる日本民族はよく
西洋文化を攝取醇化して、國風文化を樹立し、殊に明治以後は國運も
急激に發展して各國を驚かし、世界大戰後は最大強國の一として國
際間にも重きをなすに至つた。

日本の使命と國民の覺悟 かくて今や世界各國は各地に發展し
て境を接し、交通その他の發達が各國をますく、近接せしめたるた
め、極東にある我が國も、歐米諸國と近隣の如く交通し、世界の日本と
して帝國の行動は列國の注視するところとなつた。この間にあつ

1 日本の使命

2 國民の覺悟

て我が皇威を發揚し奉り、我が帝國の興隆と發展とを計り、以て世界の平和と人類文化の進展に貢獻すべき我等の使命は、重且つ大といはねばならぬ。

特に我が國は最近に至り、獨伊二國と相携へて世界新秩序の建設に従ひ、東洋に於て大東亞共榮圈を確立すべき大使命をもつこととなつた。我等女性は本書により學び得たところを基とし、更に一層世界の動靜に注意し、撓まざる心を以て銃後の勤めを勵み、以て皇國の世界的偉業を成し遂げなければならぬ。かくてこそ日本婦人も世界に盡す大國民たり得べく、また比類なき皇運を扶翼し奉ることが出来るのである。

(をばり)

附錄 年表

古		上		世紀
五	六	前紀元	西紀	西紀
約 4500	約 3500	約 3000	約 2000	約 1000
マラトンの戦	ペルシアの戦役起る	ペルシアの建国 ダリウス一世の即位 クリステネスの改革 共和政となる	アッシリアの滅亡 ソロンの立法 ペルシアの建国	エジプトの建国 バビロニアの隆盛 ギリシアの建国 アッシリアの獨立 ヘブライの全盛 フェニキヤの全盛 ソロモンの死 リクルグスの憲法制定 第一回オリンピック祭 ローマの建国
			五六頃 神武天皇御即位	二七〇頃 黃帝の君臨
			五六頃 釋迦生る	二二〇頃 周の興起
三	四	五	世紀	西紀
約 250	約 200	約 150	約 100	約 50
二四六	二四三	二四〇	二三七	二三三
パルチヤ(安息)の興起	第一ポエニ戦役起る	ローマのイタリヤ統一	アレクサンドル大王死す	ベルシヤの滅亡 アレクサンドル大王の東征 イッソスの戦
				テルモピレーの戦 サラミスの海戦 デロス同盟の成立 十二表法の制定 ペリクレス時代 ペロポネス戦役起る スパルタの覇業成る
				ソクラテス死す レウクトラの戦 リキニウス法の公布 ケーロネヤの戦 アレクサンドル大王の東征
				元三 孝昭天皇崩御
				四七 懿德天皇崩御 四五 支那、戰國時代の始
				三三 蘇秦合従の策を唱ふ
				二六 周滅ぶ

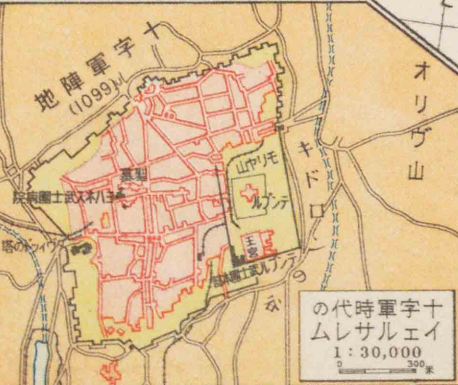
附錄 年表



中世ヨローパ要地
1:22,000,000
十字軍時代の地

中世ヨローパ要地
1:40,000,000
十字軍時代の地

陸路の同盟
海路の同盟
陸路の侵入
海路の侵入

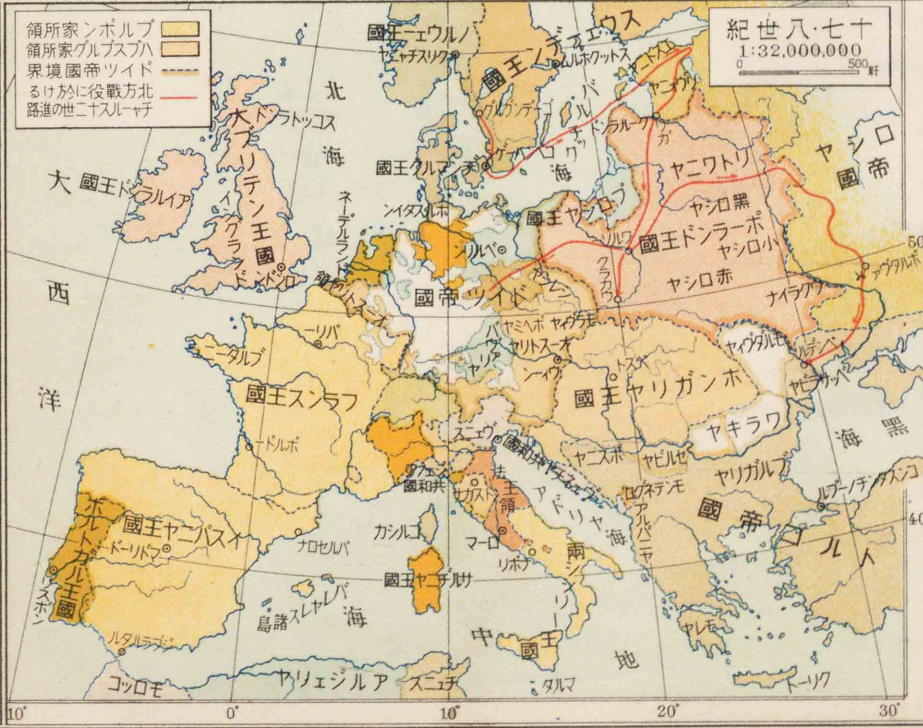
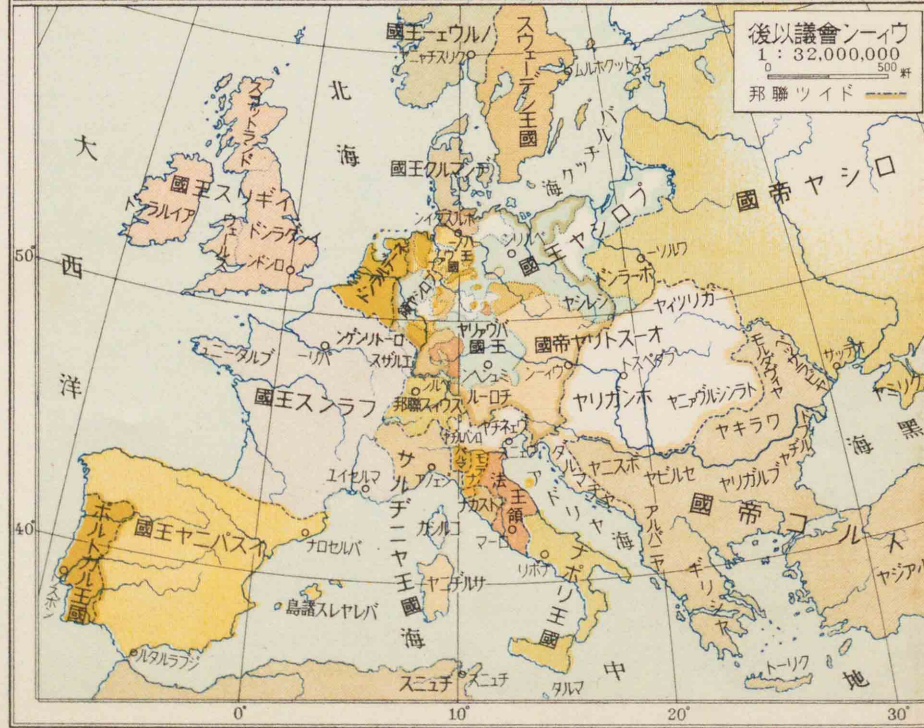
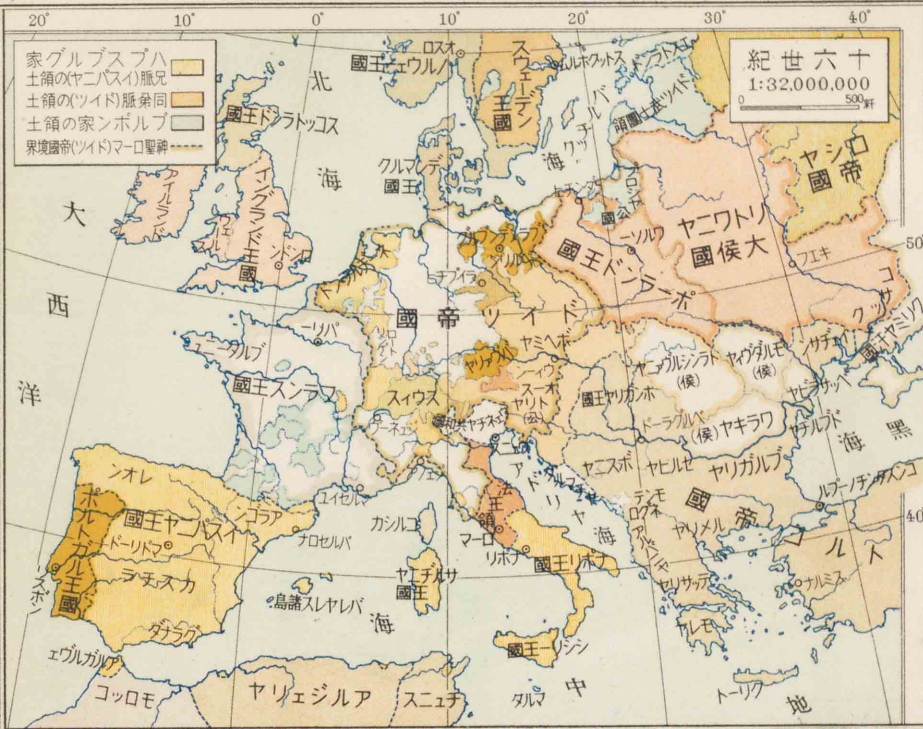
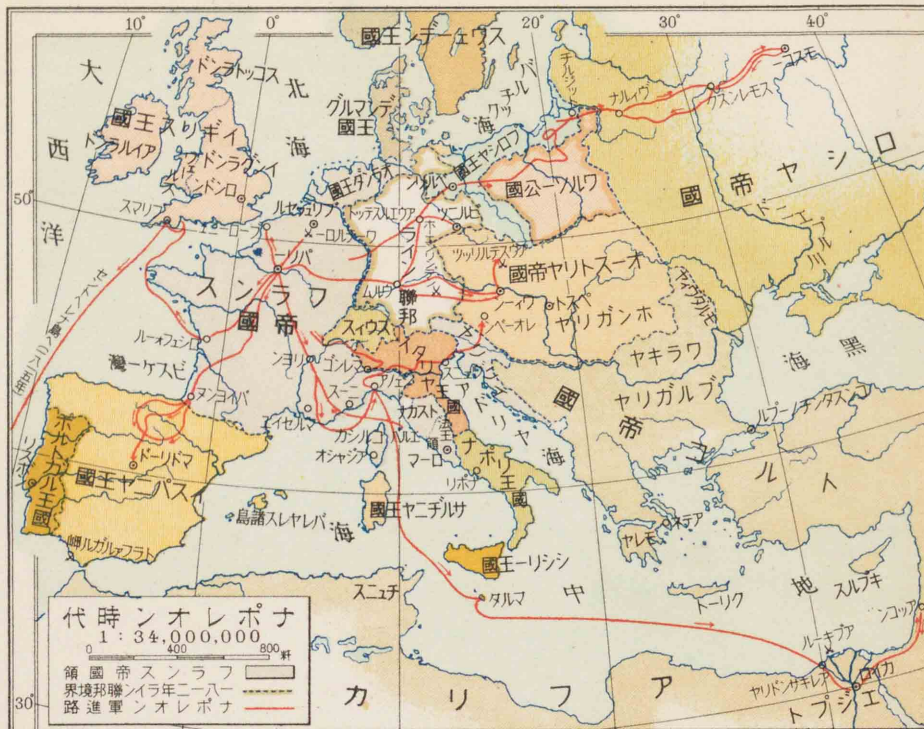


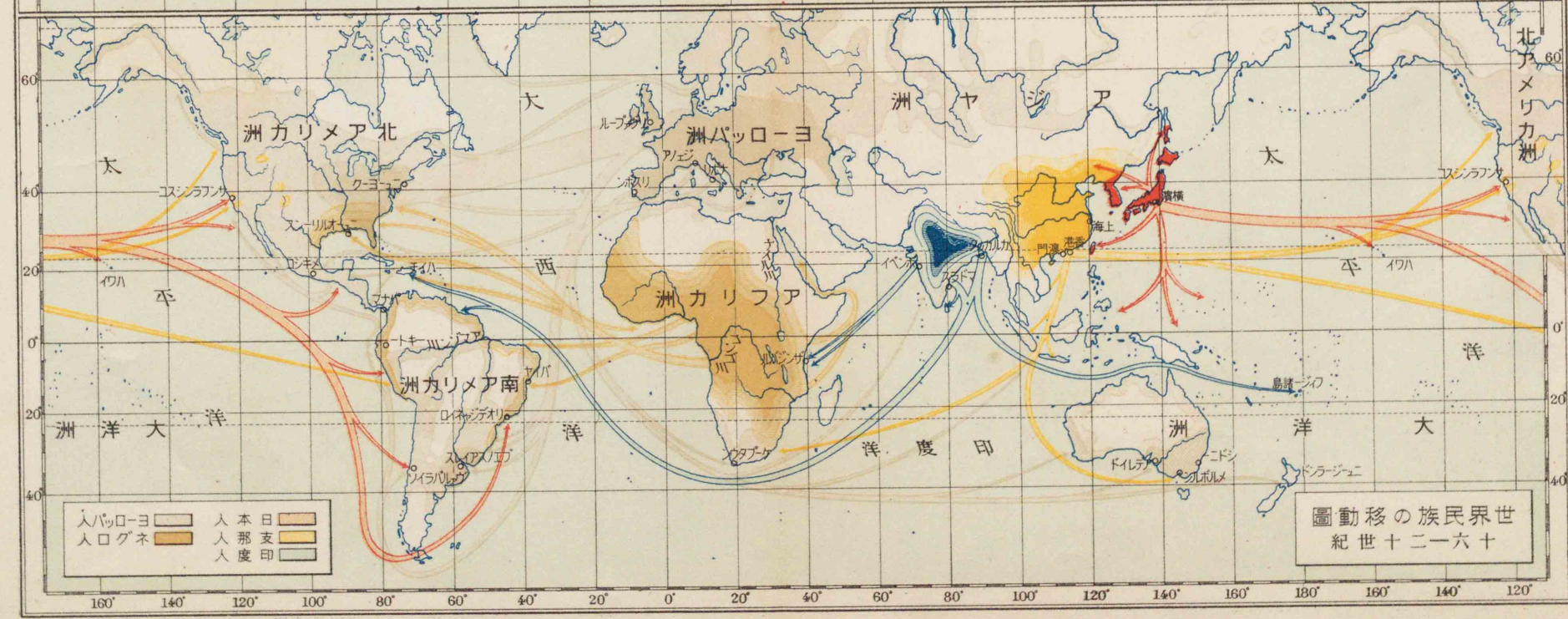
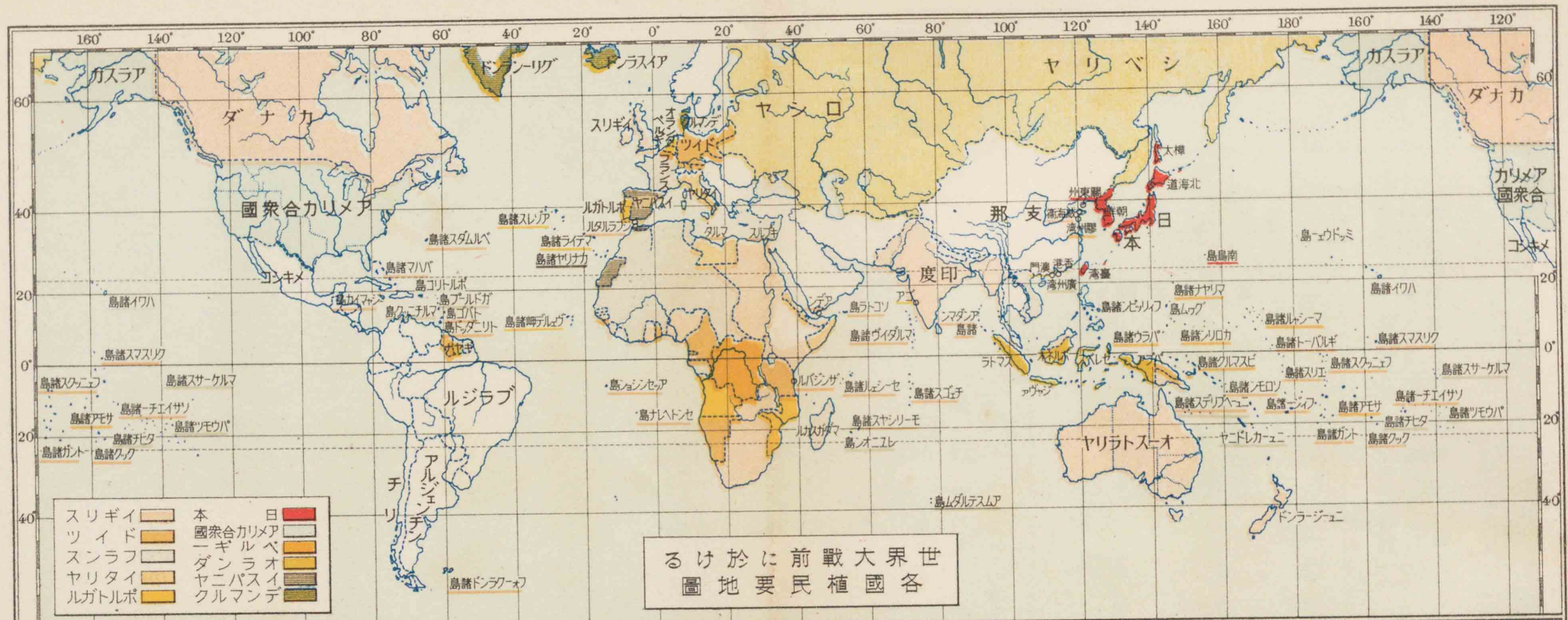
十字軍時代の地
1099年
1:30,000

十字軍の進路
(1096-1099) 第一回
(1189-1191) 第三回
シラクサに於けるラゴナ領

一六三
日獨伊三國同盟の成立
ドイツ・イタリア軍の中立條約の締結
ドイツ革命の起る

一六四
日本、タイ、佛國領
支那の支那紛争を調停





最新女子西洋史

定價金壹圓



昭和十二年八月二十三日印刷
昭和十二年八月二十七日發行
昭和十三年一月五日訂正再版發行

昭和十六年八月十一日修正三版印刷
昭和十六年八月十五日修正三版發行

著者 中川 一男

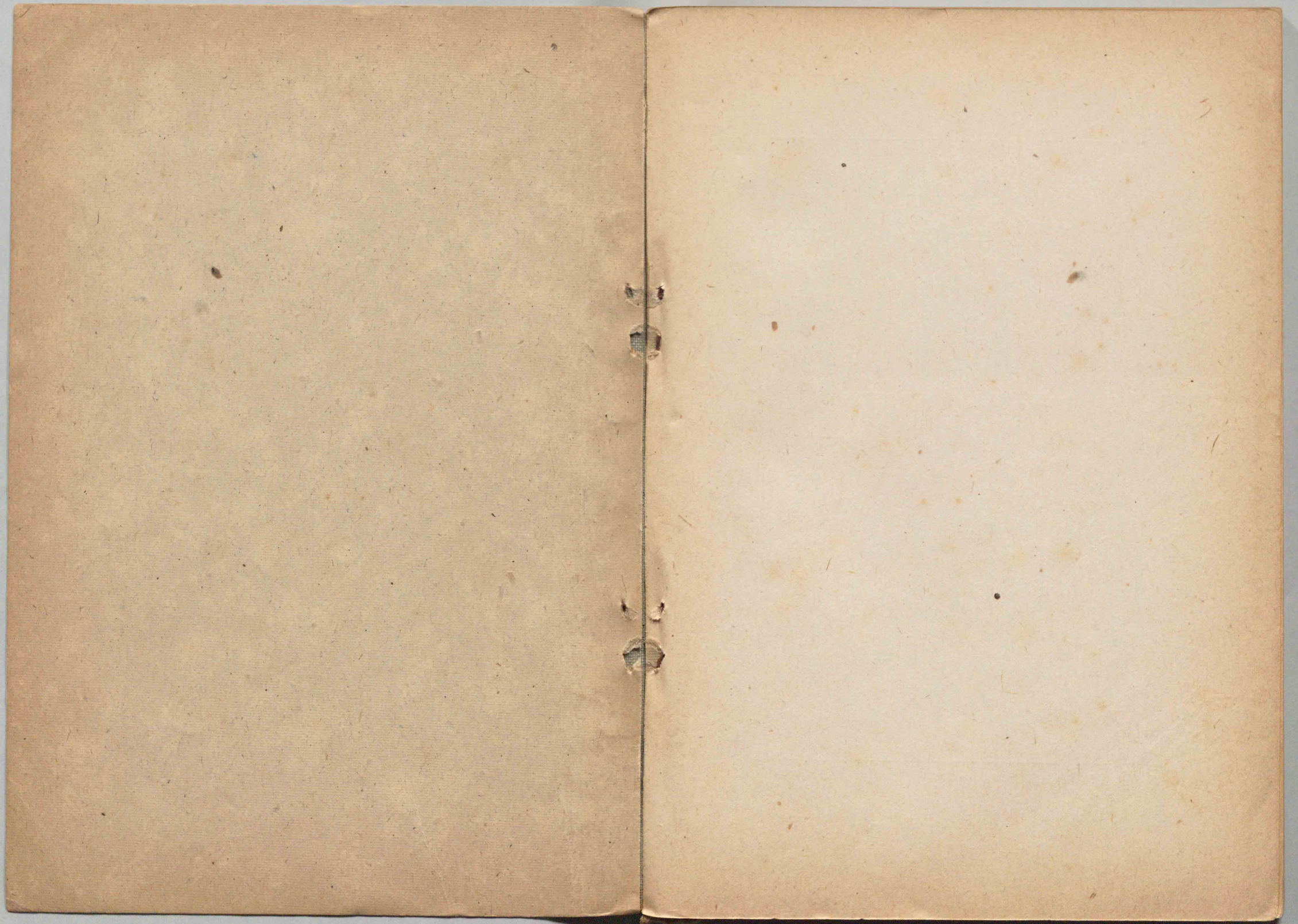
發行者 東京市麴町區飯田町二丁目二十番地
中等學校教科書株式會社
代表者 山本慶治

印刷者 東京市小石川區久堅町百八番地
共同印刷株式會社
代表者 古川一郎 (東京二〇四)

發行所

東京市麴町區飯田町二丁目二十番地
中等學校教科書株式會社
日本出版文化協會會員番號 一一七五二二

(略名) 開成中川女西史



1
3

広島大学図書
2000081263

